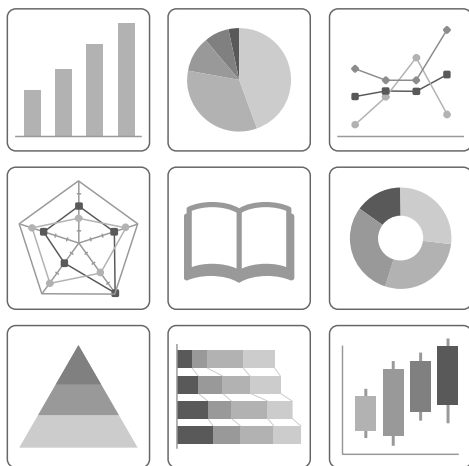


市川市
子どもに関するアンケート調査
調査結果報告書（中間報告書）



令和6年3月
市 川 市

目 次

I	調査の概要	5
1	調査の目的	5
2	調査対象・件数	5
	(1) 調査の設計	5
	(2) 調査方法及び期間	5
	(3) 回収結果	5
	(4) 調査項目	6
3	調査結果の表示方法	18
II	主な調査結果	19
1	就学前児童	19
	(1) 居住地区	19
	(2) 子どもと家族の状況	19
	(3) 子育て環境	20
	(4) 地域の子育て支援事業	21
	(5) 幼稚園や保育所、その他の利用状況	25
	(6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	50
	(7) 子どもの病気の際の対応	52
	(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	55
	(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方	59
	(10) 保護者の就労状況	65
	(11) 育児休業など職場の両立支援制度	72
	(12) 児童虐待	83
	(13) 総合	84

2	小学生保護者	88
(1)	居住地区	88
(2)	子どもと家族の状況について	89
(3)	子育て環境	90
(4)	子どもの病気の際の対応	91
(5)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	94
(6)	子どもの放課後の過ごし方について	97
(7)	保護者の就労状況	100
(8)	子ども本人へのアンケート	106
(9)	総合	108
3	妊婦調査	111
(1)	居住地区	111
(2)	家族の状況	112
(3)	子育て環境	113
(4)	地域の子育て支援事業	114
(5)	幼稚園や保育所、その他の利用希望	118
(6)	土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望	120
(7)	育児休業など職場の両立支援制度	エラー! ブックマークが定義されていません。
(8)	保護者の就労状況	121
(9)	総合	124

I 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度から始まる第3期計画の中で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するための基礎資料として、調査を実施したものです。

調査結果につきましては、保育所等の整備や子育て支援事業の拡充・見直しなど、子ども・子育て支援新制度に基づく施策の検討材料としても活用させていただきます。

コメントの追加 [久佐1]: 過去形にしました

2 調査対象・件数

(1) 調査の設計

調査種別	項目	内容
1. 就学前児童 (0～5歳)	ア. 調査対象者	市内在住で就学前児童のいる世帯
	イ. 対象者数	4,500
	ウ. 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
2. 小学生児童 (1～6年生)	ア. 調査対象者	市内在住で小学生のいる世帯
	イ. 対象者数	2,500
	ウ. 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
3. 妊婦	ア. 調査対象者	市内在住で妊婦のいる世帯
	イ. 対象者数	394
	ウ. 抽出方法	窓口来訪者に配付

(2) 調査方法及び期間

調査種別	方法	期間
1. 就学前児童	郵送配付・郵送回収	令和5年12月15日～令和6年1月9日
2. 小学生児童		
3. 妊婦	直接配付・郵送回収	令和5年12月18日～令和6年1月9日

(3) 回収結果

調査種別	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1. 就学前児童(0～5歳)	4,500	2,255	2,255	50.1%
2. 小学生(1～6年生)	2,500	1,235	1,235	49.4%
3. 妊婦	394	26	26	6.6%

(4) 調査項目

調査種別	調査項目
1. 就学前児童（0～5歳）	(1) 居住地区 (2) 子どもと家族の状況 (3) 子育て環境 (4) 地域の子育て支援事業 (5) 幼稚園や保育所、その他の利用状況 (6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望 (7) 子どもの病気の際の対応 (8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 (9) 小学校就学後の放課後の過ごし方 (10) 保護者の就労状況 (11) 育児休業など職場の両立支援制度 (12) 児童虐待 (13) 総合
2. 小学生（1～6年生）	(1) 居住地区 (2) 子どもと家族の状況について (3) 子育て環境 (4) 子どもの病気の際の対応 (5) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 (6) 子どもの放課後の過ごし方について (7) 保護者の就労状況 (8) 子ども本人へのアンケート (9) 児童虐待について (10) 総合
3. 妊婦	(1) 居住地区 (2) 家族の状況 (3) 子育て環境 (4) 地域の子育て支援事業 (5) 幼稚園や保育所、その他の利用希望 (6) 土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望 (7) 育児休業など職場の両立支援制度 (8) 保護者の就労状況 (9) 児童虐待 (10) 総合

【就学前児童（0～5歳）】

問	設問文
(1) 居住地区	
問1	お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2) 子どもと家族の状況	
問2	お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。
問3	お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問4	この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問5	この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。 当てはまる番号1つに○をつけてください。
問6	お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問7	あなたは、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3) 子育て環境	
問8	日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問9	お子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（いますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問10	問9で「はい」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。 当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問11	教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問12	子育てをするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。また、どのような相談方法があれば良いとお考えですか。ご自由にお書きください。
問13	子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問14	子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(4) 地域の子育て支援事業	
問15	お子さんは、「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です）を現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。現在の利用日数をA欄に、希望する利用日数をB欄に（現在の状況と同じ場合には記入不要です）、数字でご記入ください。
問16	下記の①～⑮の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

問	設問文
(5) 幼稚園や保育所、その他の利用状況	
問17	お子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問18	問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんは、平日主にどのような教育・保育事業を利用していますか。 当てはまる番号1つに○をつけてください。
問19	教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
問20	現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「市川市内」「他の市区町村」のいずれかに○をつけてください。
問21	問17で教育・保育事業を「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。
問22	すべての方にうかがいます。お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業1つに◎を、その事業に空きがない等の場合利用したい事業（複数可）に○を、それぞれ記入欄に回答してください。すでに希望の事業を利用し、今後もその事業を利用したい場合も◎または○を記入してください。
問23	問22で「幼稚園」または「幼稚園＋定期的な預かり保育」に○または◎をつけ、かつ「認可保育所」～「その他」にも○をつけた方にうかがいます。 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問24	お子さんについて、定期的な教育・保育として利用したい事業を希望する上で重視する条件をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問25	お子さんが0～2歳児の方にうかがいます。 現在国では「こども誰でも通園制度（仮称）」が検討されています。制度が実施された場合、利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問26	問25で「利用を希望する」に○をつけた方にうかがいます。 制度を利用する上で、重視する条件は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	
問27	すべての方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。 希望がある場合には、□内に数字をご記入ください。
問28	お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。希望がある場合には、□内に数字をご記入ください。

問	設問文
(7) 子どもの病気の際の対応	
問29	平日の教育・保育の事業を利用している方にうかがいます。 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
問30	病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法ごとの日数（おおそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問31	問30で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
問32	問31で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問33	問31で「(病児・病後児保育施設等を) 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
問34	お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業（以下「私用等の一時預かり等事業」といいます。）を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この1年間の事業ごとの利用日数（おおそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおそ）を「B欄（希望）」に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問35	私用等の一時預かり等事業について、どのくらいの日数を利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数を問34の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問36	私用等の一時預かり等事業について、現在利用日数が0日である方にうかがいます。 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問37	お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください （利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方	
問38	お子さんが5歳以上である方にうかがいます。 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。 小学校低学年・高学年のそれぞれで、当てはまる内容すべてについて、希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。 また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください
問39	問38で「放課後保育クラブ（学童保育）」に利用希望日数を記入した方にうかがいます。 お子さんについて、放課後保育クラブを何年生まで利用したいですか。 利用したい学年を数字でご記入ください。
問39-1	お子さんについて、土曜日・日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

問	設問文
(10) 保護者の就労状況	
問40	保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1)	母親の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(1)-1	(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(1)-2	(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2)	父親の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2)-1	(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(2)-2	(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3)	祖父母・その他の方の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3)-1	(3)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(3)-2	(3)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問41	保護者の現在の就労状況で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問42	保護者の現在の就労状況で、「現在は就労していない・これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

問	設問文
(11) 育児休業など職場の両立支援制度	
問43	お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由として当てはまる欄すべてに○をつけてください。
問44	問43で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる欄に○をつけてください。
問45	問44で「育児休業後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。数字でご記入ください。
問46	問45で「実際の職場復帰時期」と「希望の職場復帰時期」が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。 (1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。 (2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。
問47	問44で「現在も育児休業中である（復帰予定である）」と回答し、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保障（保育所の入園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる欄に○をつけてください。
問48	問44で「現在も育児休業中である（復帰予定である）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが何歳何ヶ月に職場復帰をする予定ですか。また、預けられる保育事業があれば、何歳何ヶ月に復帰を希望しますか。数字でご記入ください。
(12) 児童虐待	
問49	『児童虐待』の通報について、知っていることはなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問50	児童虐待防止のために、どれが有効であると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
(13) 総合	
問51	市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をおうかがいします。下記の①～⑧のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。
問52	今後も市川市に住み続けたいと思いますか。
問53	最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【小学生】

問	設問文
(1) 居住地区	
問1	お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2) 子どもと家族の状況	
問2	お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。
問3	お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問4	この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問5	この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問6	お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問7	あなたは、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3) 子育て環境	
問8	日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問9	お子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（いますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問10	問9で「はい」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問11	教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問12	子育てをするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
問13	子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問14	子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(4) 子どもの病気の際の対応	
問15	この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。
問16	お子さんが病気やケガで小学校を欠席した場合に、この1年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問17	問16で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
問18	問17で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問	設問文
(5) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
問19	お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業（以下「私用等の一時預かり等事業」といいます。）を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この1年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）」に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問20	私用等の一時預かり等事業について、どのくらいの日数を利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数（おおよそ）を問19の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。
問21	私用等の一時預かり等事業について、現在利用日数が0日である方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問22	お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。
(6) 子どもの放課後の過ごし方について	
問23	お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の利用状況をA欄に、希望をB欄に（現在の利用状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに1週当たり日数を数字でご記入ください。 また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください。
問24	問23で「放課後保育クラブ（学童保育）」に現在の利用状況または希望日数を記入した方にうかがいます。 お子さんについて、放課後保育クラブを何年生まで利用したいですか。利用したい学年を数字でご記入ください。
問25	お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
問26	小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいだけで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

問	設問文
(7) 保護者の就労状況	
問27	保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1)	母親の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(1)-1	(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(1)-2	(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2)	父親の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2)-1	(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(2)-2	(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3)	祖父母・その他の方の就労状況 当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3)-1	(3)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(3)-2	(3)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 3か月以内に就労することが決まっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問28	保護者の現在の就労状況で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問29	保護者の現在の就労状況で、「現在は就労していない・これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください

問	設問文
(8) 子ども本人へのアンケート	
問30	あなたは、学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。（学校がある日とない日でそれぞれ3つまで回答できます。）
(9) 児童虐待について	
問31	『児童虐待』の通報について、知っていることはなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問32	児童虐待防止のために、どれが有効であると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
(10) 総合	
問33	市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をおうかがいします。下記の①～⑥のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。
問34	今後も市川市に住み続けたいと思いますか。
問35	最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【妊 婦】

問	設問文
(1) 居住地区	
問1	お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
(2) 家族の状況	
問2	あなたの生年月月をご記入ください。(年号は当てはまる番号に○をつけてください。)
問3	同居の家族の構成をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問4	問3で「子(お子さんの兄・姉)」に○をつけた方にうかがいます。 妊娠中のお子さん以外の子の人数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問5	現在の妊娠経過をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問6	子育てに関して、楽しみと不安のどちらを感じる人が多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(3) 子育て環境	
問7	お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。 当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問8	問7の「」現在、そのような相談先はないに○をつけた方にうかがいます。 どのような相談先がほしいですか。(上の選択肢から当てはまる番号すべてに○をつけてください)
問9	教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人(介護保険のケアマネージャーのような人)がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問10	子育てをするうえで、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
問11	子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問12	子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。 当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問13	妊娠・出産に関する情報は入手できていますか。それぞれ番号1つに○をつけてください。
(4) 地域の子育て支援事業	
問14	「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です)や、幼稚園・保育所で行っている地域の子育て支援事業などを知っていますか。また今後、それらの利用希望はありますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
問15	その他子育て支援に関する事業を知っていますか。A～Cのすべてについて、当てはまる番号のいずれかに○をつけてください。

問	設問文
(5) 幼稚園や保育所、その他の利用希望	
問16	お子さんに平日主にどのような教育・保育事業を利用させたいですか。 当てはまる番号3つに○をつけてください。
問17	問16の事業の中で、もっとも利用したい事業はどれですか。 上記の選択肢から1つお答えください。
問17-1	教育・保育事業を選ぶ場合に、何を重視して選びますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(6) 土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望	
問18	お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか。 当てはまる番号1つに○をつけてください。 「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方は、□内に希望する時間をご記入ください。
(7) 育児休業など職場の両立支援制度	
問19	今後お子さんが生まれた際に、母父のいずれかもしくは両方が育児休業を取得されますか。 母・父それぞれに当てはまる番号に○をつけてください。
問20	問19で「取得しない」に○をつけた方にうかがいます。 取得しない理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問20-1	問19で「取得する(したい)」に○をつけた方にうかがいます。 仕事への復帰のタイミングはいつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
問20-2	お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保障(保育所の入園など)があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても1歳になる前に復帰したいですか。母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
問20-3	勤務先に3歳まで育児のための休暇を取れる制度があったら、何歳まで取りたいですか。□内に希望する年齢をご記入ください。
問20-4	仕事に復帰する時、短時間勤務制度を利用したいと思いますか。 母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
問20-5	問20-4で「利用しない(予定)」に○をつけた方にうかがいます。 短時間勤務制度を利用しない理由はなんですか。母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
(8) 保護者の就労状況	
問21	現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。 それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
問21-1	問21で「フルタイム就労中で、産休・介護休業でない」～「パートタイム、アルバイト中で産休・介護休業である」に○をつけた方にうかがいます。 現在の就労時間や就労日数、家を出る時間や家に帰る時間をお教えください。 それぞれ□内に希望する数字をご記入ください。
問21-2	問21で「フルタイム就労中」に○をつけた方にうかがいます。 今後の就労希望についてそれぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
問21-3	問21で「パートタイム、アルバイト中」に○をつけた方にうかがいます。 今後の就労希望についてそれぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。

問	設問文
問21-4	問21で「現在は就労していない・これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 今後の就労希望についてそれぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
問21-5	問21-4で「出産後1年より先、子どもがある程度の年齢になった頃に就労したい⇒何歳になったら就労したいか」「出産後、1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。 今後、希望する就労形態についてそれぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。
(9) 児童虐待	
問22	『児童虐待』の通報について、知っていることはなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
問23	児童虐待防止のために、どれが有効であると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(10) 総合	
問24	子育てしやすい環境整備のために、国や自治体に期待することはありますか。
問25	今後も市川市に住み続けたいと思いますか。
問26	最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

3 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

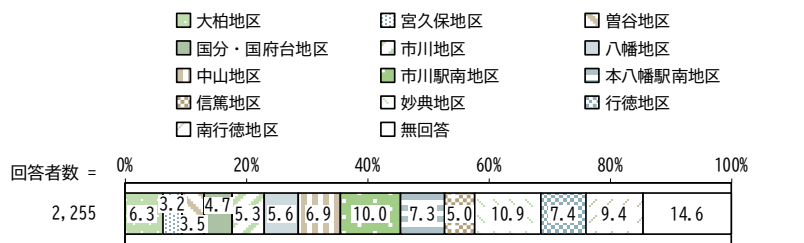
Ⅱ 主な調査結果

1 就学前児童

(1) 居住地区

○ 回答者の居住地区

「妙典地区」の割合が10.9%と最も高く、次いで「市川駅南地区」の割合が10.0%となっています。



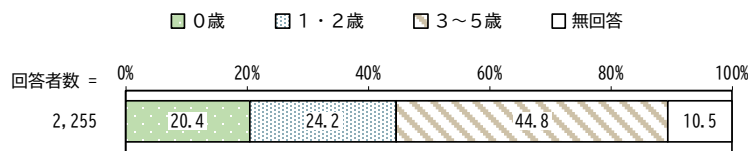
単位：%

区分	回答者数 (件)	大柏地区	宮久保地区	曾谷地区	国分・国府台地区	市川地区	八幡地区	中山地区	市川駅南地区	本八幡駅南地区	信篤地区	妙典地区	行徳地区	南行徳地区	無回答
件数 (件)	2,255	143	72	78	107	119	126	155	226	164	113	245	166	212	329
割合 (%)	100.0	6.3	3.2	3.5	4.7	5.3	5.6	6.9	10.0	7.3	5.0	10.9	7.4	9.4	14.6

(2) 子どもと家族の状況

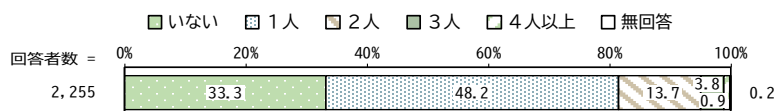
○ 子どもの年齢

「3～5歳」の割合が44.8%と最も高く、次いで「1・2歳」の割合が24.2%、「0歳」の割合が20.4%となっています。



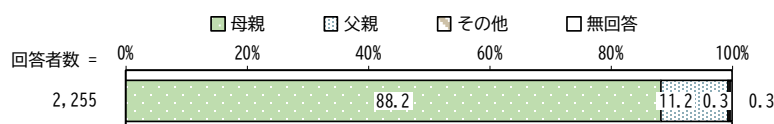
○ 子どものきょうだい構成

「1人」の割合が48.2%と最も高く、次いで「いない」の割合が33.3%、「2人」の割合が13.7%となっています。



○ 回答者の立場

「母親」の割合が88.2%、「父親」の割合が11.2%となっています。

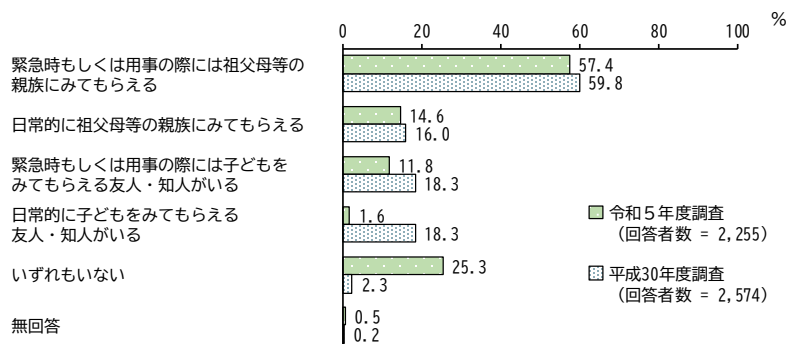


(3) 子育て環境

○ 日頃、親族・知人に子どもをみてもらえるか

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が57.4%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が25.3%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

日常的でも緊急時でも、子どもをみてくれる友人・知人のいる人が減少しています。就労していると、親同士の交流も少なくなると考えられることから、緊急時での預かりの制度の充実が必要です。

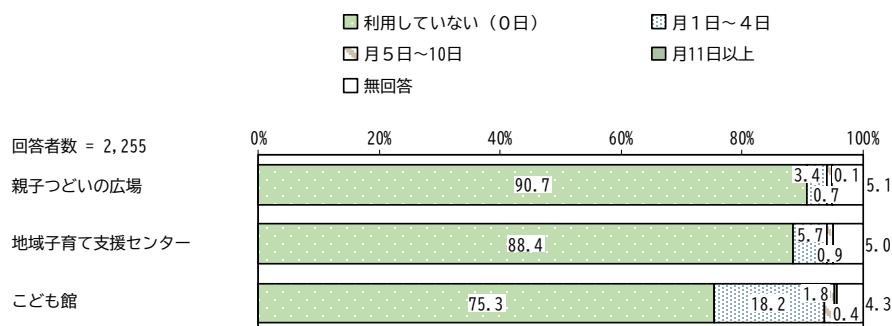


(4) 地域の子育て支援事業

○ 市の地域子育て支援拠点（「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」）の現在の利用日数

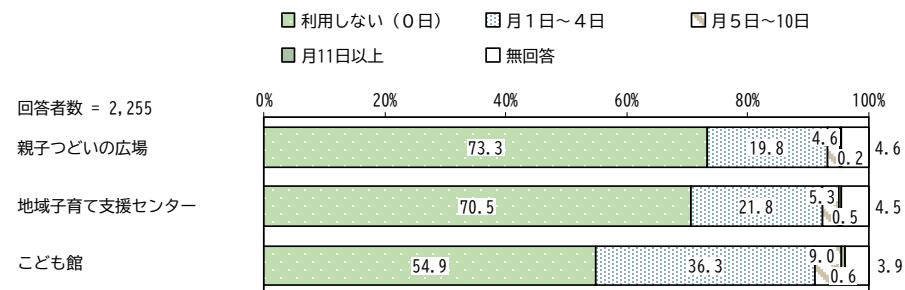
現在の利用日数（3施設）

『こども館』で「月1～4日」の割合が高くなっています。



希望する利用日数（3施設）

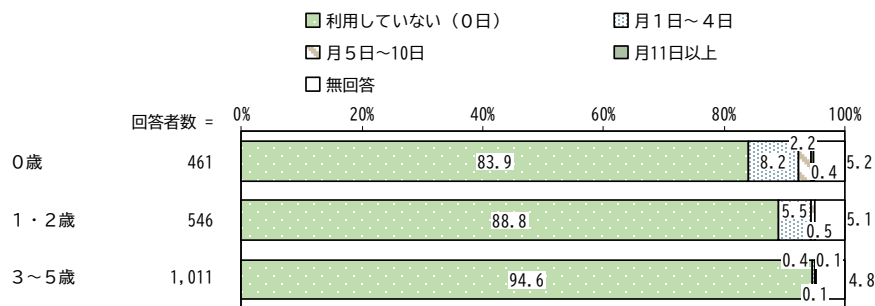
『こども館』で「月1～4日」の割合が高くなっています。



親子つどいの広場

【年齢別】

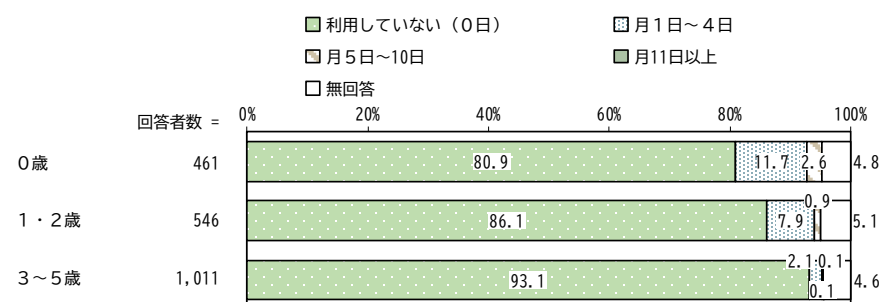
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「利用していない（0日）」の割合が高くなる傾向がみられます。



地域子育て支援センター

【年齢別】

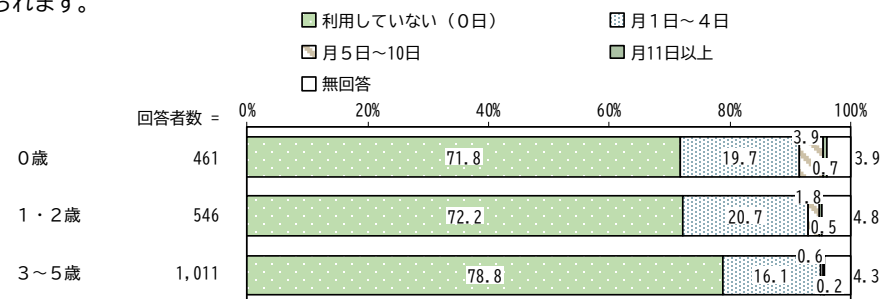
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「利用していない（0日）」の割合が高くなる傾向がみられます。



こども館

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「利用していない（0日）」の割合が高くなる傾向がみられます。

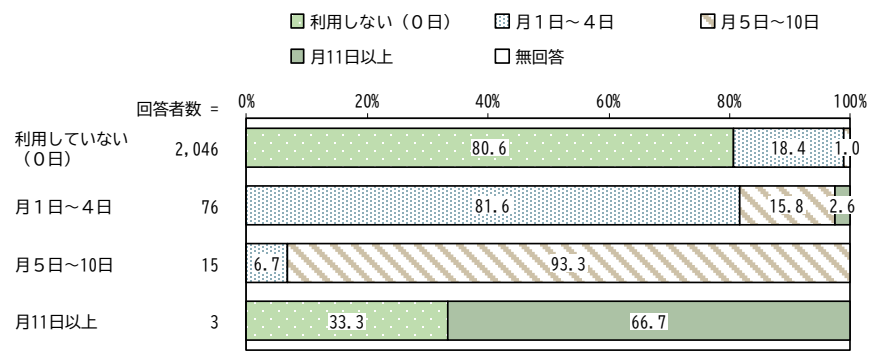


○ 各施設の現在の利用日数から見た希望利用日数

親子つどいの広場

【現在の利用日数別】

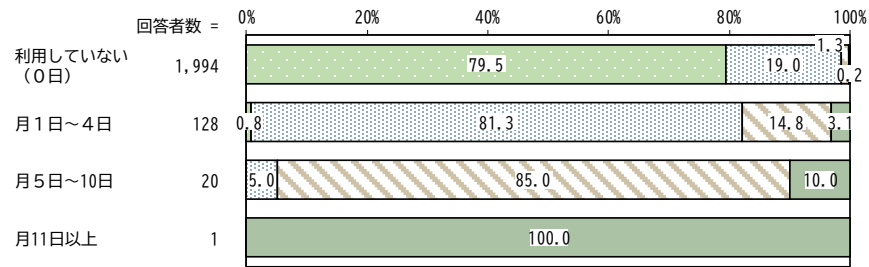
現在の利用日数別にみると、月1日～4日利用している人で「月1日～4日」の割合が、月5日～10日利用している人で「月5日～10日」の割合が高く、現在の利用を続けたい人の割合が高くなっています。



地域子育て支援センター

【現在の利用日数別】

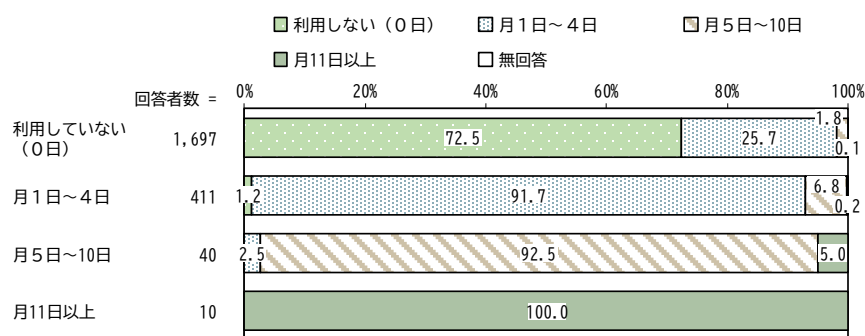
現在の利用日数別にみると、月1日～4日利用している人で「月1日～4日」の割合が、月5日～10日利用している人で「月5日～10日」の割合が高く、現在の利用を続けたい人の割合が高くなっています。



こども館

【現在の利用日数別】

現在の利用日数別にみると、月1日～4日利用している人で「月1日～4日」の割合が、月5日～10日利用している人で「月5日～10日」の割合が高く、現在の利用を続けたい人の割合が高くなっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

地域の子育て支援事業の中で「こども館」は比較的、利用頻度が高くなっていますが、地区ごとの利用頻度にばらつきがみられます。

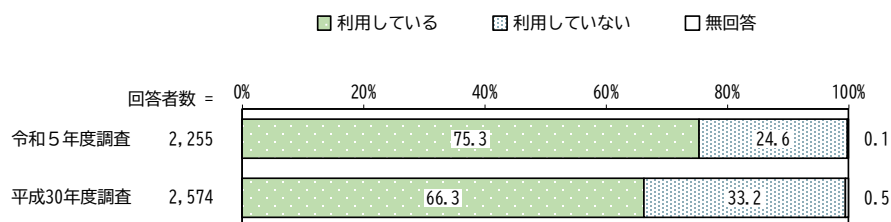
こども館は、相談や情報発信に有用な場所であるとともに、保護者同士の交流も図ることで保護者同士の不安も解消できる場であるため、積極的な利用を促していく必要があります。



（５）幼稚園や保育所、その他の利用状況

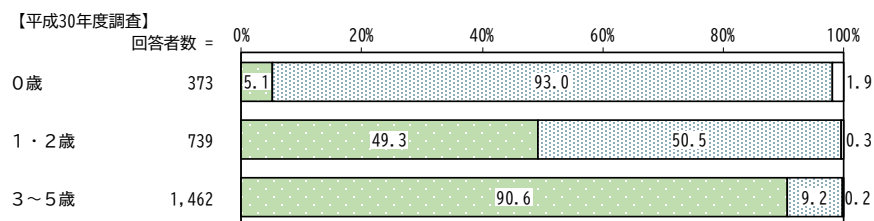
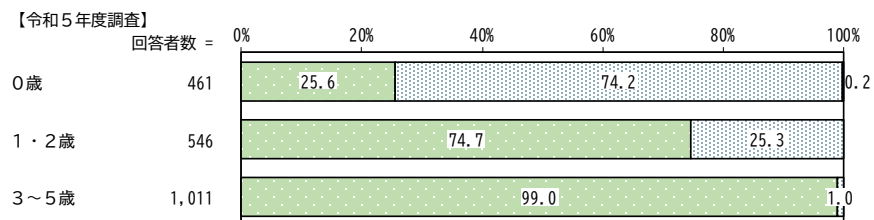
○ 現在の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の利用状況

「利用している」の割合が75.3%、「利用していない」の割合が24.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



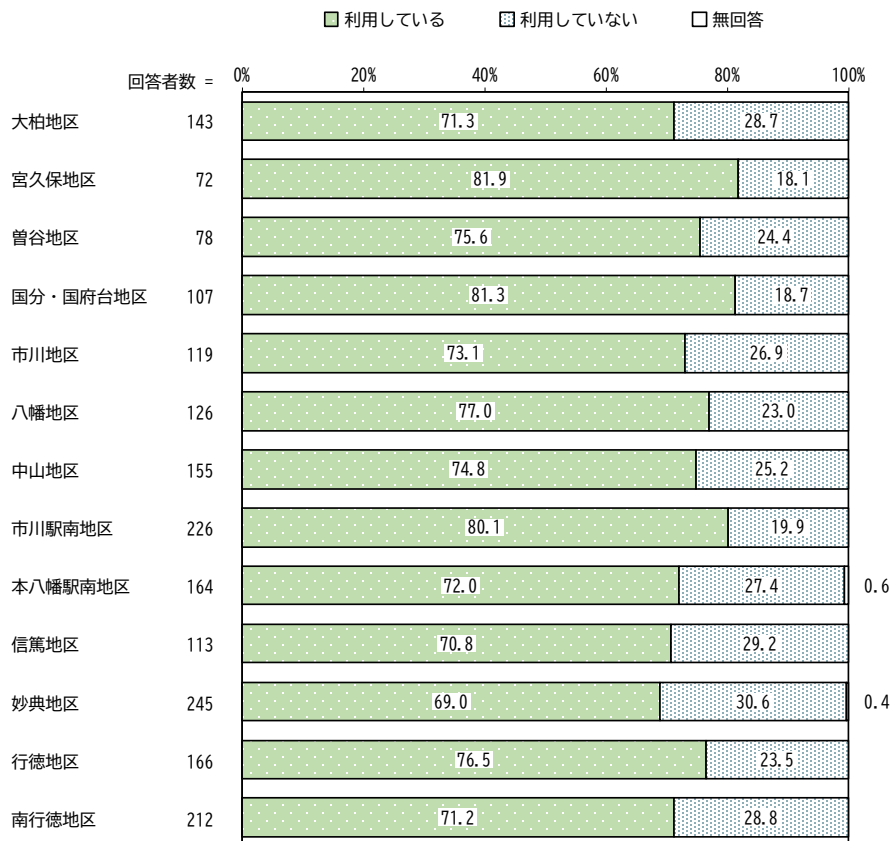
【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「利用していない」の割合が高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、すべての年齢で「利用している」の割合が増加しており、特に0歳、1・2歳で大きく増加しています。



【地区別】

地区別にみると、宮久保地区で「利用している」の割合が高くなっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

就労している保護者の増加に伴い、平成30年度から令和5年度にかけて、0～2歳の教育・保育事業の利用者が急増しています。利用を希望する事業についても、「幼稚園」の希望が低くなっている一方、「認定こども園」、「幼稚園＋定期的な預かり保育」といった長時間の預かりのニーズは高くなっています。長時間の預かりのニーズの高まりに対応するため、幼稚園の活用（預かり保育の拡充、認定こども園化）を検討していく必要があります。

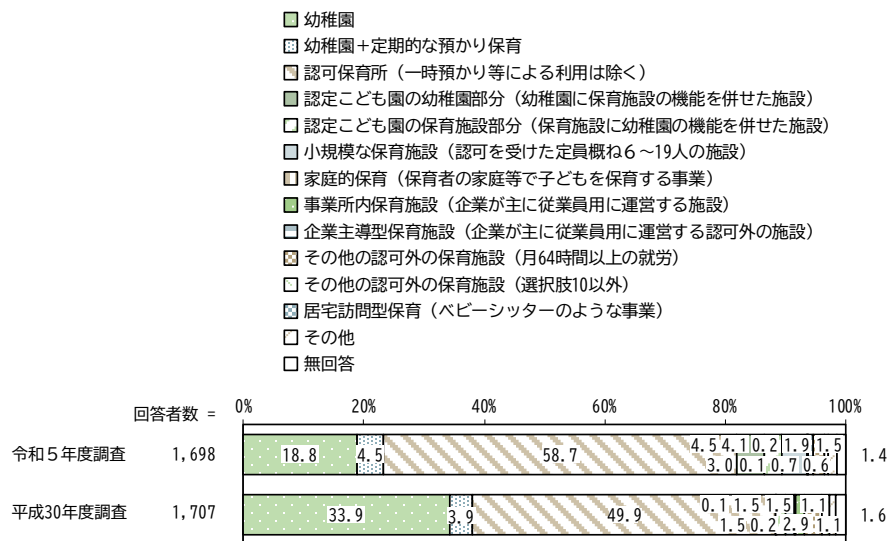


○ 現在、教育・保育事業を利用している方が、平日に主に利用する教育・保育事業

コメントの追加 [久佐2]: 表を追加

「認可保育所（一時預かり等による利用は除く）」の割合が58.7%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育所（一時預かり等による利用は除く）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (月64時間以上の就労)	その他の認可外の保育施設 (選択肢10以外)	居宅訪問型保育	その他	無回答
令和5年度調査	1,698	18.8	4.5	58.7	4.5	3.0	4.1	0.1	0.2	0.7	1.9	0.6	0.0	1.5	1.4
平成30年度調査	1,707	33.9	3.9	49.9	0.1	1.5	1.5	0.2	1.5	—	2.9	1.1	0.0	1.1	1.6

【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「認可保育所（一時預かり等による利用は除く）」の割合が高くなっています。

- 幼稚園

■ 認可保育所

■ 認定こども園の保育施設部分

■ 家庭的保育

■ 企業主導型保育施設

■ その他の認可外の保育施設（上記以外）

■ その他
- 幼稚園＋定期的な預かり保育

■ 認定こども園の幼稚園部分

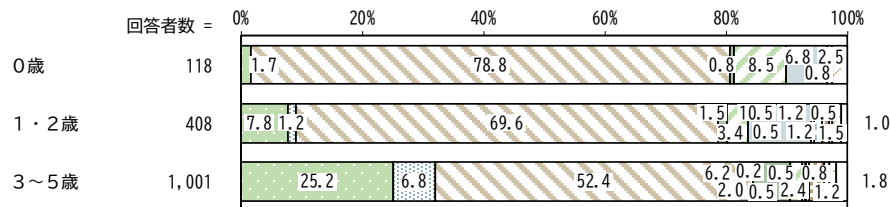
■ 小規模な保育施設

■ 事業所内保育施設

■ その他の認可外の保育施設（月64時間以上の就労）

■ 居宅訪問型保育

■ 無回答



単位：％

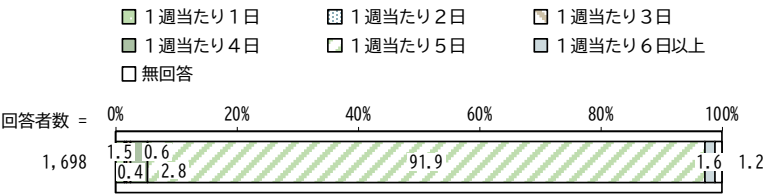
区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (月64時間以上の就労)	その他の認可外の保育施設 (上記以外)	居宅訪問型保育	その他	無回答
0歳	118	1.7	—	78.8	0.8	8.5	6.8	—	—	—	0.8	—	—	2.5	—
1・2歳	408	7.8	1.2	69.6	1.5	3.4	10.5	0.5	—	1.2	1.2	0.5	—	1.5	1.0
3～5歳	1,001	25.2	6.8	52.4	6.2	2.0	0.5	—	0.2	0.5	2.4	0.8	—	1.2	1.8

○ 現在、教育・保育事業を利用している方の実際の利用日数と希望の利用日数

1. 現在

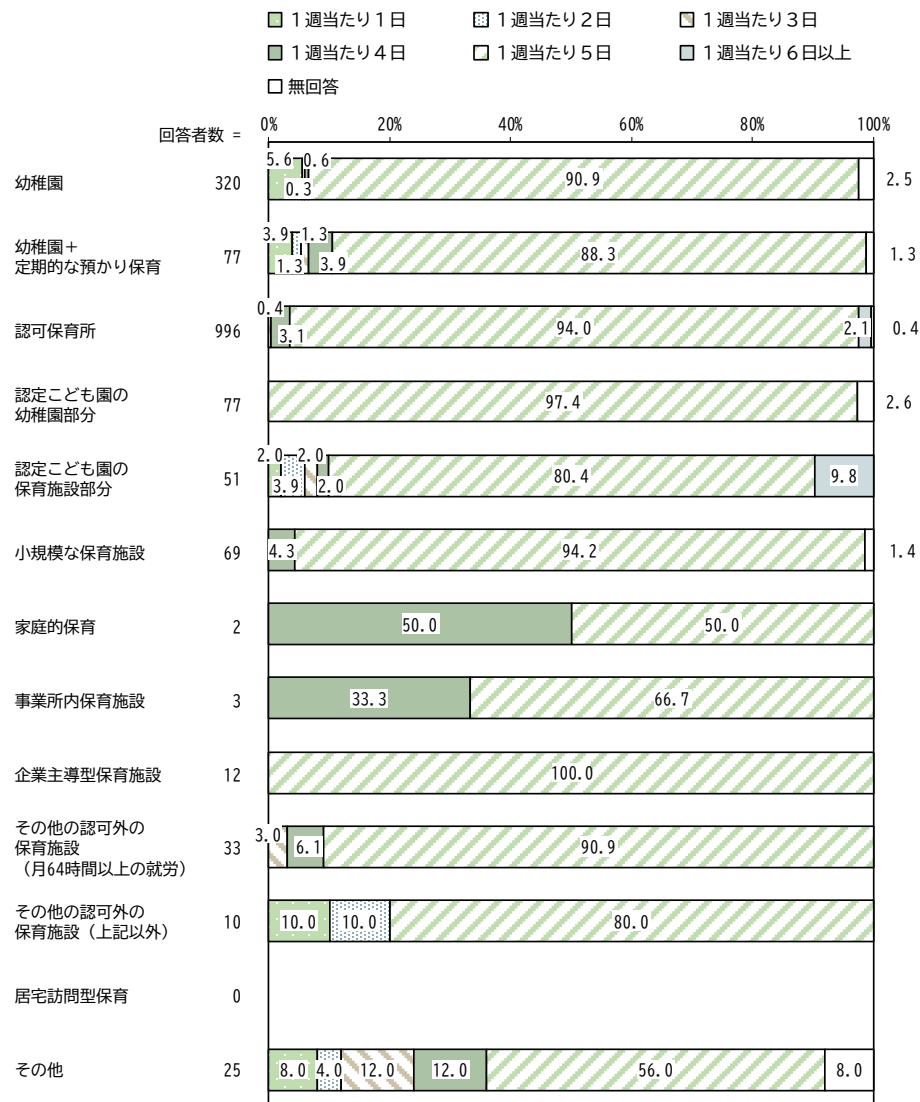
現在利用している事業の1週当たりの利用日数

「1週当たり5日」の割合が91.9%と最も高くなっています。



【教育・保育の事業別】

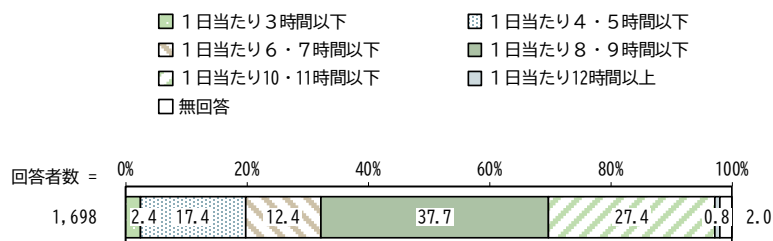
教育・保育の事業別にみると、企業主導型保育施設（企業が主に従業員用に運営する認可外の施設）で「1週当たり5日」の割合が高くなっています。



※教育・保育の事業での「居宅訪問型保育」の有効回答はありませんでした。

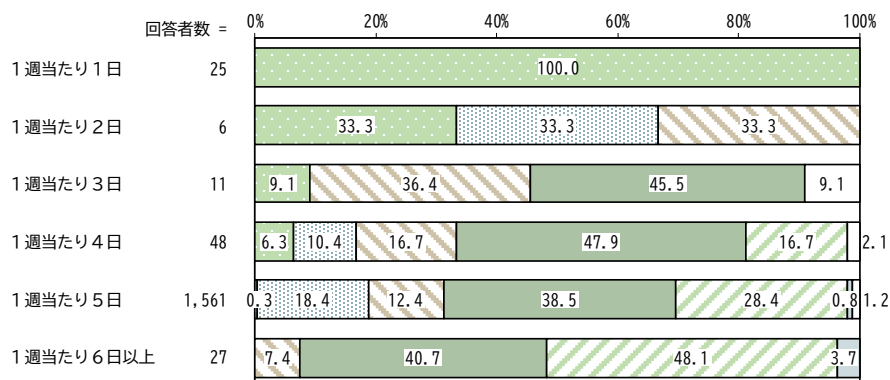
現在利用している事業の1日当たりの利用時間

「1日当たり8・9時間以下」の割合が37.7%と最も高く、次いで「1日当たり10・11時間以下」の割合が27.4%、「1日当たり4・5時間以下」の割合が17.4%となっています。



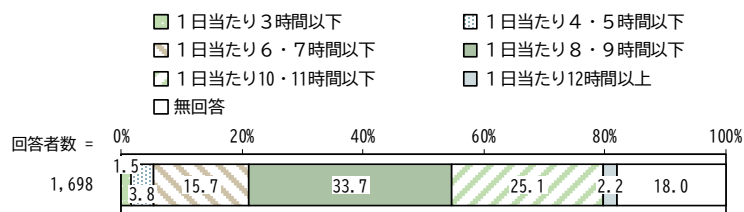
※1週当たりの利用日数から見た利用時間

1週当たりの利用日数別にみると、1週当たり3日で「1日当たり6・7時間以下」の割合が高くなっています。



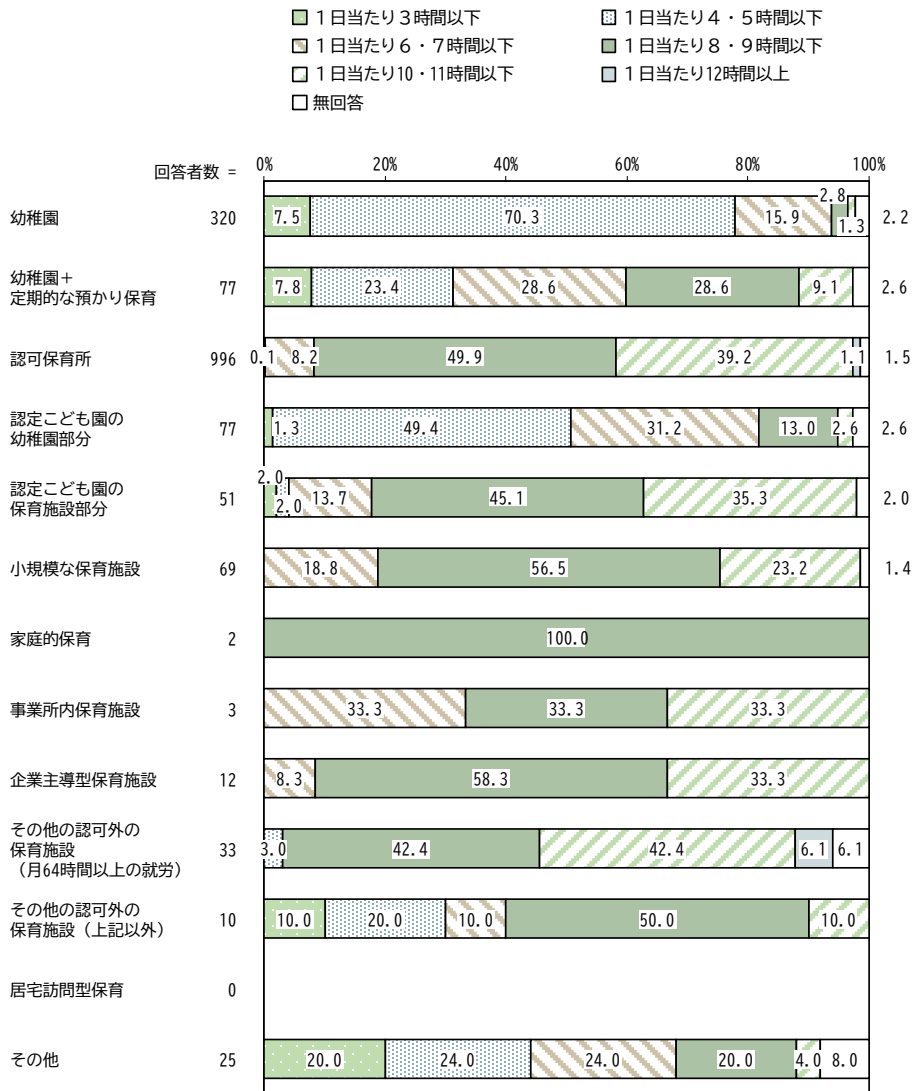
【現在利用している事業について、希望する1日当たり利用時間】

「1日当たり8・9時間以下」の割合が33.7%と最も高く、次いで「1日当たり10・11時間以下」の割合が25.1%、「1日当たり6・7時間以下」の割合が15.7%となっています。



【教育・保育の事業別 現在の1日当たりの利用時間】

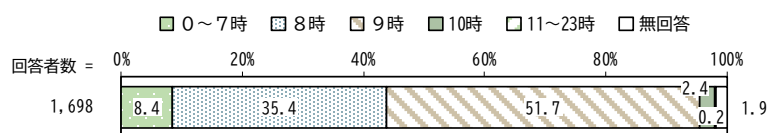
教育・保育の事業別にみると、幼稚園で「1日当たり4・5時間以下」の割合が高くなっています。



※教育・保育の事業での「居宅訪問型保育」の有効回答はありませんでした。

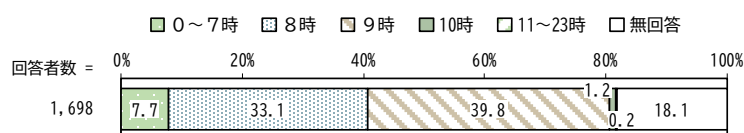
【現在利用している事業の実際の開始時間】

「9時」の割合が51.7%と最も高く、次いで「8時」の割合が35.4%となっています。



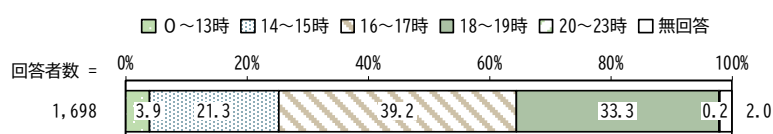
【現在利用している事業の希望開始時間】

「9時」の割合が39.8%と最も高く、次いで「8時」の割合が33.1%となっています。



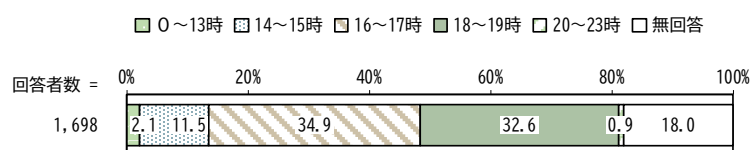
【現在利用している事業の実際の終了時間】

「16~17時」の割合が39.2%と最も高く、次いで「18~19時」の割合が33.3%、「14~15時」の割合が21.3%となっています。



【現在利用している事業の希望終了時間】

「16~17時」の割合が34.9%と最も高く、次いで「18~19時」の割合が32.6%、「14~15時」の割合が11.5%となっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

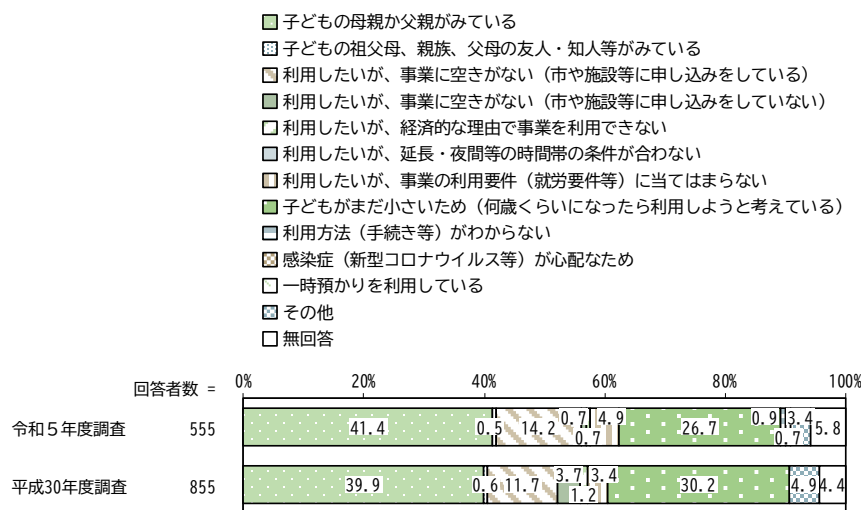
教育・保育事業の利用時間、開始時間、終了時間は、現在と希望で大きな乖離はみられず、概ね希望を満たしていると考えられます。就労する保護者の動向をふまえ、教育・保育事業の充実が今後必要です。



○ 現在、教育・保育事業を利用していない方の利用しない理由

コメントの追加 [yo3]: 平成 30 の
「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」
の数値が前回報告書になかったため、100%から他の選
択肢の合計を引いて算出しています。

「子どもの母親が父親がみている」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 26.7%、「利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）」の割合が 14.2%となっています。



※「利用方法（手続き等）がわからない」「感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため」「一時預かりを利用している」の選択肢は、令和5年度調査に追加されました。

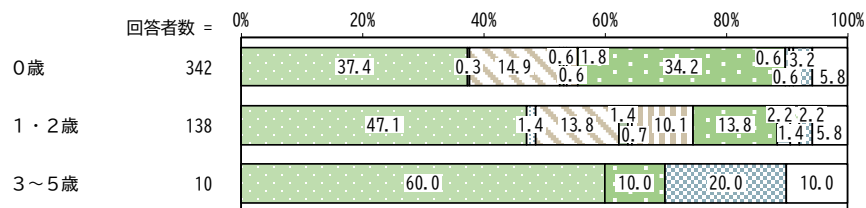
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの母親が父親がみている	子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている	利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）	利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない	子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）	利用方法（手続き等）がわからない	感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため	一時預かりを利用している	その他	無回答
令和5年度調査	555	41.4	0.5	14.2	0.7	0.7	—	4.9	26.7	0.9	—	0.7	3.4	5.8
平成30年度調査	855	39.9	0.6	11.7	3.7	1.2	—	3.4	30.2	—	—	—	4.9	4.4

【年齢別】

年齢別にみると、3～5歳で「子どもの母親か父親がみている」の割合が高くなっています。

- ☒ 子どもの母親か父親がみている
- ☒ 子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている
- ☒ 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）
- ☒ 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）
- ☐ 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- ☐ 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- ☐ 利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない
- ☒ 子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）
- ☐ 利用方法（手続き等）がわからない
- ☒ 感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
- ☐ 一時預かりを利用している
- ☒ その他
- ☐ 無回答



単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの母親か父親がみている	子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている	利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）	利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない	子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）	利用方法（手続き等）がわからない	感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため	一時預かりを利用している	その他	無回答
0歳	342	37.4	0.3	14.9	0.6	0.6	—	1.8	34.2	0.6	—	0.6	3.2	5.8
1・2歳	138	47.1	1.4	13.8	1.4	0.7	—	10.1	13.8	2.2	—	1.4	2.2	5.8
3～5歳	10	60.0	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	20.0	10.0

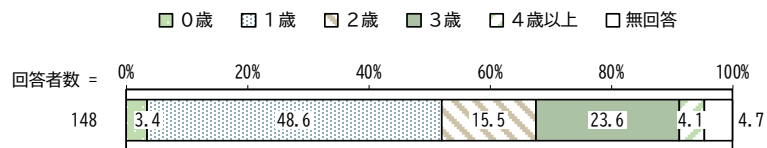
コメントの追加 [yo4]: 年齢別グラフを経年で作成と
のことでしたが、
前回の年齢別グラフは、数値が不明な部分が2箇所あり、
グラフが作成できません。

单位：%

区分	回答者数（件）	子どもの母親が父親がみている 印象がみえている	子どもの祖父・祖母、親族、 父母の友人・知人等がみえている	利用したいが、事業に空きがない （人や施設等に申し込みをしていない） （人や施設等に申し込みをしている）	利用したいが、事業に空きがない （人や施設等に申し込みをしていない） （人や施設等に申し込みをしている）	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の利用要件（資格やスキル等）に当てはまらない	子どもはまだ小さいため（何歳くらいにならなければ利用しようと考えている）	利用方法（手続き等）がわからない	感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため	一時預かりを利用している	その他	無回答
大柏地区	41	41.5	4.9	19.5	—	—	—	—	19.5	—	—	—	—	14.6
宮久保地区	13	69.2	—	7.7	—	—	—	7.7	—	—	—	—	15.4	—
曽谷地区	19	42.1	—	26.3	—	5.3	—	—	15.8	—	—	—	—	10.5
国分・国府台地区	20	40.0	—	20.0	—	—	—	5.0	25.0	—	—	—	—	10.0
市川地区	32	34.4	—	3.1	3.1	—	—	12.5	28.1	—	—	6.3	9.4	3.1
八幡地区	29	58.6	—	6.9	—	—	—	10.3	17.2	—	—	3.4	3.4	—
中山地区	39	25.6	2.6	2.6	—	—	—	7.7	38.5	2.6	—	—	5.1	15.4
市川駅南地区	45	48.9	—	24.4	—	—	—	—	26.7	—	—	—	—	—
本八幡駅南地区	45	37.8	—	13.3	—	2.2	—	2.2	37.8	2.2	—	2.2	2.2	—
信篤地区	33	51.5	—	15.2	6.1	—	—	6.1	9.1	—	—	—	9.1	3.0
妙典地区	75	37.3	—	13.3	—	1.3	—	6.7	33.3	1.3	—	—	2.7	4.0
行徳地区	39	35.9	—	15.4	—	—	—	7.7	25.6	2.6	—	—	5.1	7.7
南行徳地区	61	50.8	—	13.1	—	—	—	3.3	27.9	—	—	—	—	4.9

「子どもがまだ小さいため」と選択した方は、何歳になったら利用したいか

「1歳」の割合が48.6%と最も高く、次いで「3歳」の割合が23.6%、「2歳」の割合が15.5%となっています。

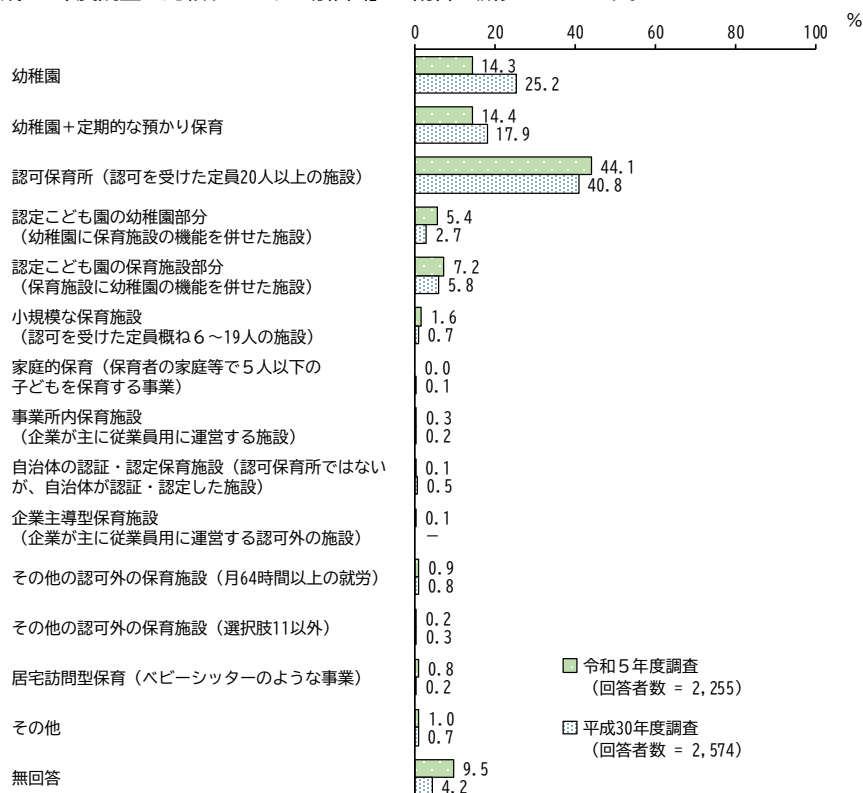


○ 今後もっとも利用したい教育・保育事業と、その事業に空きがない等の場合に利用したい事業

もっとも利用したい事業

「認可保育所（認可を受けた定員 20 人以上の施設）」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「幼稚園＋定期的な預かり保育」の割合が 14.4%、「幼稚園」の割合が 14.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。



※「企業主導型保育施設（企業が主に従業員用に運営する認可外の施設）」の選択肢は、令和5年度調査に追加されました。

コメントの追加 [久佐5]: 地区別×年齢別

コメントの追加 [yo6]: 経年が非常に見づらくなったので、棒グラフに変更しています。

【地区別・年齢別にみたもっとも利用したい事業】

①大柏地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	143	22.4	14.7	46.2	1.4	2.8	－	－	－	－	0.7	－	－	1.4	0.7	9.8
0歳	32	18.8	15.6	50.0	－	3.1	－	－	－	－	－	－	－	3.1	－	9.4
1・2歳	36	25.0	8.3	47.2	2.8	8.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8.3
3～5歳	62	19.4	17.7	43.5	1.6	－	－	－	－	－	1.6	－	－	1.6	1.6	12.9

②宮久保地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	72	12.5	15.3	37.5	12.5	5.6	1.4	－	－	－	－	1.4	－	－	－	13.9
0歳	7	－	－	71.4	－	－	14.3	－	－	－	－	14.3	－	－	－	－
1・2歳	22	13.6	9.1	40.9	27.3	4.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4.5
3～5歳	37	13.5	24.3	29.7	5.4	8.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	18.9

③曽谷地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	78	21.8	23.1	34.6	9.0	2.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9.0
0歳	15	20.0	6.7	53.3	6.7	6.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.7
1・2歳	13	30.8	30.8	38.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3～5歳	42	21.4	26.2	23.8	14.3	2.4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	11.9

④国分・国府台地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	107	17.8	16.8	38.3	2.8	11.2	0.9	－	－	－	－	－	－	0.9	1.9	9.3
0歳	20	10.0	10.0	50.0	－	20.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10.0
1・2歳	30	16.7	10.0	33.3	3.3	13.3	3.3	－	－	－	－	－	－	3.3	3.3	13.3
3～5歳	51	19.6	21.6	37.3	3.9	7.8	－	－	－	－	－	－	－	－	2.0	7.8

⑤市川地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	119	14.3	21.0	42.0	4.2	7.6	0.8	－	－	－	－	－	0.8	2.5	1.7	5.0
0歳	33	18.2	6.1	54.5	9.1	9.1	－	－	－	－	－	－	3.0	－	－	－
1・2歳	24	12.5	29.2	45.8	－	4.2	4.2	－	－	－	－	－	－	4.2	－	－
3～5歳	54	9.3	24.1	38.9	3.7	7.4	－	－	－	－	－	－	－	3.7	3.7	9.3

⑥八幡地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	126	16.7	22.2	32.5	9.5	7.1	0.8	－	－	－	－	4.0	0.8	－	0.8	5.6
0歳	18	16.7	22.2	22.2	－	16.7	5.6	－	－	－	－	5.6	－	－	－	11.1
1・2歳	36	5.6	16.7	50.0	11.1	8.3	－	－	－	－	－	2.8	－	－	2.8	2.8
3～5歳	61	23.0	23.0	26.2	13.1	3.3	－	－	－	－	－	4.9	1.6	－	－	4.9

⑦中山地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	155	12.9	18.7	36.1	11.0	11.6	3.9	—	—	—	—	—	—	0.6	0.6	4.5
0歳	34	17.6	5.9	47.1	8.8	14.7	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9
1・2歳	40	10.0	20.0	42.5	7.5	15.0	2.5	—	—	—	—	—	—	2.5	—	—
3～5歳	61	11.5	24.6	29.5	11.5	9.8	6.6	—	—	—	—	—	—	—	1.6	4.9

⑧市川駅南地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	226	13.7	11.9	54.9	2.7	5.3	2.2	—	0.4	0.4	—	—	—	0.4	0.9	7.1
0歳	46	8.7	2.2	65.2	—	10.9	10.9	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2
1・2歳	66	10.6	16.7	60.6	4.5	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0
3～5歳	95	18.9	15.8	45.3	3.2	4.2	—	—	1.1	1.1	—	—	—	—	2.1	8.4

⑨本八幡駅南地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	164	15.2	9.8	41.5	5.5	14.6	3.0	—	—	—	—	1.8	—	0.6	0.6	7.3
0歳	34	8.8	2.9	55.9	2.9	17.6	5.9	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9
1・2歳	43	18.6	14.0	37.2	7.0	18.6	2.3	—	—	—	—	—	—	2.3	—	—
3～5歳	66	15.2	13.6	40.9	3.0	10.6	1.5	—	—	—	—	4.5	—	—	1.5	9.1

⑩信篤地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	113	12.4	15.0	49.6	1.8	8.0	0.9	—	—	—	—	—	0.9	—	0.9	10.6
0歳	27	11.1	14.8	44.4	3.7	22.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7
1・2歳	27	14.8	11.1	55.6	—	3.7	3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	11.1
3～5歳	45	11.1	17.8	46.7	2.2	4.4	—	—	—	—	—	—	2.2	—	—	15.6

⑪妙典地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	245	11.4	10.2	50.2	5.7	8.2	—	—	0.8	—	—	0.4	—	1.6	1.2	10.2
0歳	61	9.8	8.2	57.4	4.9	11.5	—	—	—	—	—	—	—	1.6	1.6	4.9
1・2歳	51	13.7	7.8	51.0	2.0	3.9	—	—	—	—	—	2.0	—	3.9	2.0	13.7
3～5歳	105	12.4	15.2	41.9	6.7	6.7	—	—	1.9	—	—	—	—	1.0	1.0	13.3

⑫行徳地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	166	17.5	13.3	44.0	1.8	6.0	2.4	—	—	—	0.6	1.2	0.6	0.6	1.8	10.2
0歳	30	16.7	16.7	43.3	—	10.0	13.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1・2歳	39	17.9	10.3	41.0	—	7.7	—	—	—	—	—	2.6	2.6	—	—	17.9
3～5歳	80	18.8	13.8	46.3	3.8	3.8	—	—	—	—	1.3	—	—	1.3	2.5	8.8

⑬南行徳地区

単位：％

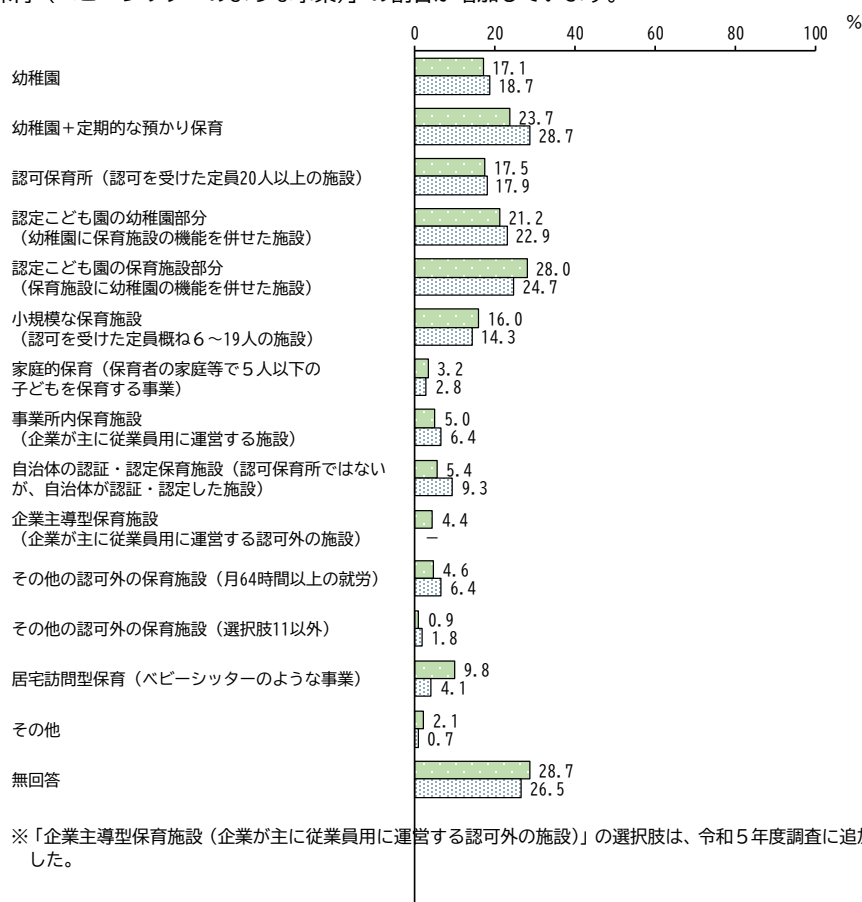
区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	212	9.9	9.4	49.1	7.1	5.7	0.9	－	1.9	0.9	－	2.8	0.5	1.4	0.9	9.4
0歳	49	6.1	12.2	63.3	6.1	6.1	2.0	－	4.1	－	－	－	－	－	－	－
1・2歳	56	8.9	10.7	42.9	8.9	10.7	－	－	1.8	－	－	1.8	－	1.8	1.8	10.7
3～5歳	90	10.0	7.8	46.7	7.8	2.2	1.1	－	1.1	2.2	－	4.4	1.1	1.1	1.1	13.3

もっとも利用したい事業に空きがない等の場合に利用したい事業（複数回答可）

コメントの追加 [久佐7]: 地区別×年齢別

「認定こども園の保育施設部分（保育施設に幼稚園の機能を併せた施設）」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「幼稚園＋定期的な預かり保育」の割合が 23.7%、「認定こども園の幼稚園部分（幼稚園に保育施設の機能を併せた施設）」の割合が 21.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園＋定期的な預かり保育」の割合が減少し、「居宅訪問型保育（ベビーシッターのような事業）」の割合が増加しています。



【地区別・年齢別にみたもっとも利用したい事業に空きがない等の場合に利用したい事業】

①大柏地区

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	143	17.5	27.3	9.8	25.2	28.7	20.3	4.2	8.4	5.6	2.1	3.5	1.4	10.5	1.4	32.2
0歳	32	28.1	34.4	15.6	37.5	31.3	31.3	3.1	18.8	9.4	3.1	6.3	3.1	9.4	—	21.9
1・2歳	36	13.9	36.1	16.7	27.8	36.1	25.0	8.3	5.6	11.1	5.6	5.6	—	11.1	—	19.4
3～5歳	62	14.5	17.7	4.8	16.1	21.0	9.7	3.2	4.8	1.6	—	—	1.6	9.7	3.2	48.4

②宮久保地区

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	72	15.3	23.6	16.7	8.3	23.6	5.6	2.8	1.4	—	1.4	1.4	—	8.3	—	40.3
0歳	7	14.3	14.3	14.3	—	42.9	42.9	28.6	—	—	—	—	—	14.3	—	14.3
1・2歳	22	22.7	27.3	31.8	9.1	27.3	4.5	—	—	—	—	—	—	13.6	—	36.4
3～5歳	37	10.8	24.3	10.8	8.1	18.9	—	—	2.7	—	2.7	—	—	5.4	—	48.6

③曽谷地区

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	78	19.2	26.9	20.5	20.5	24.4	14.1	5.1	1.3	10.3	3.8	2.6	1.3	5.1	3.8	30.8
0歳	15	26.7	46.7	20.0	40.0	33.3	26.7	—	6.7	26.7	6.7	6.7	—	6.7	6.7	13.3
1・2歳	13	23.1	23.1	30.8	15.4	23.1	15.4	15.4	—	—	7.7	—	—	7.7	—	23.1
3～5歳	42	19.0	23.8	16.7	16.7	16.7	7.1	2.4	—	4.8	2.4	2.4	2.4	4.8	2.4	42.9

④国分・国府台地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	107	23.4	20.6	19.6	24.3	26.2	17.8	7.5	5.6	2.8	1.9	1.9	－	7.5	2.8	28.0
0歳	20	35.0	10.0	25.0	30.0	30.0	35.0	10.0	15.0	5.0	－	－	－	5.0	5.0	15.0
1・2歳	30	23.3	23.3	30.0	20.0	20.0	13.3	6.7	3.3	3.3	6.7	3.3	－	10.0	3.3	26.7
3～5歳	51	21.6	19.6	13.7	23.5	27.5	13.7	5.9	3.9	2.0	－	2.0	－	5.9	2.0	33.3

⑤市川地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	119	21.8	24.4	16.0	22.7	21.8	16.0	1.7	4.2	7.6	10.1	8.4	2.5	14.3	4.2	19.3
0歳	33	21.2	33.3	18.2	18.2	33.3	36.4	3.0	6.1	9.1	9.1	12.1	6.1	24.2	－	6.1
1・2歳	24	20.8	16.7	20.8	29.2	20.8	12.5	－	4.2	8.3	20.8	12.5	4.2	20.8	－	8.3
3～5歳	54	18.5	20.4	11.1	24.1	18.5	7.4	1.9	3.7	7.4	7.4	5.6	－	5.6	7.4	35.2

⑥八幡地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	126	19.0	23.8	27.0	21.4	26.2	10.3	1.6	1.6	2.4	4.8	5.6	0.8	7.9	1.6	22.2
0歳	18	22.2	16.7	50.0	27.8	27.8	33.3	－	－	5.6	5.6	5.6	－	5.6	－	11.1
1・2歳	36	16.7	30.6	16.7	19.4	30.6	19.4	2.8	2.8	－	5.6	11.1	2.8	11.1	2.8	13.9
3～5歳	61	16.4	23.0	23.0	19.7	23.0	－	1.6	1.6	3.3	4.9	3.3	－	8.2	1.6	32.8

⑦中山地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	155	14.2	26.5	20.6	23.9	34.8	16.1	1.9	3.9	3.2	1.3	3.2	－	7.1	1.9	26.5
0歳	34	14.7	32.4	17.6	23.5	41.2	26.5	－	5.9	5.9	2.9	8.8	－	14.7	2.9	17.6
1・2歳	40	17.5	22.5	20.0	22.5	27.5	12.5	－	5.0	2.5	－	－	－	7.5	5.0	30.0
3～5歳	61	13.1	24.6	23.0	27.9	39.3	16.4	4.9	1.6	3.3	－	3.3	－	3.3	－	27.9

⑧市川駅南地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	226	17.7	25.2	15.0	19.9	29.2	19.0	1.8	7.1	4.9	5.3	4.0	－	9.7	3.5	26.1
0歳	46	15.2	19.6	26.1	26.1	41.3	41.3	4.3	10.9	13.0	8.7	8.7	－	13.0	2.2	13.0
1・2歳	66	30.3	30.3	18.2	18.2	27.3	15.2	－	6.1	1.5	6.1	1.5	－	12.1	3.0	22.7
3～5歳	95	12.6	27.4	9.5	21.1	27.4	11.6	1.1	7.4	4.2	4.2	4.2	－	5.3	4.2	29.5

⑨本八幡駅南地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	164	16.5	25.6	18.9	28.0	29.9	14.0	3.7	4.3	6.7	3.7	4.9	1.8	11.6	2.4	27.4
0歳	34	26.5	26.5	20.6	35.3	47.1	35.3	5.9	5.9	17.6	8.8	2.9	2.9	17.6	2.9	11.8
1・2歳	43	20.9	27.9	18.6	23.3	23.3	18.6	7.0	－	7.0	2.3	4.7	2.3	16.3	2.3	30.2
3～5歳	66	12.1	22.7	15.2	27.3	25.8	1.5	1.5	7.6	3.0	3.0	6.1	1.5	4.5	3.0	30.3

⑩信篤地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	113	14.2	27.4	15.0	24.8	23.0	18.6	5.3	6.2	2.7	4.4	5.3	0.9	13.3	0.9	24.8
0歳	27	22.2	29.6	22.2	29.6	22.2	33.3	3.7	11.1	7.4	7.4	11.1	－	18.5	－	14.8
1・2歳	27	14.8	33.3	18.5	25.9	22.2	11.1	3.7	7.4	－	3.7	－	－	3.7	3.7	25.9
3～5歳	45	11.1	24.4	8.9	17.8	20.0	13.3	6.7	2.2	－	4.4	－	－	15.6	－	33.3

⑪妙典地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	245	18.8	24.5	15.9	18.0	31.0	17.6	2.0	6.5	7.8	6.5	6.1	1.6	10.6	0.4	28.6
0歳	61	14.8	26.2	23.0	14.8	45.9	37.7	3.3	6.6	14.8	9.8	9.8	4.9	18.0	1.6	13.1
1・2歳	51	21.6	25.5	11.8	19.6	23.5	11.8	2.0	11.8	3.9	9.8	5.9	－	7.8	－	33.3
3～5歳	105	21.0	22.9	14.3	17.1	25.7	7.6	1.0	4.8	7.6	3.8	3.8	1.0	7.6	－	35.2

⑫行徳地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	166	11.4	18.1	18.1	23.5	24.1	11.4	2.4	5.4	4.8	3.6	1.8	0.6	8.4	0.6	35.5
0歳	30	16.7	20.0	36.7	56.7	36.7	23.3	－	10.0	10.0	3.3	3.3	－	16.7	－	13.3
1・2歳	39	12.8	23.1	17.9	17.9	20.5	12.8	－	2.6	2.6	5.1	－	2.6	2.6	2.6	41.0
3～5歳	80	11.3	17.5	11.3	18.8	22.5	7.5	3.8	5.0	5.0	3.8	2.5	－	6.3	－	36.3

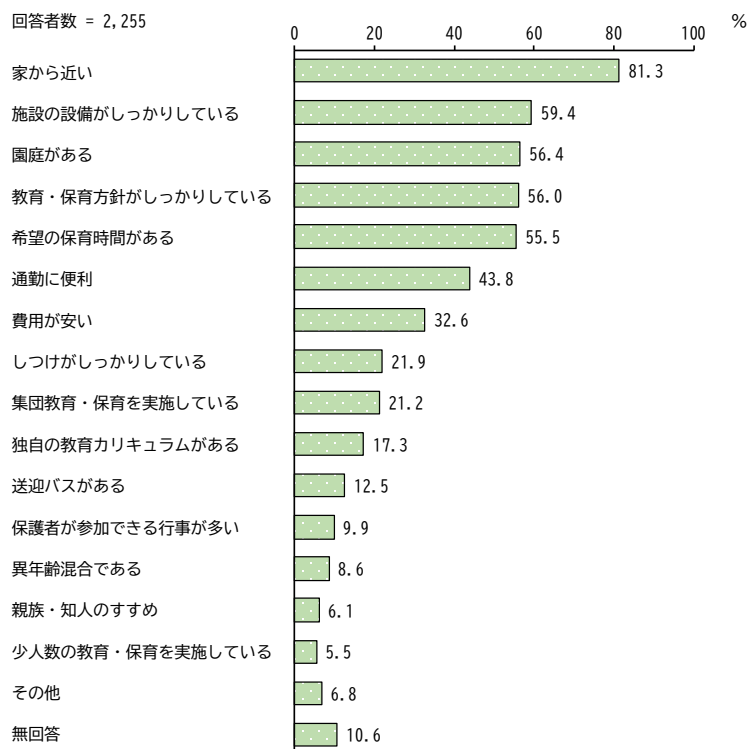
⑬南行徳地区

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園＋定期的な預かり保育	認可保育所	認定こども園の幼稚園部分	認定こども園の保育施設部分	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育施設	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設)	居宅訪問型保育	その他	無回答
全 体	212	17.0	21.7	16.5	22.6	28.8	20.3	2.8	3.3	5.7	3.8	6.1	0.9	9.0	3.8	27.4
0歳	49	28.6	24.5	18.4	34.7	46.9	40.8	2.0	8.2	12.2	6.1	10.2	4.1	14.3	2.0	10.2
1・2歳	56	14.3	28.6	19.6	26.8	37.5	17.9	1.8	3.6	5.4	1.8	5.4	—	7.1	5.4	26.8
3～5歳	90	13.3	13.3	13.3	15.6	16.7	11.1	4.4	1.1	2.2	2.2	4.4	—	7.8	4.4	36.7

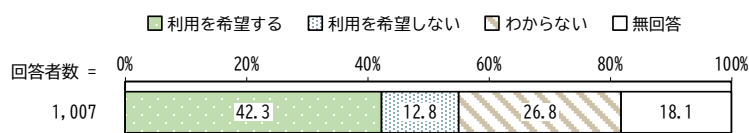
○ 定期的な教育・保育として利用したい事業の重視する条件（複数回答可）

「家から近い」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「施設の設備がしっかりしている」の割合が 59.4%、「園庭がある」の割合が 56.4%となっています。



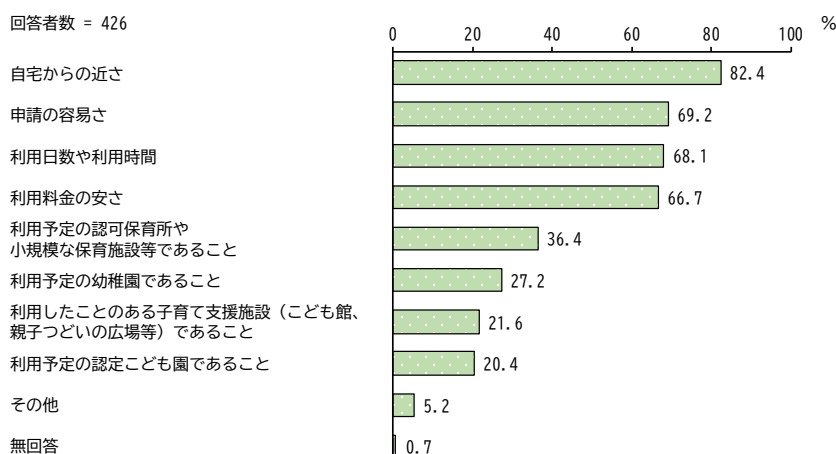
○ 「こども誰でも通園制度（仮称）」が実施された場合の利用希望
（子どもが0～2歳の方のみ）

「利用を希望する」の割合が42.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.8%、「利用を希望しない」の割合が12.8%となっています。



○ 「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用する場合に重視する条件

「自宅からの近さ」の割合が82.4%と最も高く、次いで「申請の容易さ」の割合が69.2%、「利用日数や利用時間」の割合が68.1%となっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

こどもだれでも通園制度については、4割程度の利用意向があるが、条件として、身近な場所であることや、申請のしやすさ、時間や料金があがっています。国の制度の状況を踏まえながら、ニーズに適切に対応していく必要があります。



◆◇ 幼稚園や保育所、その他の利用状況の課題のまとめ ◇◆



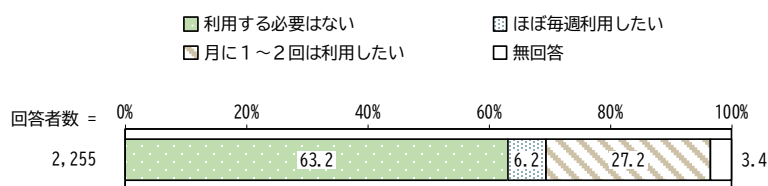
幼稚園や保育所などの教育・保育所は、現状のニーズを概ね満たしていると考えられます。就労している保護者が増加しており、幼稚園のニーズが減少し、保育所のニーズが今後も高まっていくと考えられます。多様化する就労形態や就労時間の変化を踏まえ、保護者のニーズに対応していく必要があります。

（６）土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

○ 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

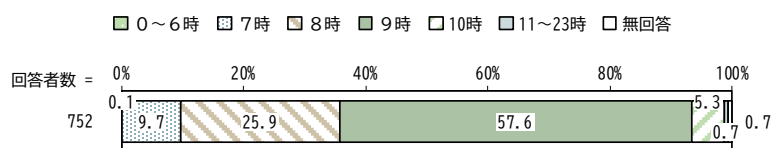
（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 27.2%となっています。



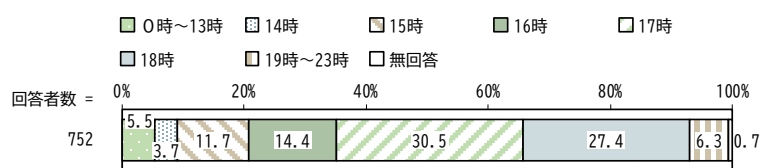
教育・保育事業の希望開始時間

「９時」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「８時」の割合が 25.9%となっています。



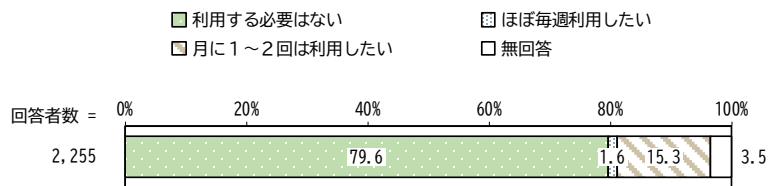
教育・保育事業の希望終了時間

「１７時」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「１８時」の割合が 27.4%、「１６時」の割合が 14.4%となっています。



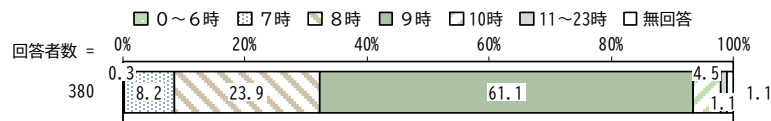
(2) 日曜（祝日含む）

「利用する必要はない」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 15.3%となっています。



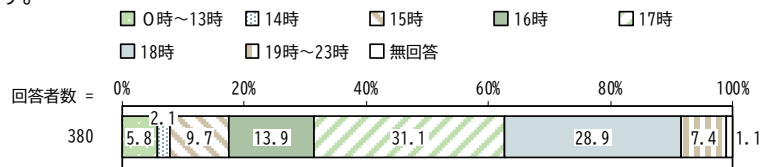
教育・保育事業の希望開始時間

「9時」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「8時」の割合が 23.9%となっています。



教育・保育事業の希望終了時間

「17時」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「18時」の割合が 28.9%、「16時」の割合が 13.9%となっています。



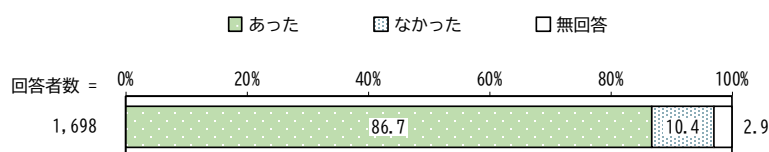
◆◇ 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望のまとめ ◇◆

土曜日・日曜日の教育・保育事業を利用したい人は、全体からすれば少ないものの、土曜日や日曜日の保育事業のニーズも一定程度みられます。また、幼稚園でも長期休暇期間の利用ニーズが高いことから、休日の保育事業の充実が今後も必要です。

(7) 子どもの病気の際の対応

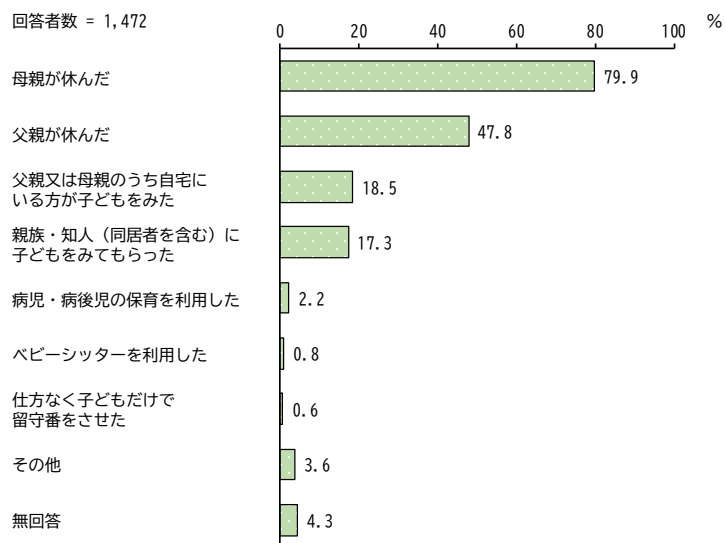
- 平日の教育・保育の事業を利用している方が、この1年間、子どもの病気やケガにより通常の事業が利用できなかったことがあったか

「あった」の割合が86.7%、「なかった」の割合が10.4%となっています。



- 病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法とその日数 (複数回答可)

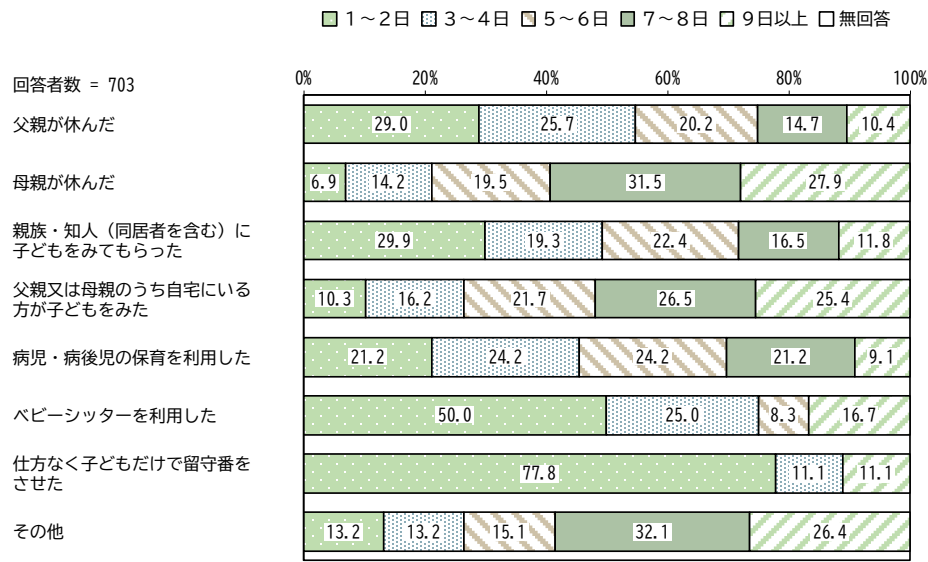
「母親が休んだ」の割合が79.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が47.8%、「父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた」の割合が18.5%となっています。



対処に要した日数が1年間でどれだけあったか

『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「1～2日」の割合が、『母親が休んだ』で「7～8日」の割合が高くなっています。

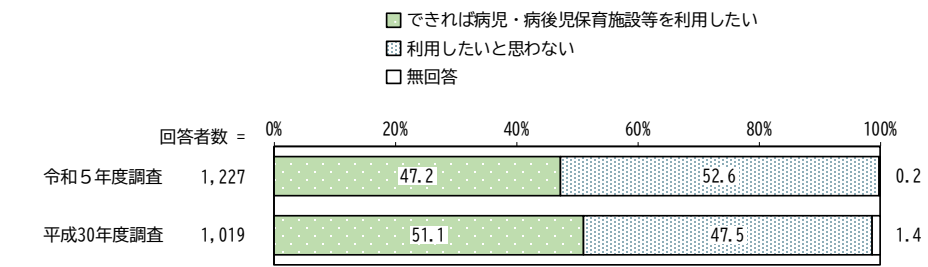
コメントの追加 [久佐8]: このN値は合っていますか？



○ 子どもが病気やケガで通常の利用が出来ない場合に、父母いずれかが仕事を休んだ方が「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

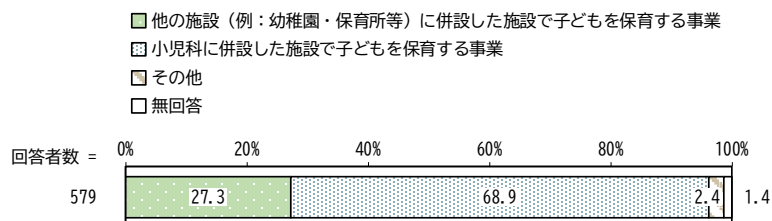
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が47.2%、「利用したいと思わない」の割合が52.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したいと思わない」の割合が増加しています。



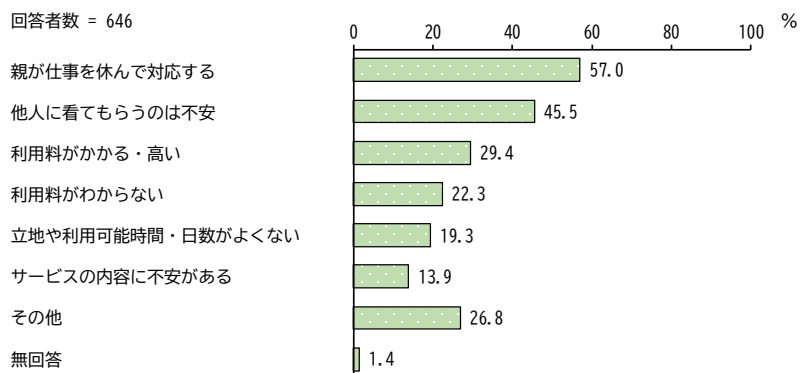
○ 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」方が望む事業形態

「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 27.3%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 68.9%となっています。



○ 「病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない」と選択する理由

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「他人に看てもらうのは不安」の割合が 45.5%、「利用料がかかる・高い」の割合が 29.4%となっています。



◆◇ 子どもの病気の際の対応のまとめ ◇◆

子どもの病気の際、仕事を休んだことがある保護者の半数が、病児・病後児保育の利用を希望しています。事業の制度や病児・病後児保育を利用する際の手続き等の周知を行うことが必要です。



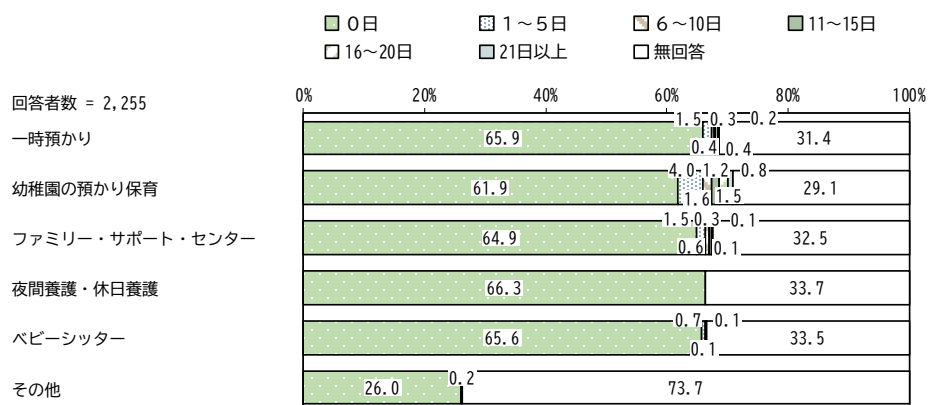
（８）不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

○ 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等を目的とした子どもを預ける事業（私用等の一時預かり等事業）の現在の利用日数と希望する利用日数

コメントの追加 [久佐9]: 表追加？

現在の利用日数

『その他』で「０日」の割合が低くなっています。

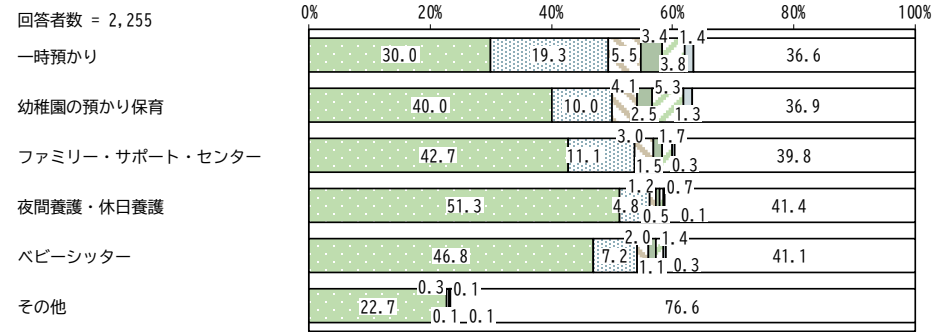


単位：％

区分	回答者数 (件)	0日	1 ～ 5日	6 ～ 10日	11 ～ 15日	16 ～ 20日	21 日 以上	無 回 答
一時預かり	2,255	65.9	1.5	0.4	0.3	0.4	0.2	31.4
幼稚園の預かり保育	2,255	61.9	4.0	1.6	1.2	1.5	0.8	29.1
ファミリー・サポート・センター	2,255	64.9	1.5	0.6	0.3	0.1	0.1	32.5
夜間養護・休日養護	2,255	66.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.7
ベビーシッター	2,255	65.6	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0	33.5
その他	2,255	26.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7

希望する利用日数

『一時預かり』で「１～５日」の割合が、『夜間養護・休日養護』で「０日」の割合が高くなっています。



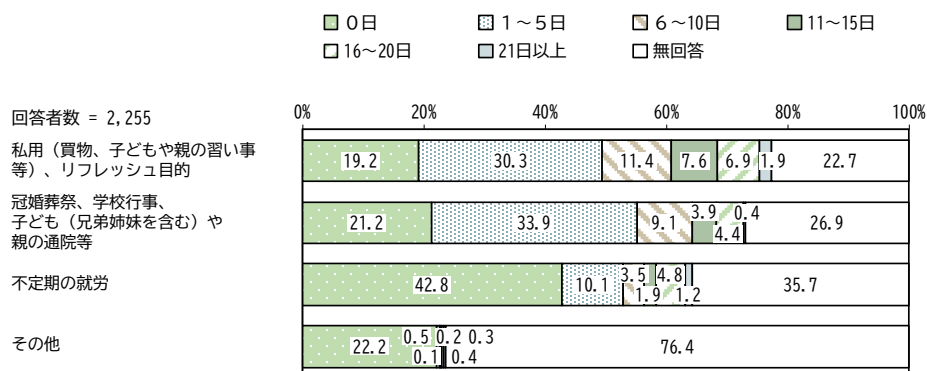
単位：％

区分	回答者数 (件)	0日	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
一時預かり	2,255	30.0	19.3	5.5	3.4	3.8	1.4	36.6
幼稚園の預かり保育	2,255	40.0	10.0	4.1	2.5	5.3	1.3	36.9
ファミリー・サポート・センター	2,255	42.7	11.1	3.0	1.5	1.7	0.3	39.8
夜間養護・休日養護	2,255	51.3	4.8	1.2	0.5	0.7	0.1	41.4
ベビーシッター	2,255	46.8	7.2	2.0	1.1	1.4	0.3	41.1
その他	2,255	22.7	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	76.6

○ 案件からみた私用等の一時預かり等事業の年間希望日数

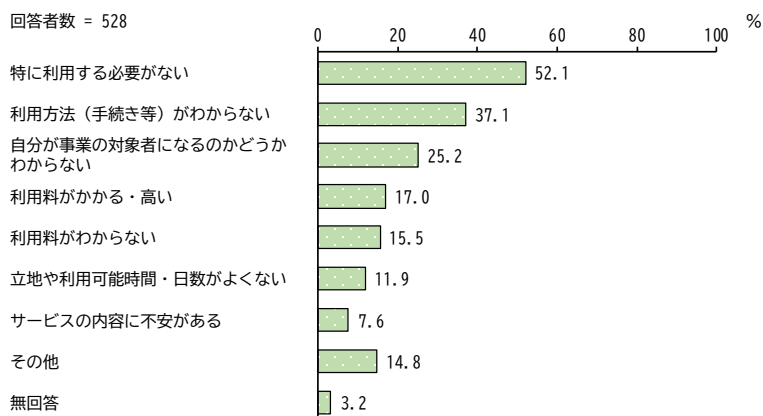
コメントの追加 [久佐10]: 表追加

『不定期の就労』で「0日」の割合が高くなっています。



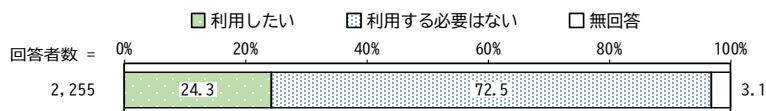
○ 私用等の一時預かり等事業を利用していない方の理由（複数回答可）

「特に利用する必要がない」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 37.1%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」の割合が 25.2%となっています。



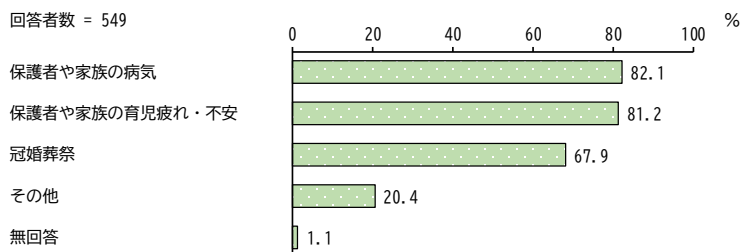
○ 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊まりがけで家族以外に預ける事業（児童養護施設等で一定期間こどもを保護する事業）の利用希望と利用目的・宿泊日数

「利用したい」の割合が24.3%、「利用する必要はない」の割合が72.5%となっています。



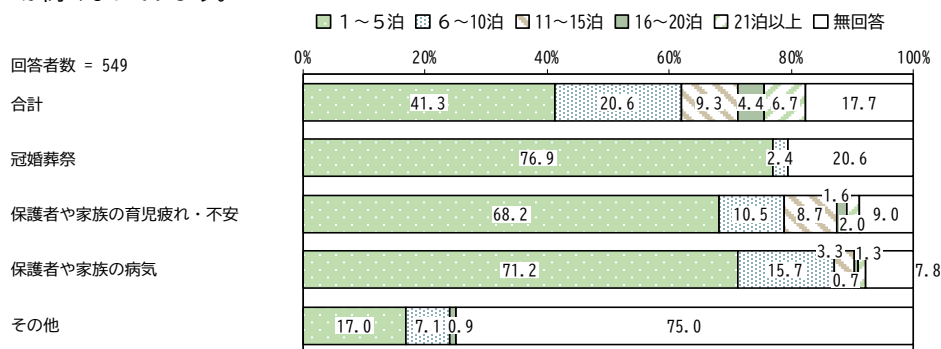
利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が82.1%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が81.2%、「冠婚葬祭」の割合が67.9%となっています。



利用したい宿泊日数

『冠婚葬祭』、『保護者や家族の育児疲れ・不安』、『保護者や家族の病気』で「1～5泊」の割合が高くなっています。



◆◇ 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の課題まとめ ◇◆

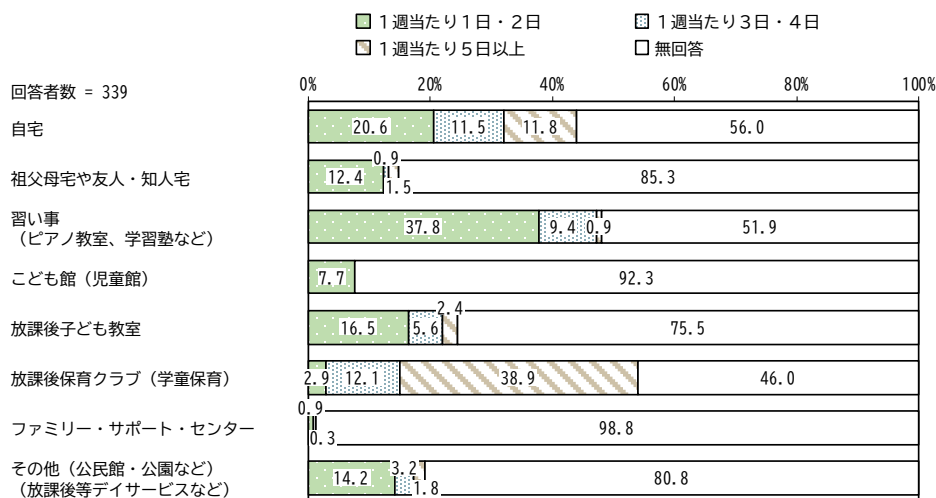
不定期の教育・保育事業を実際に利用したことがある人は、ほぼすべての事業で少ないものの、利用希望をみると、特に一時預かりでは利用を希望する人が多くなっています。利用しない理由として、手続きがわからない人も多いことから、一時預かりの手続きの周知、Webの活用など事業を利用しやすくする工夫が必要です。

(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方

○ 子どもが5歳以上である方の、放課後の時間の過ごさせ方と「放課後保育クラブ」を利用する場合の利用希望時間

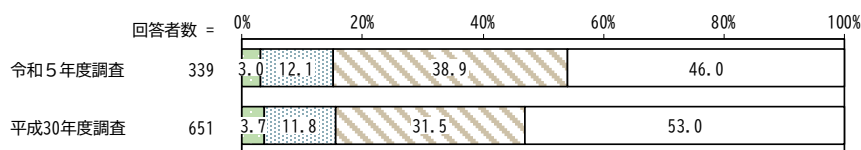
小学校低学年（1～3年生）の放課後の過ごさせ方

『習い事（ピアノ教室、学習塾など）』、『放課後子ども教室』で「1週当たり1日・2日」の割合が、『放課後保育クラブ（学童保育）』で「1週当たり5日以上」の割合が高くなっています。



放課後保育クラブ（学童保育）の週当たり日数（平成30年度調査との比較）

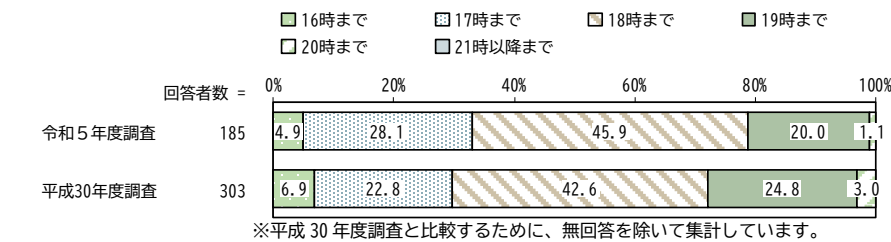
放課後保育クラブ（学童保育）の週当たり日数を平成30年度調査と比較すると、「1週当たり5日以上」の割合が増加しています。



放課後保育クラブ（学童保育）の利用希望時間

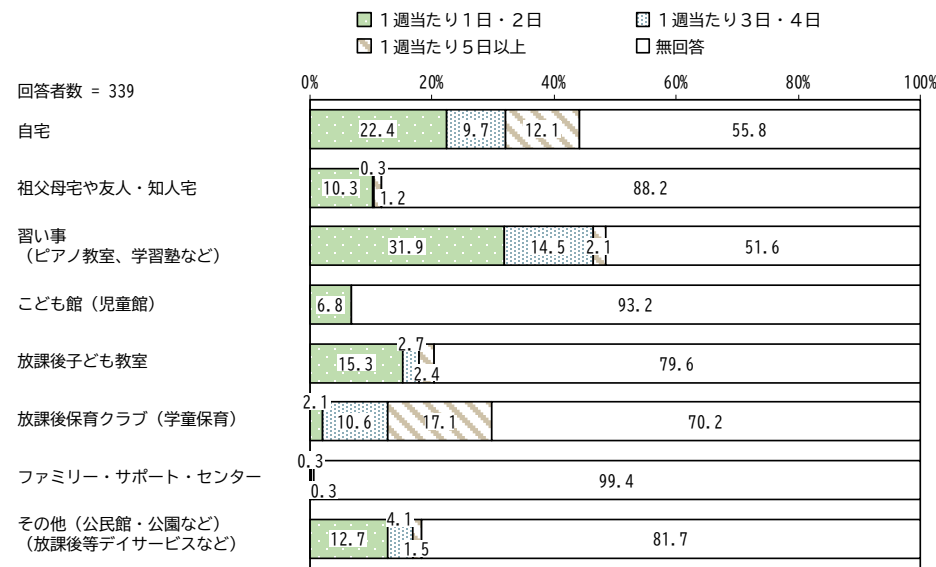
「18 時まで」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「17 時まで」の割合が 28.1%、「19 時まで」の割合が 20.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時まで」の割合が増加しています。



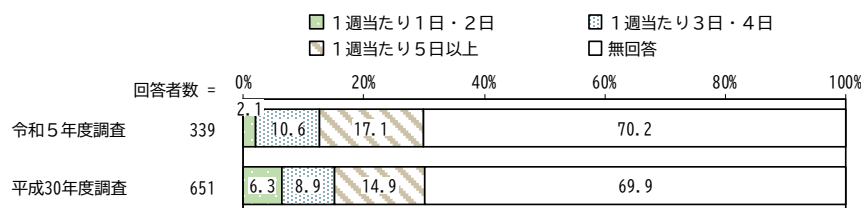
小学校高学年（4～6年生）の放課後の過ごし方

『自宅』、『習い事（ピアノ教室、学習塾など）』で「1 週当たり 1 日」の割合が、『放課後保育クラブ（学童保育）』で「1 週当たり 5 日以上」の割合が高くなっています。



放課後保育クラブ（学童保育）の利用希望日数（平成 30 年度調査との比較）

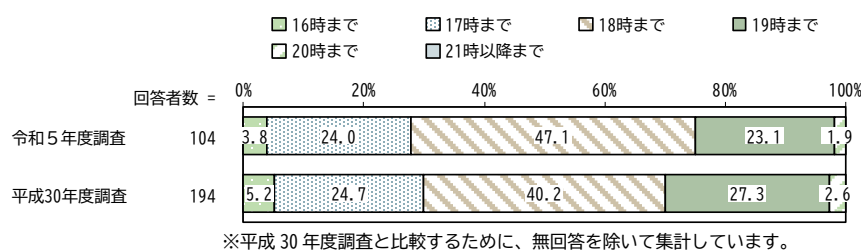
放課後保育クラブ（学童保育）の週当たり日数を平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



放課後保育クラブ（学童保育）の利用希望時間

「18 時まで」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「17 時まで」の割合が 24.0%、「19 時まで」の割合が 23.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時まで」の割合が増加しています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

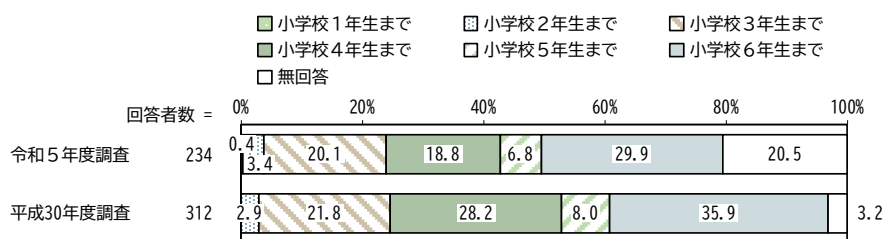
放課後保育クラブ（学童保育）では、低学年、高学年ともに、ニーズが平成 30 年度調査より増加しています。また、利用日数では「5 日以上」の割合が増加しており、また、利用時間でも 18 時まで希望する人が増え長時間化していることから、受け入れ態勢の強化が必要です。



○ 放課後保育クラブ（学童保育）の利用希望学年

「小学校6年生まで」の割合が29.9%と最も高く、次いで「小学校3年生まで」の割合が20.1%、「小学校4年生まで」の割合が18.8%となっています。

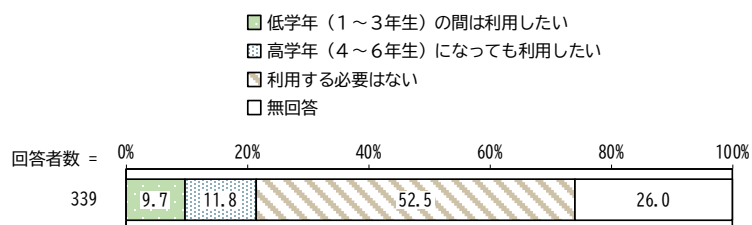
平成30年度調査と比較すると、「小学校4年生まで」「小学校6年生まで」の割合が減少しています。



○ 土曜日・日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望

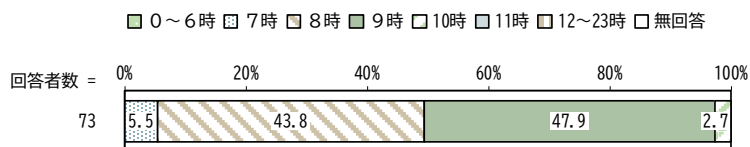
(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が52.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が11.8%となっています。



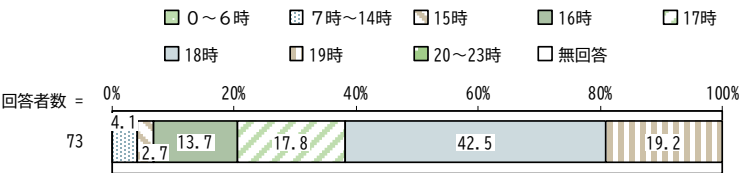
放課後保育クラブの希望開始時間

「9時」の割合が47.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が43.8%となっています。



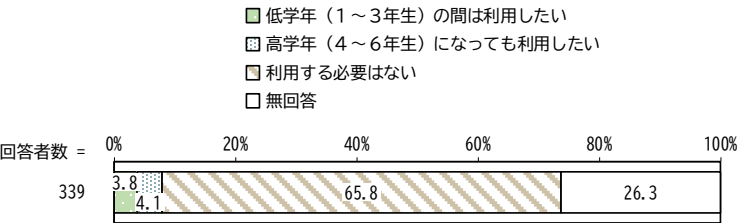
放課後保育クラブの希望終了時間

「18時」の割合が42.5%と最も高く、次いで「19時」の割合が19.2%、「17時」の割合が17.8%となっています。



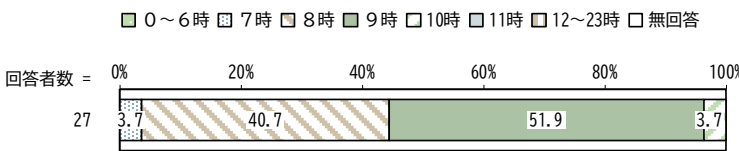
(2) 日曜（祝日含む）

「利用する必要はない」の割合が65.8%と最も高くなっています。



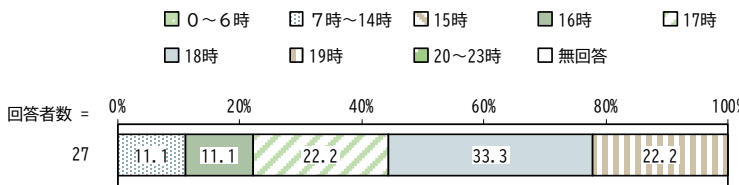
放課後保育クラブの希望開始時間

「9時」の割合が51.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が40.7%となっています。



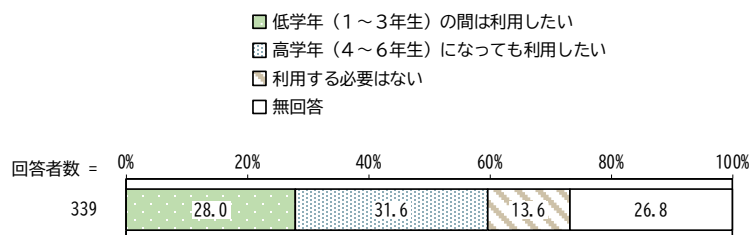
放課後保育クラブの希望終了時間

「18時」の割合が33.3%と最も高く、次いで「17時」、「19時」の割合が22.2%となっています。



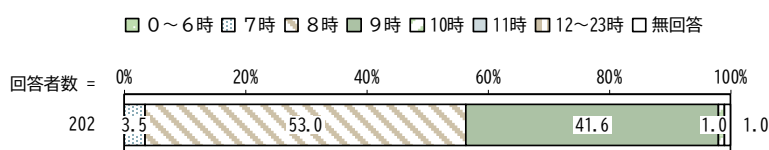
（３）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 28.0%、「利用する必要はない」の割合が 13.6%となっています。



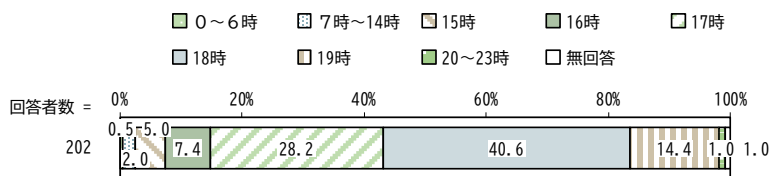
放課後保育クラブの希望開始時間

「８時」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「９時」の割合が 41.6%となっています。



放課後保育クラブの希望終了時間

「18 時」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 28.2%、「19 時」の割合が 14.4%となっています。



◆◇ 小学校就学後の放課後の過ごし方の課題まとめ ◇◆

放課後保育クラブ（学童保育）を利用したい人は、低学年では半数以上、高学年でも３割程度が利用を希望しています。長期休暇期間中の利用も希望が多いことから、年間を通じた学童保育の運営や、定員数の増加などが求められます。

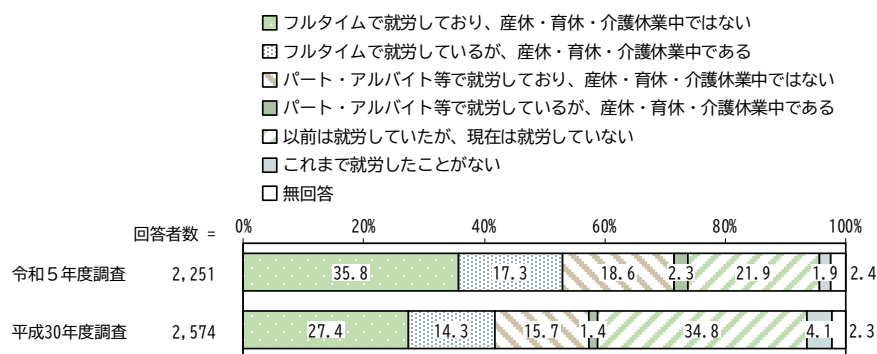


(10) 保護者の就労状況

○ 母親の就労状況

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が21.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

母親の就労状況について「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合をみると、平成30年度調査から令和5年度調査にかけて大幅に減少しており、妊娠・出産によって退職する人が減り、働きながら子育てをする人が増加している状況です。また、フルタイムで就業している人も増加しています。

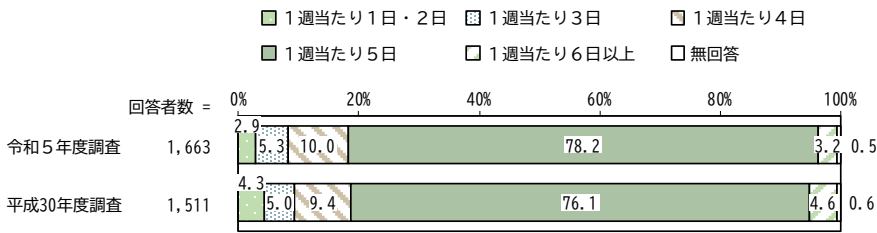
就労しつつ子育てをしていく人たちのニーズに応えるため、就労形態の多様化も踏まえながら、子育て支援の量・質ともに充実させていくことが重要です。



1 週間あたりの「就労日数」

「1 週当たり 5 日」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「1 週当たり 4 日」の割合が 10.0%となっています。

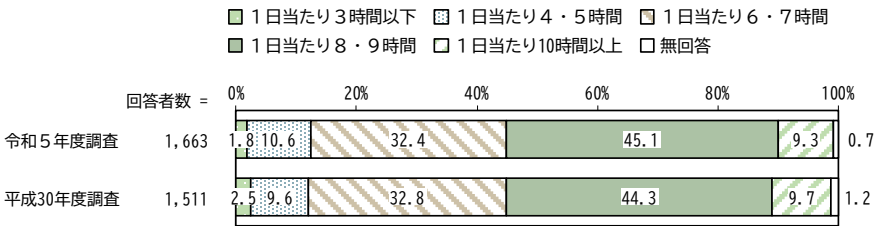
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

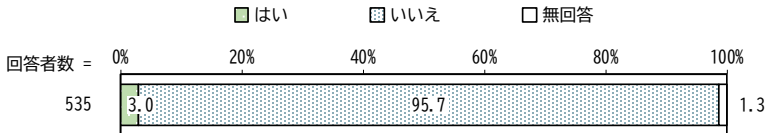
「1 日当たり 8・9 時間」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「1 日当たり 6・7 時間」の割合が 32.4%、「1 日当たり 4・5 時間」の割合が 10.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



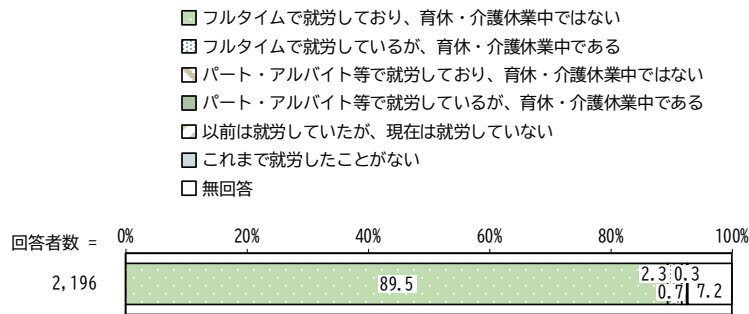
○ 「以前は就労していたが現在就労していない」「これまで就労したことがない」方が、3 か月以内に就労することが決まっているか

「はい」の割合が 3.0%、「いいえ」の割合が 95.7%となっています。



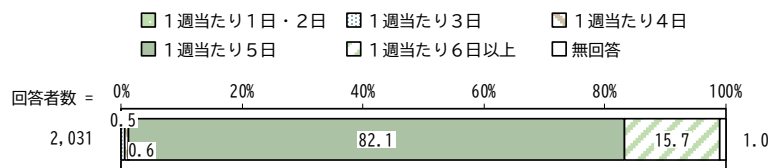
○ 父親の就労状況

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が89.5%と最も高くなっています。



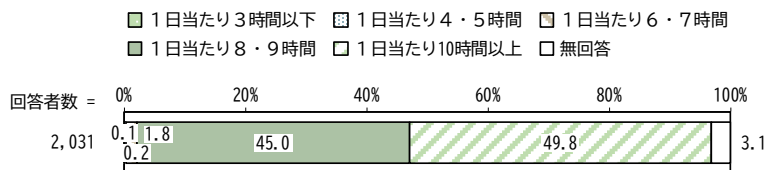
1週間あたりの「就労日数」

「1週当たり5日」の割合が82.1%と最も高く、次いで「1週当たり6日以上」の割合が15.7%となっています。



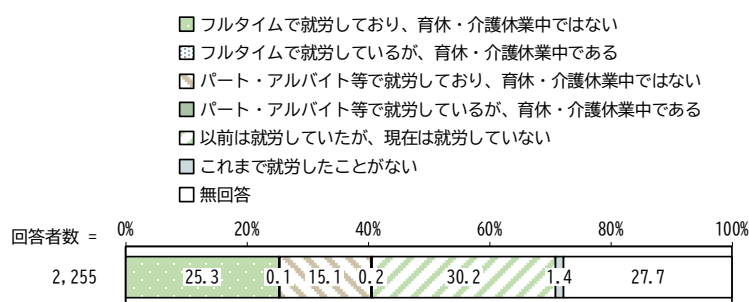
1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

「1日当たり10時間以上」の割合が49.8%と最も高く、次いで「1日当たり8・9時間」の割合が45.0%となっています。



○ 祖父母・その他の方の就労状況

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 25.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 15.1%となっています。



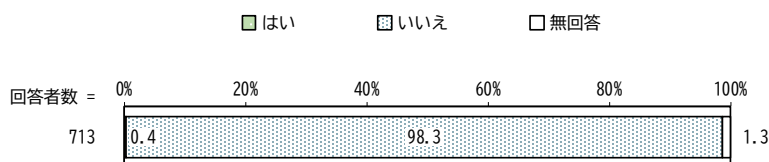
◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

祖父母でも就労している人が4割程度みられ、祖父母に子どもをみてもらうことが難しい人もいと考えられます。



○ 「以前は就労していたが現在就労していない」「これまで就労したことがない」方が、3か月以内に就労することが決まっているか

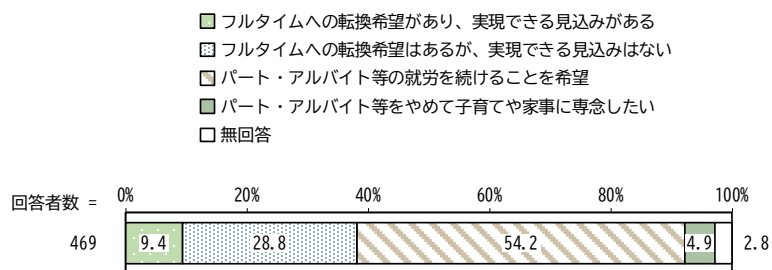
「はい」の割合が 0.4%、「いいえ」の割合が 98.3%となっています。



○ 「パート・アルバイト等で就労している」保護者のフルタイムへの転換希望

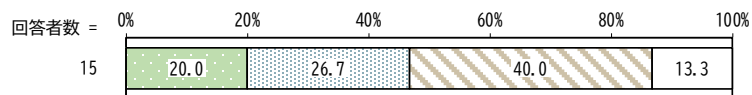
(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 28.8%となっています。



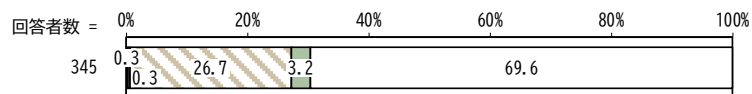
(2) 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 26.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 20.0%となっています。



(3) 祖父母・その他

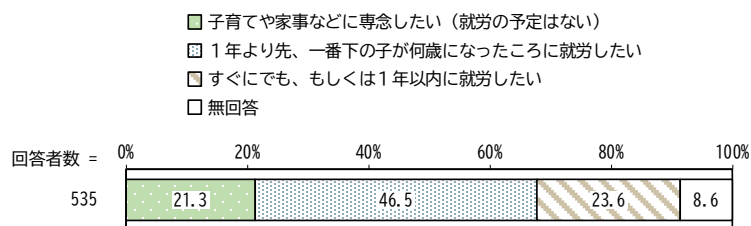
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 26.7%と最も高くなっています。



○ 「現在は就労していない・これまで就労したことがない」保護者の就労希望

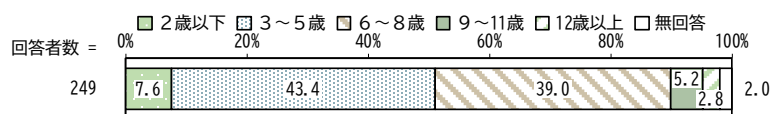
(1) 母親

「1年より先、一番下の子が何歳になったところに就労したい」の割合が46.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が23.6%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が21.3%となっています。



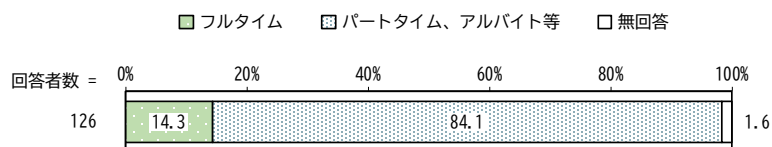
一番下の子が何歳になったところに就労したいか

「3～5歳」の割合が43.4%と最も高く、次いで「6～8歳」の割合が39.0%となっています。



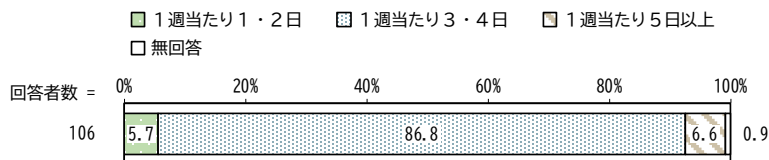
希望する就労形態

「フルタイム」の割合が14.3%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が84.1%となっています。



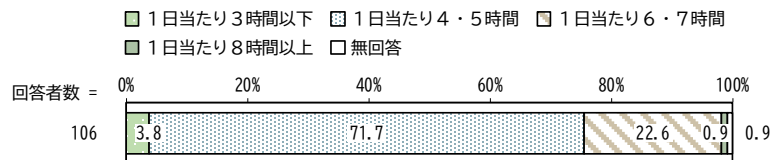
1週間あたり就労日数

「1週当たり3・4日」の割合が86.8%と最も高くなっています。



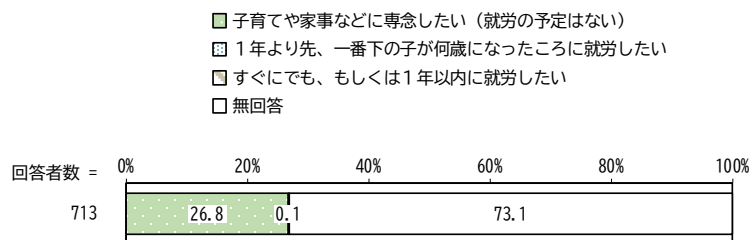
1日当たり就労時間

「1日当たり4・5時間」の割合が71.7%と最も高く、次いで「1日当たり6・7時間」の割合が22.6%となっています。



(2) 祖父母・その他

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が26.8%と最も高くなっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

現在は就労していない母親のうち、就労希望を持っている人は8割程度にのぼっており、今後も保育のニーズが高まっていくと考えられます。



◆◇ 保護者の就労状況の課題まとめ ◇◆

母親では就労する人が増加傾向にあり、特にフルタイムでの勤務が多くなっていることから、長時間の預かりのニーズが増加していくと考えられます。

また、祖父母等の親族でも就労している人が多く、身近な人に子どものみてもらうことが容易にできない現状もあります。

多様な保育ニーズに柔軟に対応できるよう、制度の整備と充実が必要です。

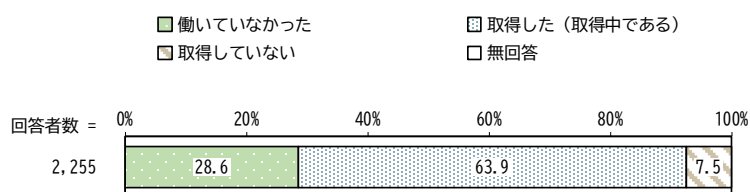


(11) 育児休業など職場の両立支援制度

○ 子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得したか、また取得していない場合の理由

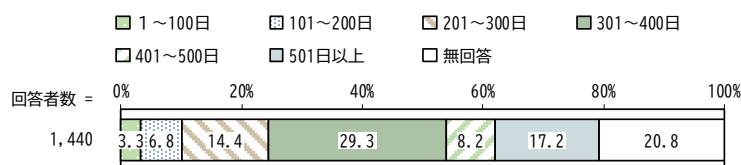
母親

「取得した（取得中である）」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 28.6%となっています。



母親の育児休業取得期間

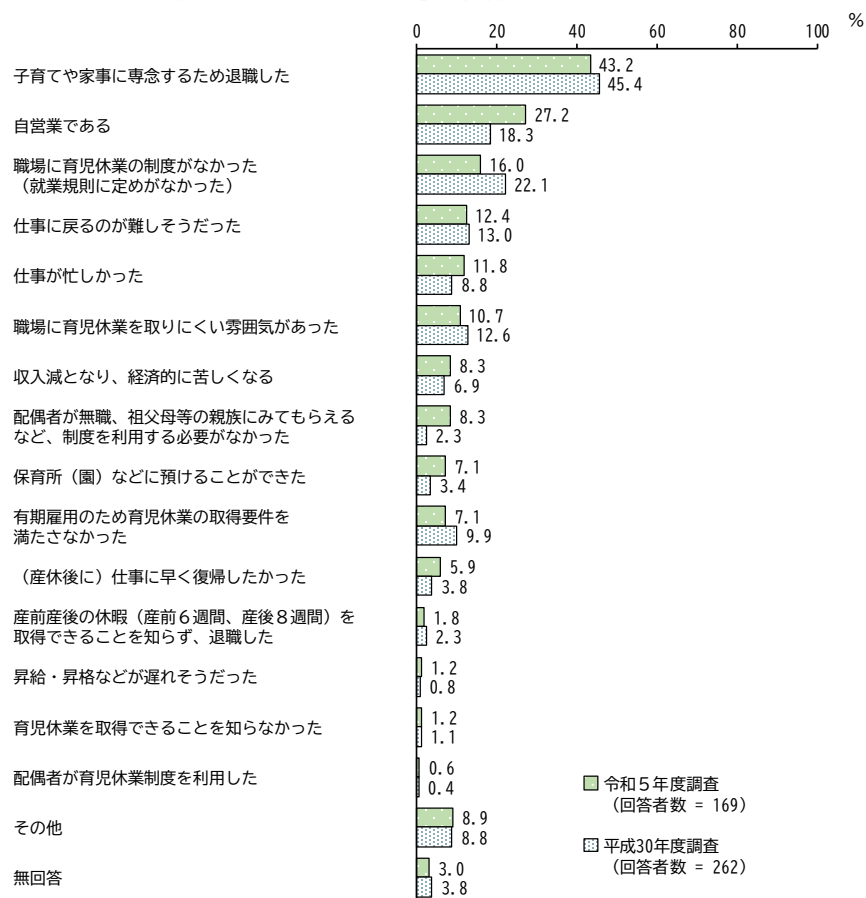
「301～400 日」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「501 日以上」の割合が 17.2%、「201～300 日」の割合が 14.4%となっています。



母親が育児休業を取得していない理由（複数回答可）

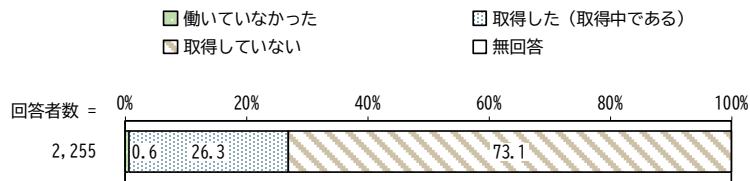
「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が43.2%と最も高く、次いで「自営業である」の割合が27.2%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「自営業である」の割合が増加しています。一方、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



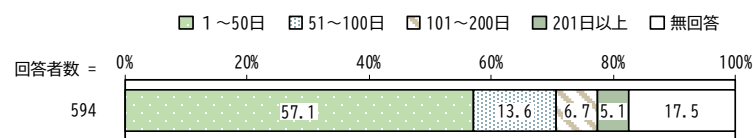
父親

「取得していない」の割合が73.1%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が26.3%となっています。



父親の育児休業取得期間

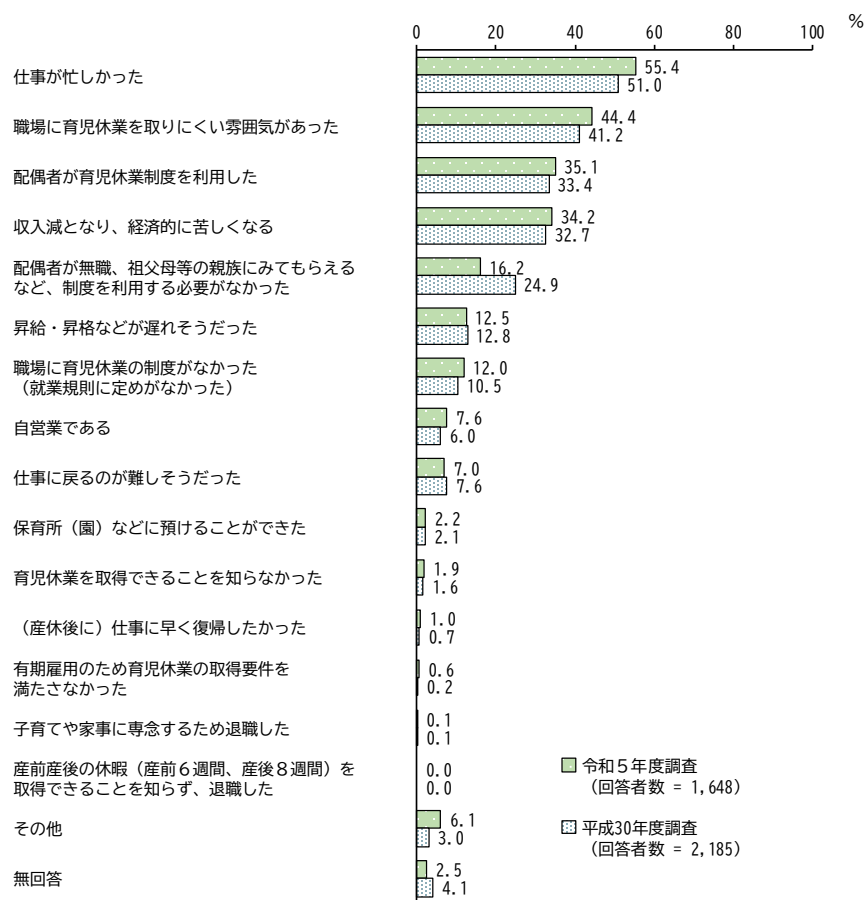
「1～50日」の割合が57.1%と最も高く、次いで「51～100日」の割合が13.6%となっています。



父親が育児休業を取得していない理由（複数回答可）

「仕事が忙しかった」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 44.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 35.1%となっています。

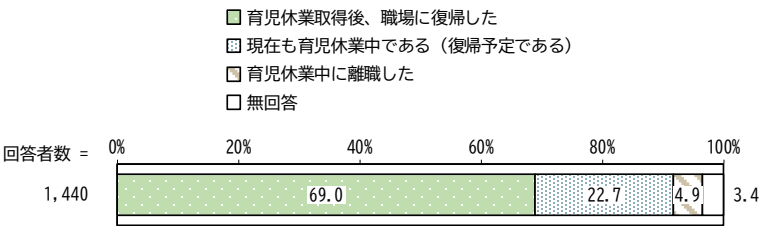
平成 30 年度調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



○ 育児休業を取得した方が、育児休業取得後、職場に復帰したか

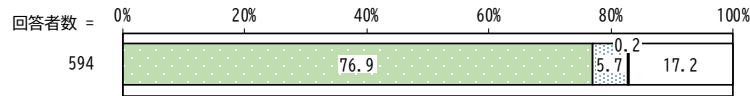
母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である（復帰予定である）」の割合が 22.7%となっています。



父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 76.9%と最も高くなっています。

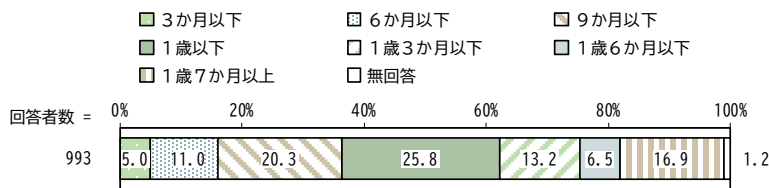


○ 育児休業取得後に職場復帰した方の、復帰時期の子どもの年齢と希望の復帰時期

①母親

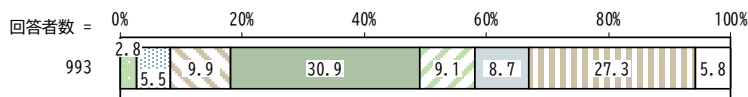
母親の実際の職場復帰時期

「1歳以下」の割合が25.8%と最も高く、次いで「9か月以下」の割合が20.3%、「1歳7か月以上」の割合が16.9%となっています。



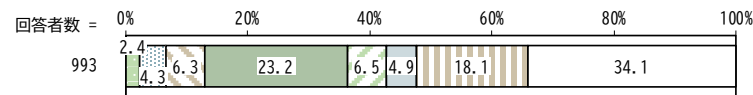
母親本人が希望した職場復帰時期

「1歳以下」の割合が30.9%と最も高く、次いで「1歳7か月以上」の割合が27.3%、「9か月以下」の割合が9.9%となっています。



父親が希望した母親の復帰時期

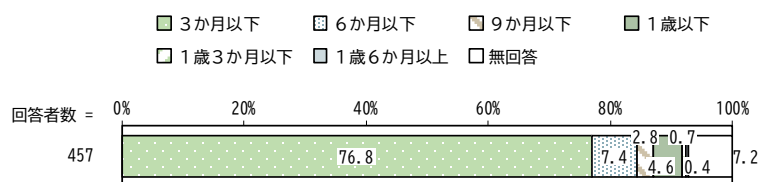
「1歳以下」の割合が23.2%と最も高く、次いで「1歳7か月以上」の割合が18.1%となっています。



②父親

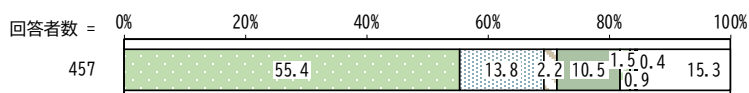
父親の実際の職場復帰時期

「3か月以下」の割合が76.8%と最も高くなっています。



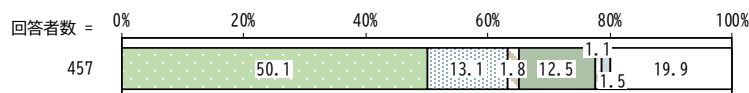
父親本人が希望した職場復帰時期

「3か月以下」の割合が55.4%と最も高く、次いで「6か月以下」の割合が13.8%、「1歳以下」の割合が10.5%となっています。



母親が希望した父親の復帰時期

「3か月以下」の割合が50.1%と最も高く、次いで「6か月以下」の割合が13.1%、「1歳以下」の割合が12.5%となっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

育児休業期間について、母親、父親ともに、本人が希望した期間と、配偶者が希望した期間に大きな乖離はありませんでした。しかし、希望した期間と実際の期間には差がみられるため、職場環境も含めた制度的な改善が必要です。

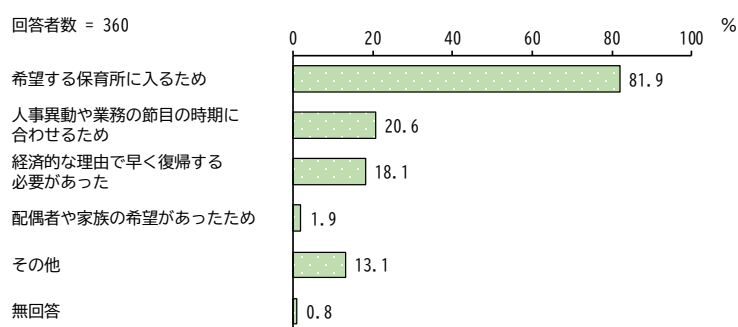


○ 希望の職場復帰時期と実際の復帰時期が異なる方について、希望の時期に職場復帰しなかった理由

(1)「希望」より早く復帰した方

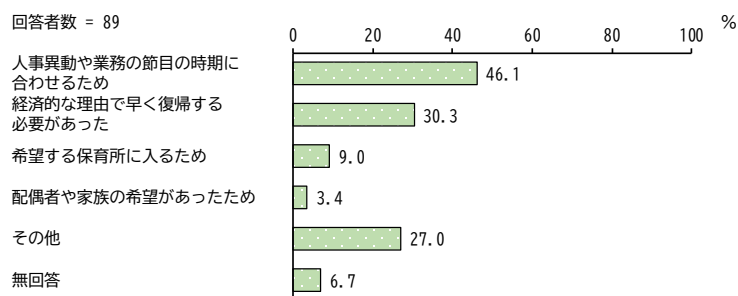
①母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 81.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.6%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 18.1%となっています。



②父親

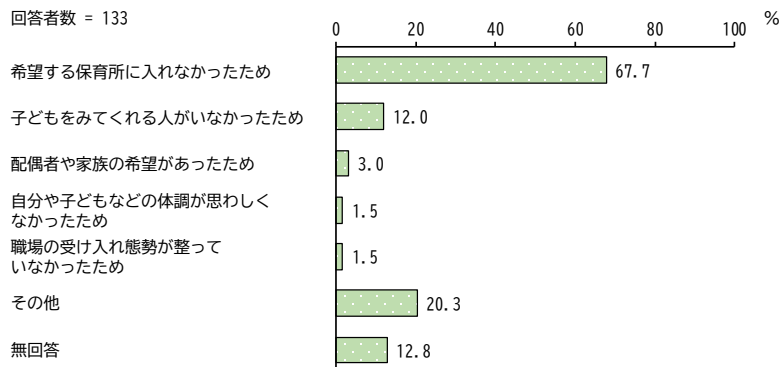
「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 30.3%となっています。



(2)「希望」より遅く復帰した方

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が 12.0%となっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

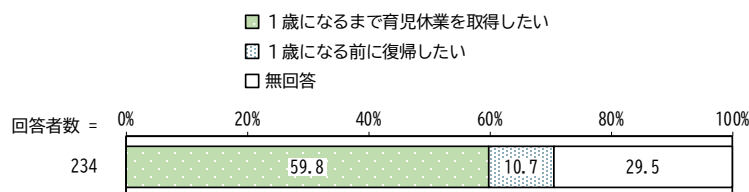
母親では、希望より早く復職した人、遅く復職した人、いずれも保育園入所にかかわることが理由となっています。待機児童などの問題については満足度が上がっているものの、希望する期間の育児休業を取得できるよう、さらに保育園入所に関わる制度の整備が求められます。



- 現在も育児休業中（復帰予定含む）で子どもが1歳未満である方について、子どもが1歳になったときに必ず預けられる保障（保育所の入園など）がある場合、1歳になるまで育児休業を取得したいか、それとも復帰したいか

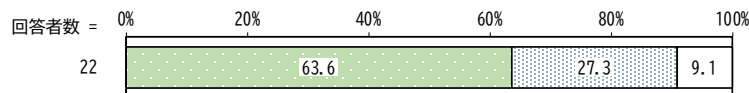
①母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 59.8%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が 10.7%となっています。



②父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 63.6%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が 27.3%となっています。

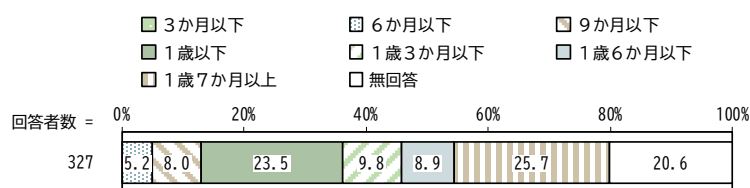


- 現在も育児休業中（復帰予定含む）である方について、子どもが何歳何ヶ月に職場復帰をする予定か、また、預けられる保育事業があれば、何歳何ヶ月に復帰を希望するか

①母親

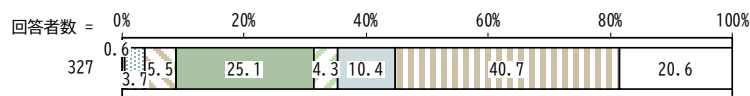
母親の実際の職場復帰時期

「1歳7か月以上」の割合が25.7%と最も高く、次いで「1歳以下」の割合が23.5%となっています。



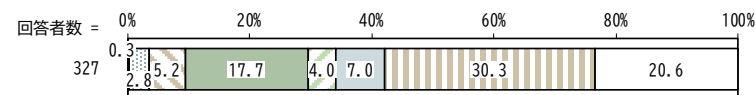
母親本人が希望した職場復帰時期

「1歳7か月以上」の割合が40.7%と最も高く、次いで「1歳以下」の割合が25.1%、「1歳6か月以下」の割合が13.1%となっています。



父親が希望した母親の復帰時期

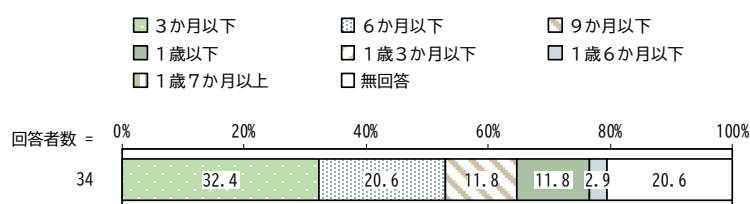
「1歳7か月以上」の割合が30.3%と最も高く、次いで「1歳以下」の割合が17.7%となっています。



②父親

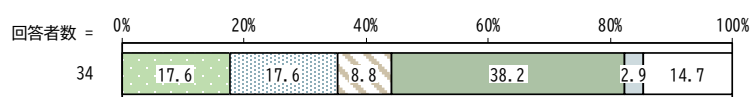
父親の実際の職場復帰時期

「3か月以下」の割合が32.4%と最も高く、次いで「6か月以下」の割合が20.6%、「9か月以下」「1歳以下」の割合が11.8%となっています。



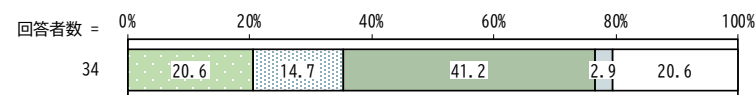
父親本人が希望した職場復帰時期

「1歳以下」の割合が38.2%と最も高く、次いで「3か月以下」「6か月以下」の割合が17.6%となっています。



母親が希望した父親の復帰時期

「1歳以下」の割合が41.2%と最も高く、次いで「3か月以下」の割合が20.6%、「6か月以下」の割合が14.7%となっています。



◆◇ 育児休業など職場の両立支援制度の課題のまとめ ◇◆

育児休業を取得している人は母親では多いものの、希望通りの休業期間が取れない人も多くなっています。また、父親で育児休業を取得した人は3割未満と少なく、また、取得期間も50日以下が6割と短くなっており、産後、夫婦ともに育児をすることが難しくなっています。

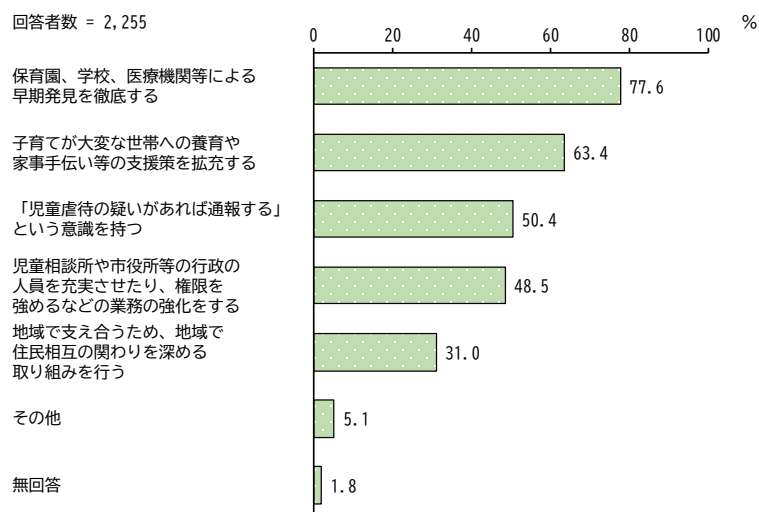
母親が希望通りの育児休業期間を取れない理由は保育所入所のため、父親が取れないのは人事や経済面の理由が多いことから、希望どおりに育児休業が取得できるよう、保育所の整備とともに、職場も巻き込んだ制度の改善が必要です。



(12) 児童虐待

○ 児童虐待防止のためにはどんな対策が有効か

「保育園、学校、医療機関等による早期発見を徹底する」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「子育てが大変な世帯への養育や家事手伝い等の支援策を拡充する」の割合が 63.4%、「「児童虐待の疑いがあれば通報する」という意識を持つ」の割合が 50.4%となっています。



◆◇ 児童虐待の課題 ◇◆

虐待防止のために有用な策としては、保育園・学校・医療機関と行った公共機関による早期発見が多いものの、通報するという意識は5割にとどまっており、地域住民が虐待防止に対して主体的意識を持っているとは言えない状況となっています。

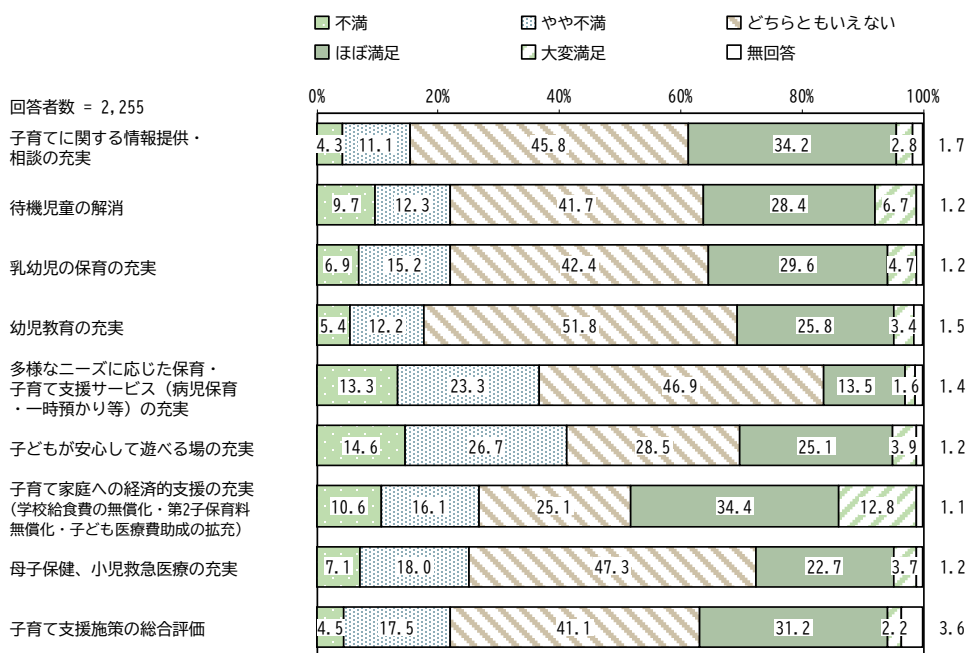
虐待防止のために、当事者意識を持つとともに、地域住民相互で子どもを守る意識を醸成していく必要があります。



(13) 総合

○ 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」

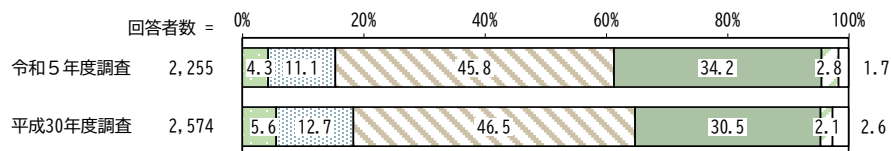
『多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育・一時預かり等）の充実』、『子どもが安心して遊べる場の充実』で「不満」の割合が高くなっています。一方、『子育て家庭への経済的支援の充実(学校給食費の無償化・第2子保育料無償化・子ども医療費助成の拡充)』で「大変満足」の割合が高くなっています。



①子育てに関する情報提供・相談の充実

「どちらともいえない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が34.2%、「やや不満」の割合が11.1%となっています。

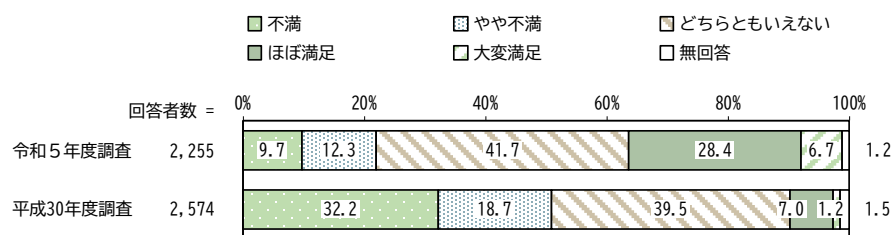
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②待機児童の解消

「どちらともいえない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が28.4%、「やや不満」の割合が12.3%となっています。

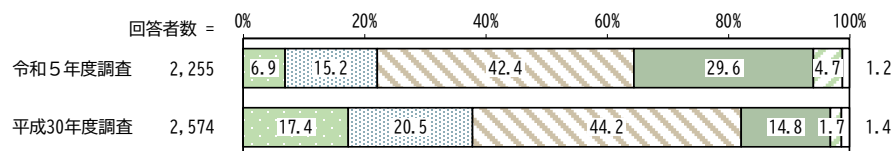
平成30年度調査と比較すると、「ほぼ満足」「大変満足」の割合が増加しています。一方、「不満」「やや不満」の割合が減少しています。



③乳幼児の保育の充実

「どちらともいえない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が29.6%、「やや不満」の割合が15.2%となっています。

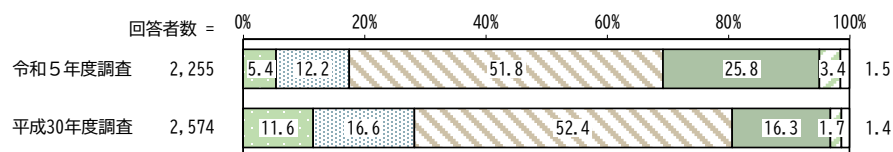
平成30年度調査と比較すると、「ほぼ満足」の割合が増加しています。一方、「不満」「やや不満」の割合が減少しています。



④幼児教育の充実

「どちらともいえない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が25.8%、「やや不満」の割合が12.2%となっています。

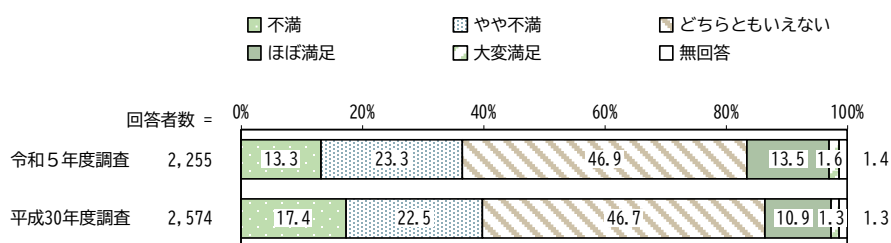
平成30年度調査と比較すると、「ほぼ満足」の割合が増加しています。一方、「不満」の割合が減少しています。



⑤多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育・一時預かり等）の充実

「どちらともいえない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が23.3%、「ほぼ満足」の割合が13.5%となっています。

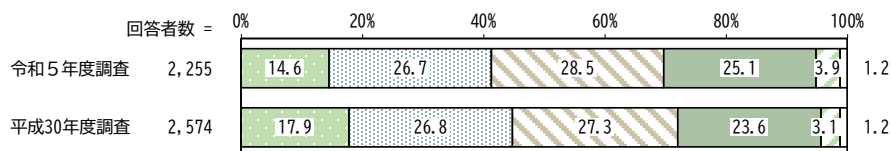
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑥子どもが安心して遊べる場の充実

「どちらともいえない」の割合が28.5%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が26.7%、「ほぼ満足」の割合が25.1%となっています。

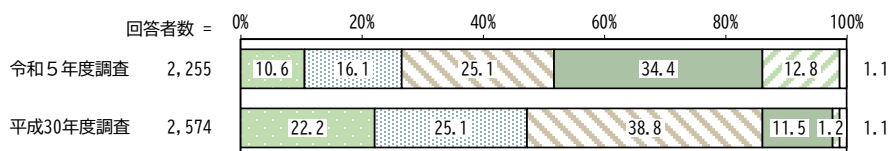
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑦子育て家庭への経済的支援の充実(学校給食費の無償化・第2子保育料無償化・子ども医療費助成の拡充)

「ほぼ満足」の割合が34.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が25.1%、「やや不満」の割合が16.1%となっています。

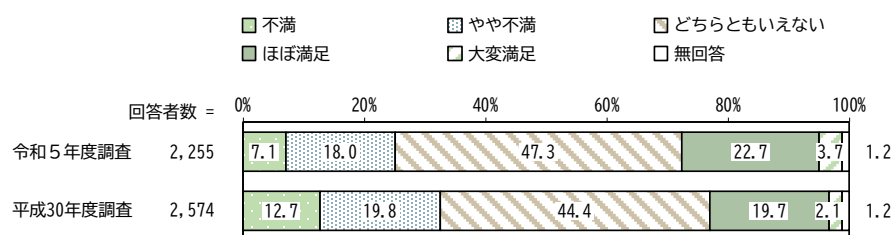
平成30年度調査と比較すると、「ほぼ満足」「大変満足」の割合が増加しています。一方、「不満」「やや不満」「どちらともいえない」の割合が減少しています。



⑧母子保健、小児救急医療の充実

「どちらともいえない」の割合が47.3%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が22.7%、「やや不満」の割合が18.0%となっています。

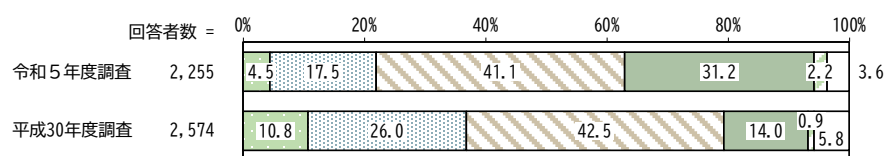
平成30年度調査と比較すると、「不満」の割合が減少しています。



子育て支援施策の総合評価

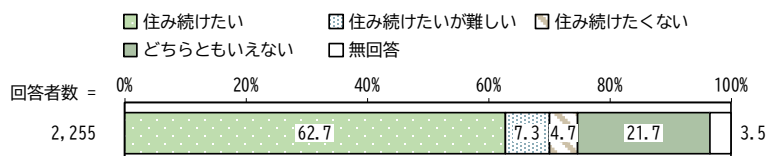
「どちらともいえない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「ほぼ満足」の割合が31.2%、「やや不満」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ満足」の割合が増加しています。一方、「不満」「やや不満」の割合が減少しています。



○ 今後も市川市に住み続けたいと思うか

「住み続けたい」の割合が62.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が21.7%となっています。



◆◆ 総合の課題 ◆◆

総合の市の施策の満足度は、平成30年度調査よりも満足度が高くなっている事業が多く、特に待機児童や経済的な負担軽減で大きな成果が得られています。

一方で、不満の割合が高い施策もみられることから、ニーズへの対応が必要です。



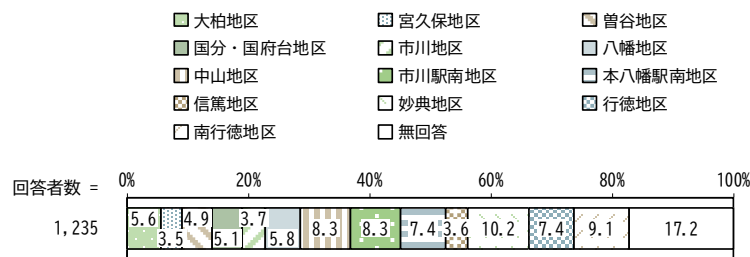
2 小学生保護者

(1) 居住地区

○ 回答者の居住地区

コメントの追加 [久佐11]: 共通

「妙典地区」の割合が10.2%と最も高くなっています。



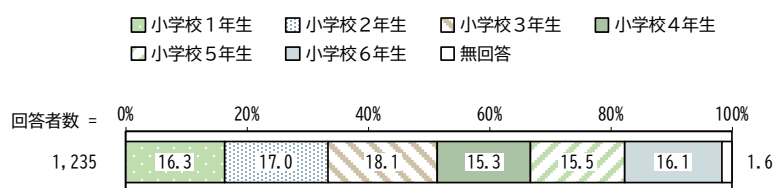
単位：%

区分	回答者数 (件)	大柏地区	宮久保地区	曾谷地区	国分・国府台地区	市川地区	八幡地区	中山地区	市川駅南地区	本八幡駅南地区	信篤地区	妙典地区	行徳地区	南行徳地区	無回答
件数 (件)	1,235	69	43	60	63	46	72	102	102	91	44	126	92	113	212
割合 (%)	100.0	5.6	3.5	4.9	5.1	3.7	5.8	8.3	8.3	7.4	3.6	10.2	7.4	9.1	17.2

(2) 子どもと家族の状況について

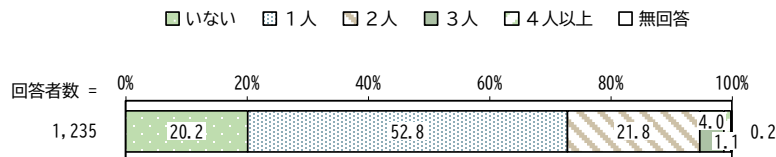
○ 子どもの年齢

「小学校3年生」の割合が18.1%と最も高く、次いで「小学校2年生」の割合が17.0%、「小学校1年生」の割合が16.3%となっています。



○ 子どものきょうだい構成

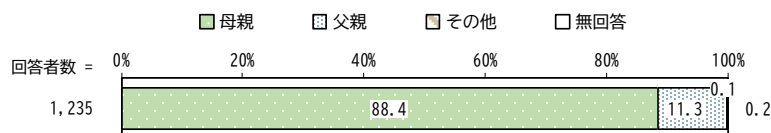
「1人」の割合が52.8%と最も高く、次いで「2人」の割合が21.8%、「いない」の割合が20.2%となっています。



コメントの追加 [久佐12]: 共通

○ 回答者の立場

「母親」の割合が 88.4%、「父親」の割合が 11.3%となっています。



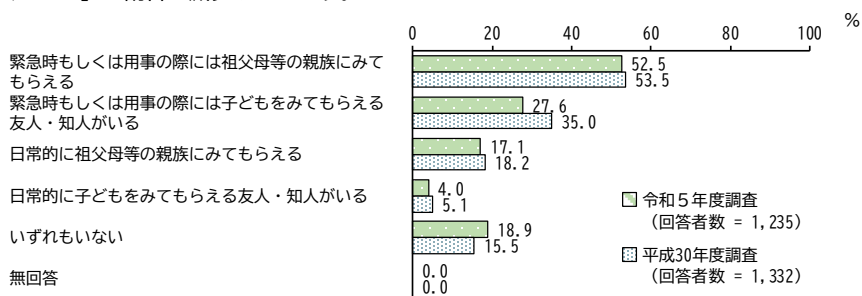
コメントの追加 [久佐13]: 共通

(3) 子育て環境

○ 日頃、親族・知人に子どもをみてもらえるか

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 27.6%、「いずれもない」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



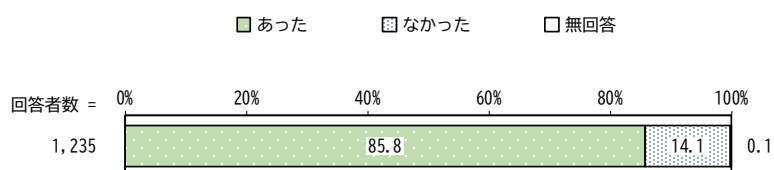
コメントの追加 [久佐14]: 共通

(4) 子どもの病気の際の対応

○ 平日の教育・保育の事業を利用している方が、この1年間、子どもの病気やケガにより通常の事業が利用できなかったことがあったか

コメントの追加 [久佐15]: 共通

「あった」の割合が85.8%、「なかった」の割合が14.1%となっています。

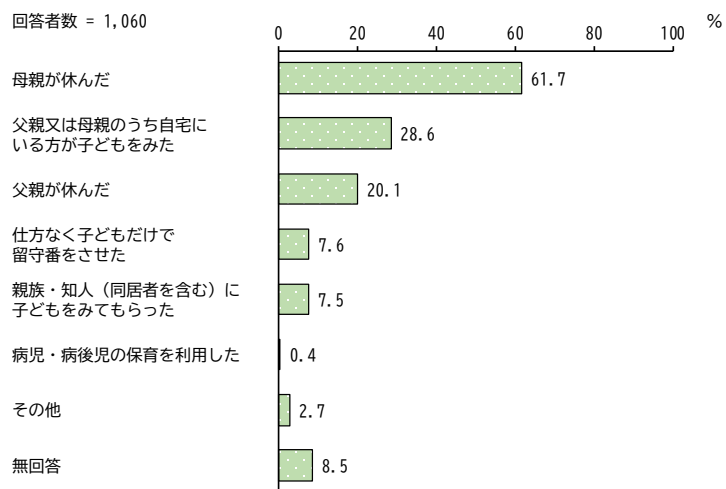


○ 病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法とその日数

コメントの追加 [久佐16]: 共通

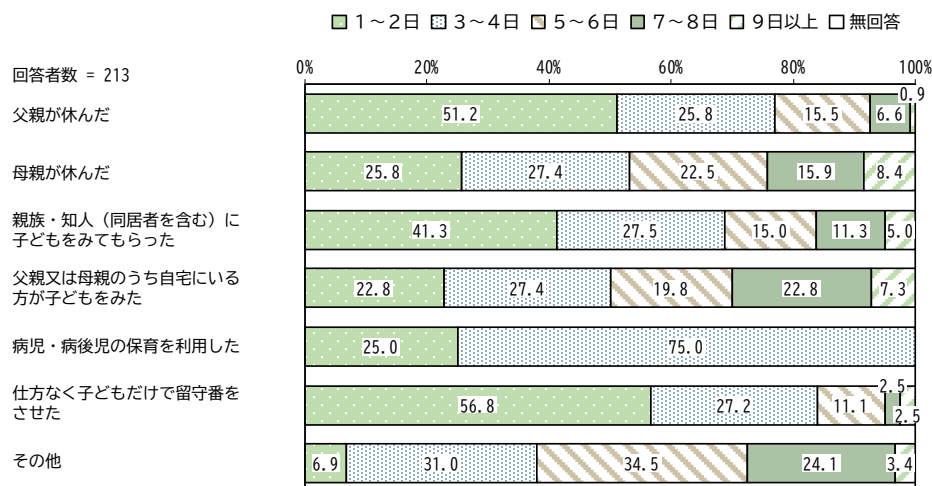
対処方法（複数回答可）

「母親が休んだ」の割合が61.7%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた」の割合が28.6%、「父親が休んだ」の割合が20.1%となっています。



対処に要した日数が1年間でどれだけあったか

『ア. 父親が休んだ』、『カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「1～2日」の割合が、『オ. 病児・病後児の保育を利用した』で「3～4日」の割合が高くなっています。

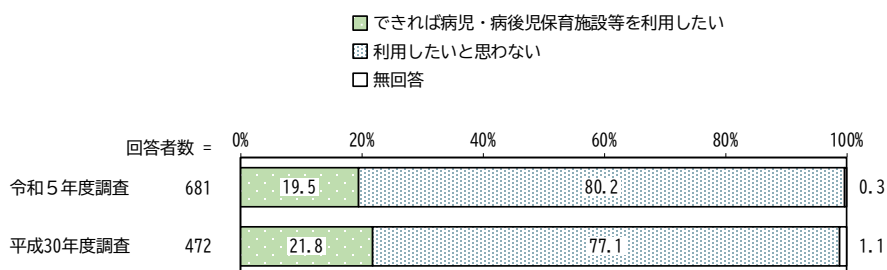


○ 子どもが病気やケガで通常の利用が出来ない場合に、父母いずれかが仕事を休んだ方が「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

コメントの追加 [久佐17]: 共通

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 19.5%、「利用したいと思わない」の割合が 80.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

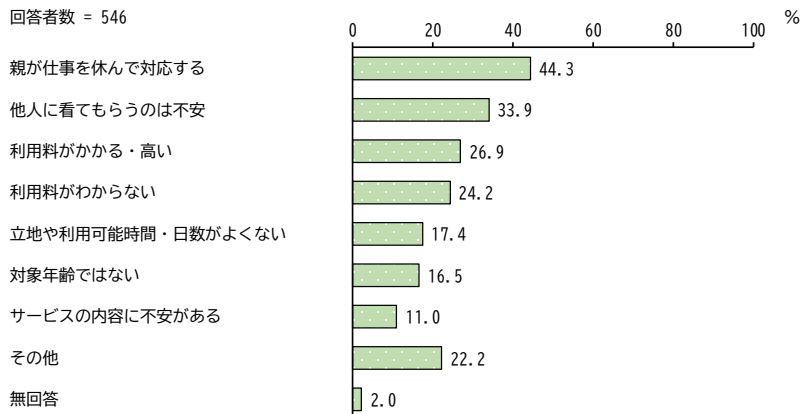


○ 「病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない」と選択する理由

コメントの追加 [久佐18]: 共通

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「他人に看てもらうのは不安」の割合が 33.9%、「利用料がかかる・高い」の割合が 26.9%となっています。

回答者数 = 546



◆◇ 子どもの病気の際の対応のまとめ ◇◆



子どもが病気の際、病児・病後児保育の利用を希望する人は、就学前よりは少ないものの、小学生でも一定のニーズが認められます。事業や病児・病後児保育を利用する際の手続き等の周知を行い、事前手続きを促すことも必要です。

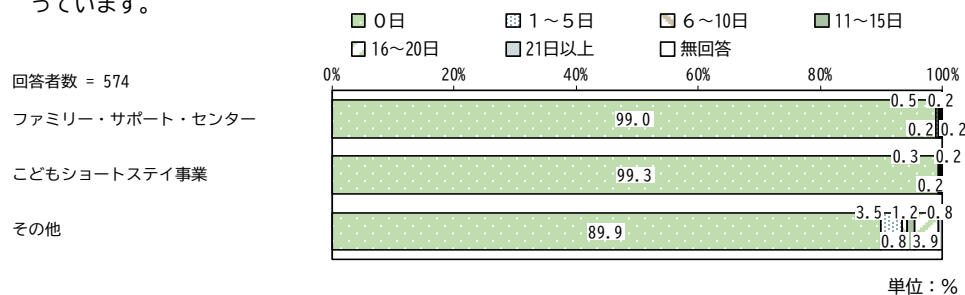
（５）不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

- 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等を目的とした子どもを預ける事業（私用等の一時預かり等事業）の現在の利用日数と希望する利用日数

コメントの追加 [久佐19]: 共通

この１年間の事業ごとの利用日数

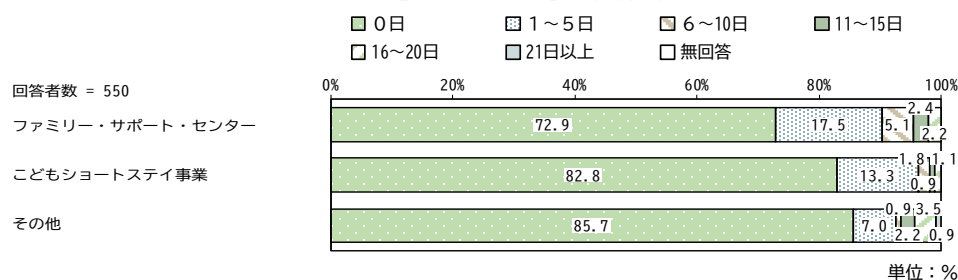
『ファミリー・サポート・センター』、『こどもショートステイ事業』で「０日」の割合が高くなっています。



区分	回答者数	0日	1 ～ 5日	6 ～ 10日	11 ～ 15日	16 ～ 20日	21 日 以上	無 回答
ファミリー・サポート・センター	574	99.0	0.5	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0
こどもショートステイ事業	574	99.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
その他	574	89.9	3.5	0.8	1.2	3.9	0.8	0.0

希望する利用日数

『ファミリー・サポート・センター』で「１～５日」の割合が高くなっています。

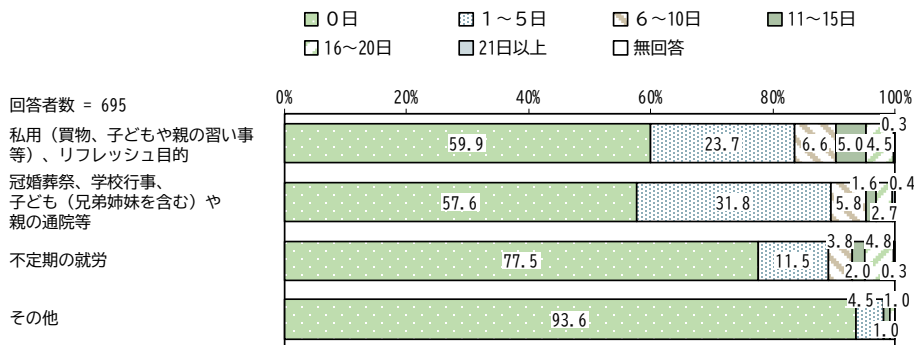


区分	回答者数	0日	1 ～ 5日	6 ～ 10日	11 ～ 15日	16 ～ 20日	21 日 以上	無 回答
ファミリー・サポート・センター	550	72.9	17.5	5.1	2.4	2.2	0.0	0.0
こどもショートステイ事業	550	82.8	13.3	1.8	0.9	1.1	0.0	0.0
その他	550	85.7	7.0	0.9	2.2	3.5	0.9	0.0

○ 案件からみた私用等の一時預かり等事業の年間希望日数

コメントの追加 [久佐20]: 共通

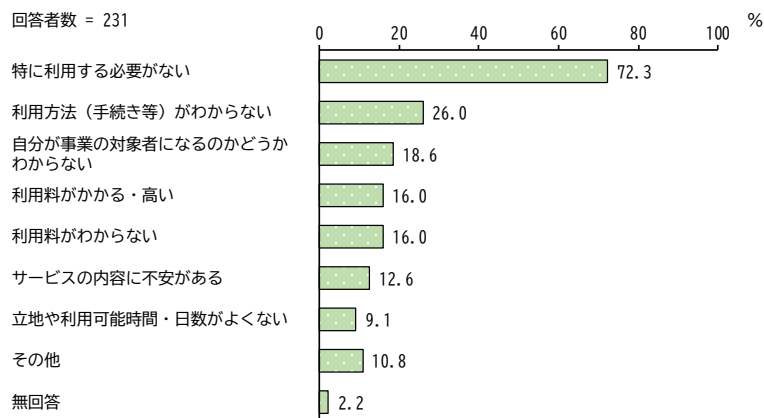
『冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等』で「1～5日」の割合が高くなっています。



○ 私用等の一時預かり等事業を利用していない方の理由（複数回答可）

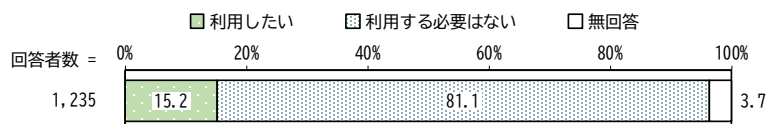
コメントの追加 [久佐21]: 共通

「特に利用する必要がない」の割合が72.3%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が26.0%、「自分が事業の対象になるのかどうかわからない」の割合が18.6%となっています。



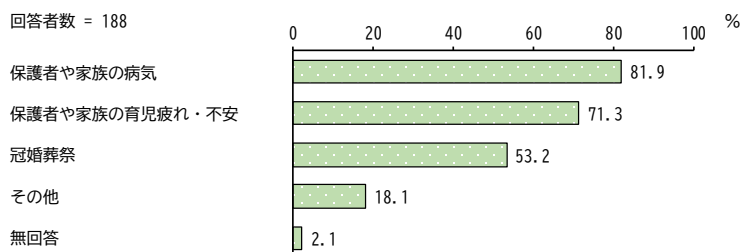
- 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊まりがけで家族以外に預ける事業（児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業）の利用希望と利用目的・宿泊日数

「利用したい」の割合が 15.2%、「利用する必要はない」の割合が 81.1%となっています。



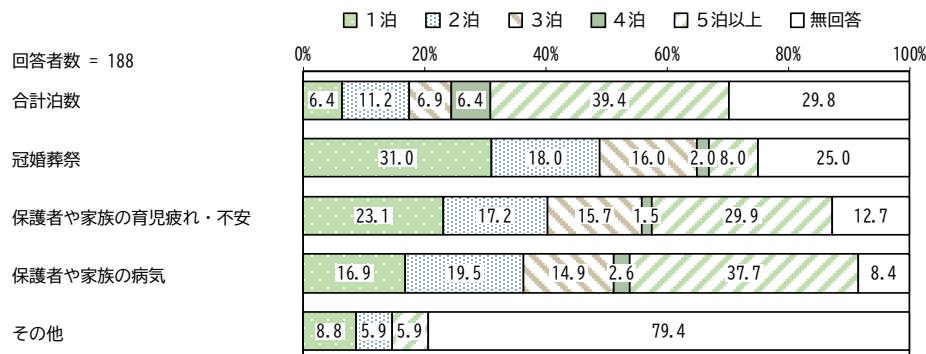
利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が 81.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 71.3%、「冠婚葬祭」の割合が 53.2%となっています。



利用したい宿泊日数

『冠婚葬祭』で「1泊」の割合が、『保護者や家族の病気』で「5泊以上」の割合が高くなっています。



◆◇ 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の課題まとめ ◇◆

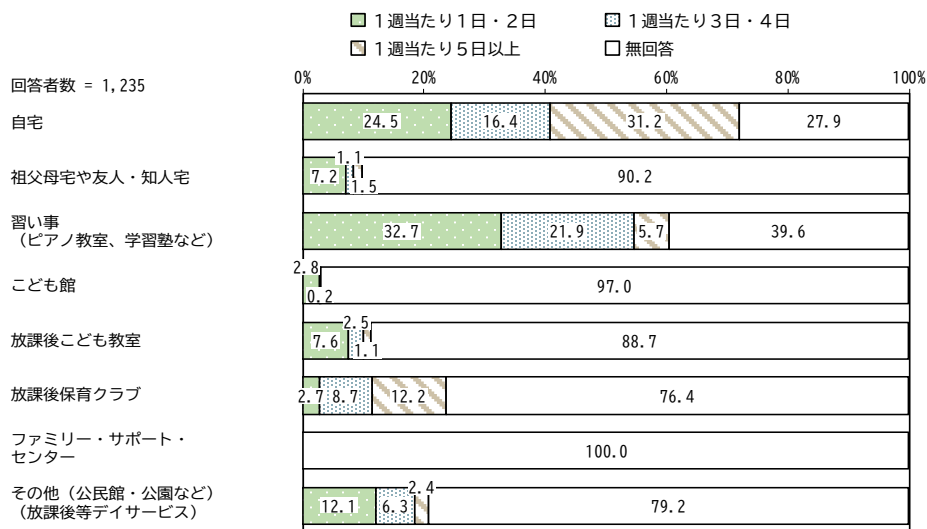
不定期の教育・保育事業を実際に利用したことがある人は、ほぼすべての事業で少ないものの、利用希望をみると、特に一時預かりでは利用を希望する人が多くなっています。子どもの安全確保が高まっている昨今、一時預かりの重要性は高まっていることから、一時預かりの手続きを周知、Web の利用など事業を利用しやすくする工夫も必要です。

(6) 子どもの放課後の過ごし方について

○ 放課後の時間の過ごさせ方と「放課後保育クラブ」を利用する場合の利用希望時間

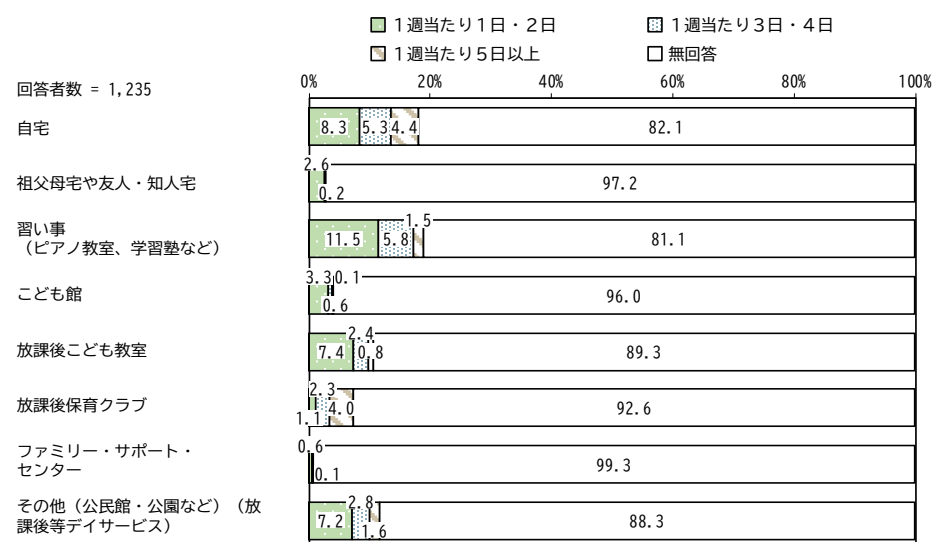
現在の放課後の過ごさせ方

『習い事（ピアノ教室、学習塾など）』で「1週当たり1日・2日」「1週当たり3日・4日」の割合が高くなっています。



希望の放課後の過ごさせ方

『習い事（ピアノ教室、学習塾など）』で「1週当たり2日」の割合が高くなっています。

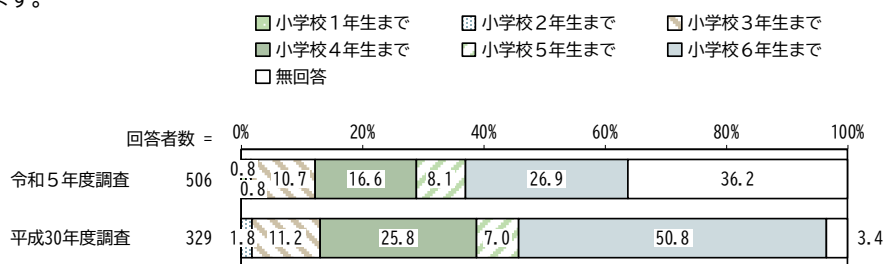


○ 放課後保育クラブ（学童保育）の利用希望学年

コメントの追加 [久佐22]: 共通

「小学校6年生まで」の割合が26.9%と最も高く、次いで「小学校4年生まで」の割合が16.6%、「小学校3年生まで」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「小学校4年生まで」「小学校6年生まで」の割合が減少しています。

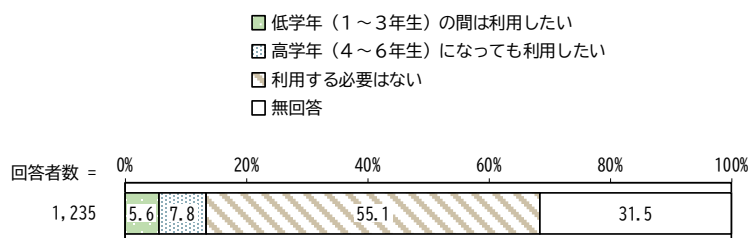


○ 土曜日・日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望

コメントの追加 [久佐23]: 共通

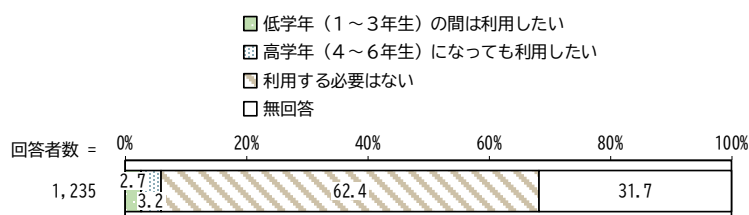
(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が55.1%と最も高くなっています。



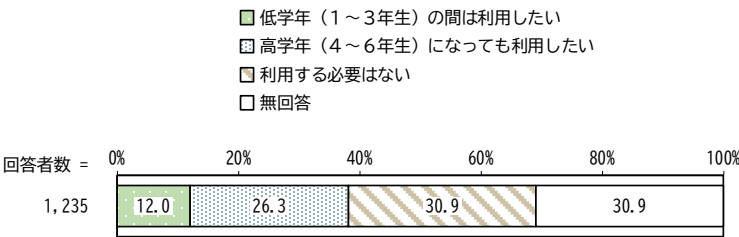
(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が62.4%と最も高くなっています。



(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

「利用する必要はない」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 26.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 12.0%となっています。



◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

長期休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望は約4割と高く、土曜日・日曜日も一定の利用希望があることから、放課後保育クラブの年間を通じた利用ができるよう整備することが必要です。



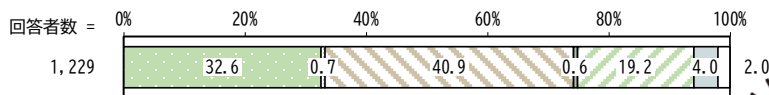
(7) 保護者の就労状況

○ 母親の就労状況

コメントの追加 [久佐24]: 共通

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 32.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 19.2%となっています。

- ☒ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ☒ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ☒ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ☒ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ☐ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ☐ これまで就労したことがない
- ☐ 無回答

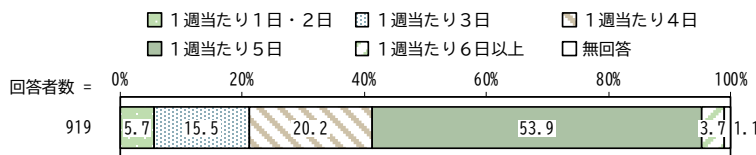


◆ アンケート結果からみられる課題 ◆

小学校保護者では、就学前保護者よりもパート・アルバイト等で就労している人が多くなっており、その原因としては、育児休業を取得したもののフルタイムを断念した人や、小学生の生活サイクルにあわせるためにパート・アルバイトを選択した人などが一定数いることが想定されます。保護者が望む就労形態で働けるよう、放課後保育クラブ等の充実が必要です。

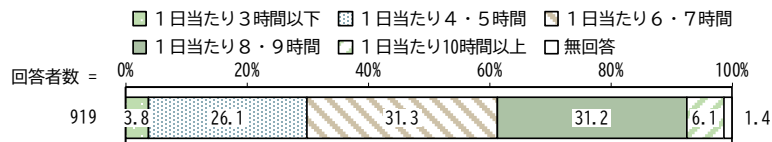
1週間あたりの「就労日数」

「1週当たり5日」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「1週当たり4日」の割合が 20.2%、「1週当たり3日」の割合が 15.5%となっています。



1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

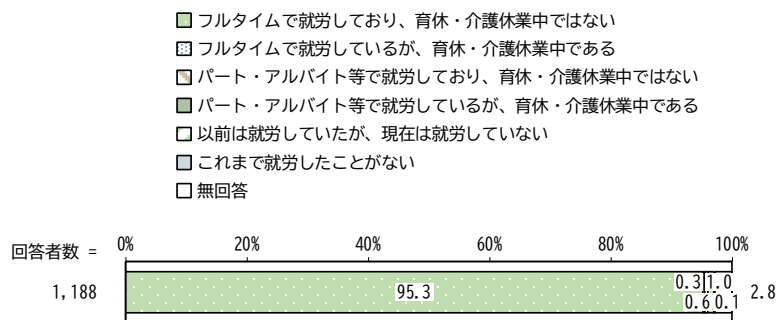
「1日当たり6・7時間」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「1日当たり8・9時間」の割合が 31.2%、「1日当たり4・5時間」の割合が 26.1%となっています。



○ 父親の就労状況

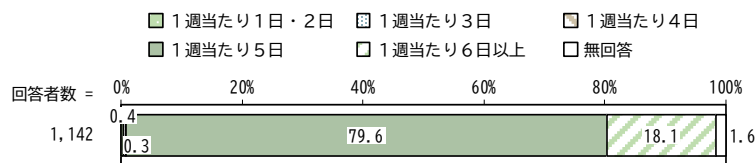
コメントの追加 [久佐25]: 共通

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が95.3%と最も高くなっています。



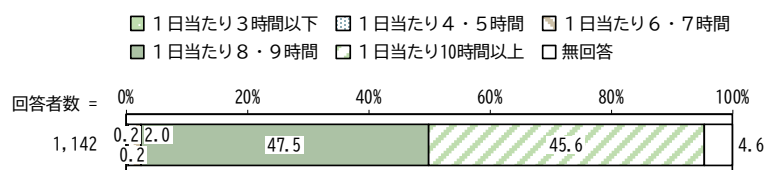
1週間あたりの「就労日数」

「1週当たり5日」の割合が79.6%と最も高く、次いで「1週当たり6日以上」の割合が18.1%となっています。



1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

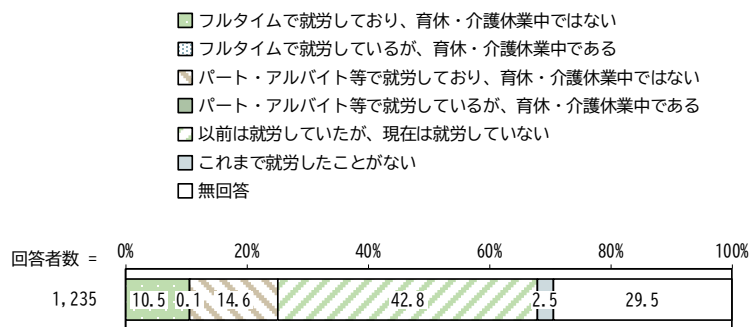
「1日当たり8・9時間」の割合が47.5%と最も高く、次いで「1日当たり10時間以上」の割合が45.6%となっています。



○ 祖父母・その他の方の就労状況

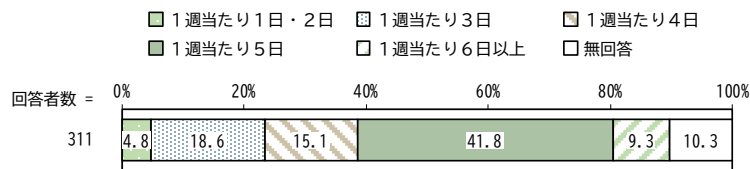
コメントの追加 [久佐26]: 共通

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 14.6%、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 10.5%となっています。



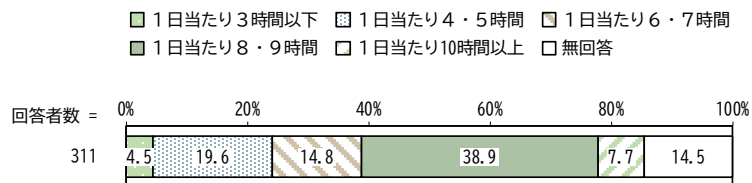
1 週当たりの就労日数

「1 週当たり 5 日」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「1 週当たり 3 日」の割合が 18.6%、「1 週当たり 4 日」の割合が 15.1%となっています。



1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）

「1 日当たり 8・9 時間」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「1 日当たり 4・5 時間」の割合が 19.6%、「1 日当たり 6・7 時間」の割合が 14.8%となっています。



○ 「パート・アルバイト等で就労している」保護者のフルタイムへの転換希望

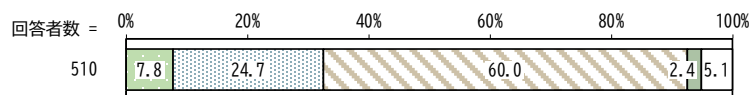
コメントの追加 [久佐27]: 共通

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 24.7%となっています。

- ☒ フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ☒ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ☒ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ☒ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ☐ 無回答

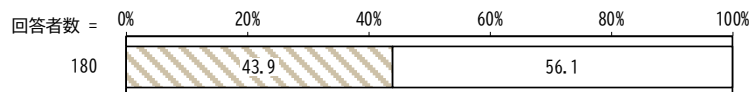
S



(2) 祖父母・その他

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 43.9%と最も高くなっています。

- ☒ フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ☒ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ☒ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ☒ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ☐ 無回答

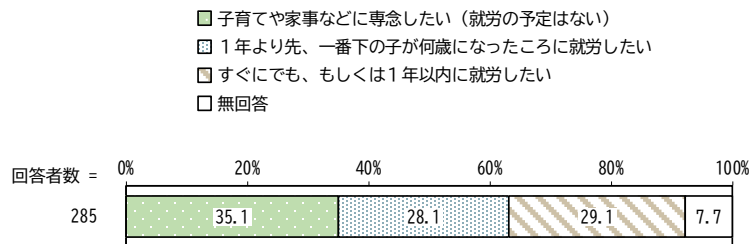


○ 「現在は就労していない・これまで就労したことがない」保護者の就労希望

コメントの追加 [久佐28]: 共通

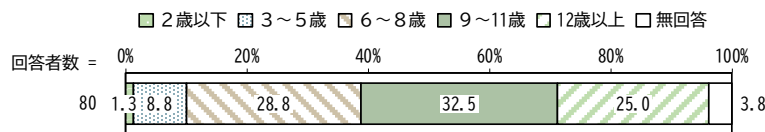
(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が35.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が29.1%、「1年より先、一番下の子が何歳になったところに就労したい」の割合が28.1%となっています。



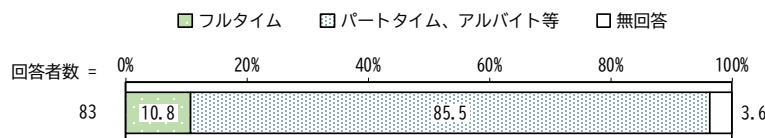
一番下の子が何歳になったところに就労したいか

「9～11歳」の割合が32.5%と最も高く、次いで「6～8歳」の割合が28.8%、「12歳以上」の割合が25.0%となっています。



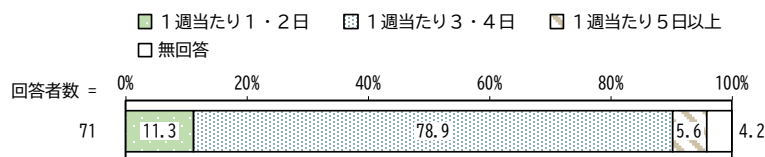
希望する就労形態

「フルタイム」の割合が10.8%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が85.5%となっています。



1週当たり就労希望日数

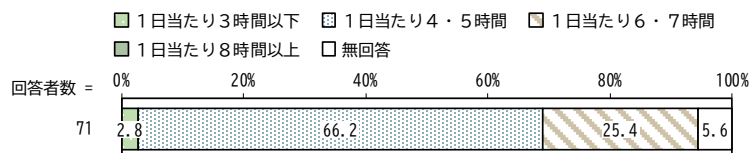
「1週当たり3・4日」の割合が78.9%と最も高く、次いで「1週当たり1・2日」の割合が11.3%となっています。



1日当たり希望就労時間

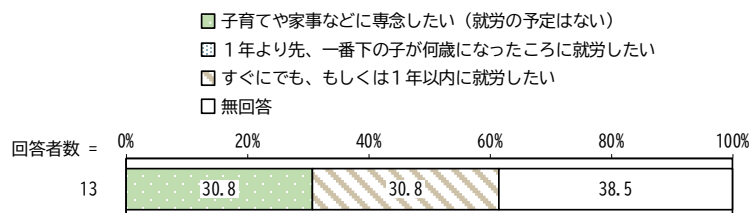
コメントの追加 [久子29]: クラス分け間違いを修正

「1日当たり4・5時間」の割合が66.2%と最も高く、次いで「1日当たり6・7時間」の割合が25.4%となっています。



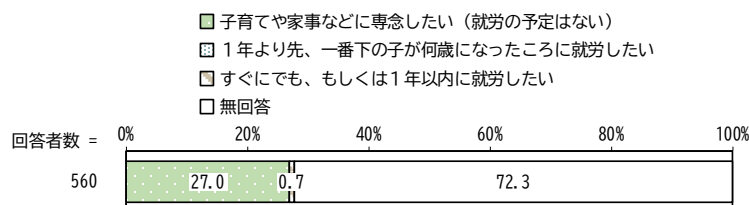
(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が30.8%と最も高くなっています。



(3) 祖父母・その他

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が27.0%と最も高くなっています。



◆◆ 保護者の就労状況の課題まとめ ◆◆

母親では現在パートタイムで働いている人のフルタイムへの転換希望が3割半ば、就労していない人のうち就労を希望する人が6割弱と、就労希望が高くなっています。

母親の帰宅時間も18時以降の割合が4割と高く、また、祖父母も就労している人が多いことから、子どもだけで家で過ごす際の安全確保、ならびに放課後保育クラブのニーズへの対応といった施策が求められます。

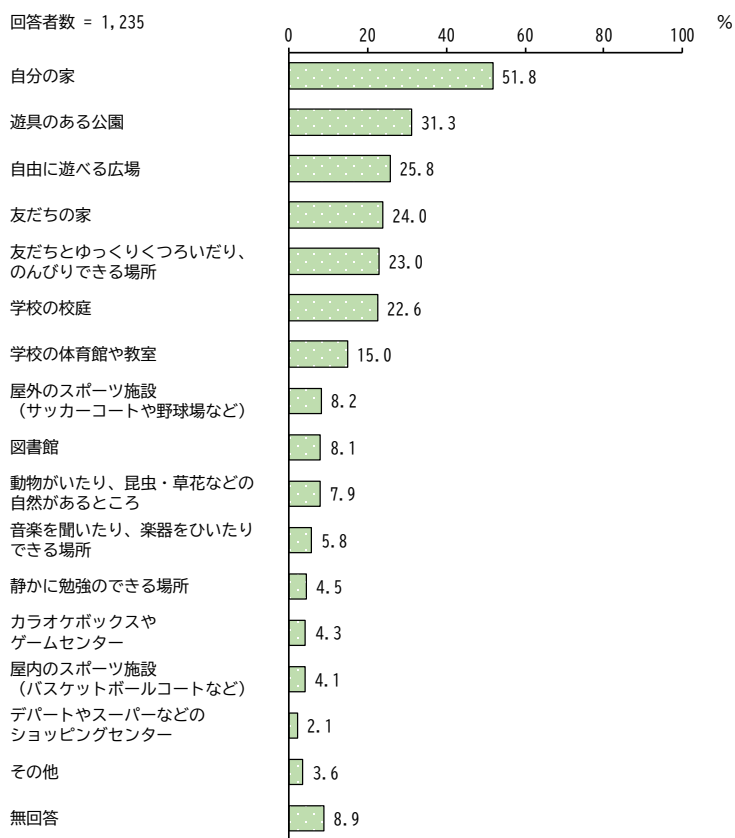


(8) 子ども本人へのアンケート

○ 学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいか。

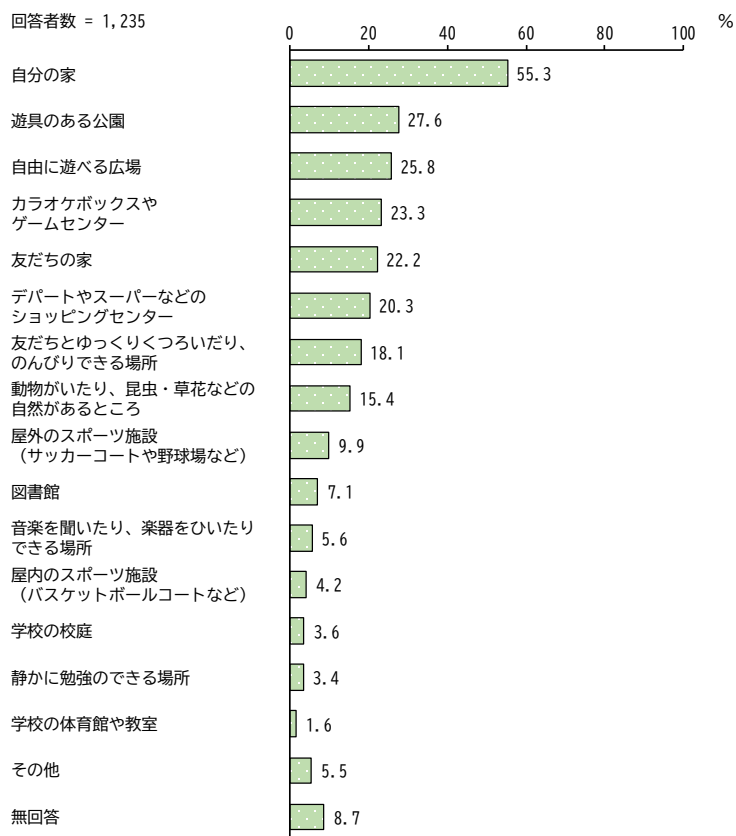
学校のある日の放課後に過ごしたい場所

「自分の家」の割合が51.8%と最も高く、次いで「遊具のある公園」の割合が31.3%、「自由に遊べる広場」の割合が25.8%となっています。



学校がない日に過ごしたい場所

「自分の家」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「遊具のある公園」の割合が 27.6%、「自由に遊べる広場」の割合が 25.8%となっています。

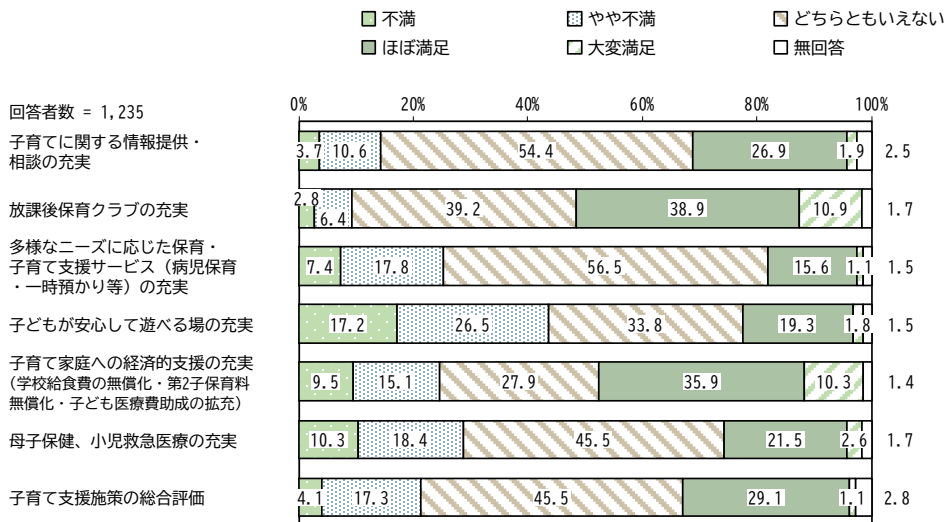


(9) 総合

○ 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」

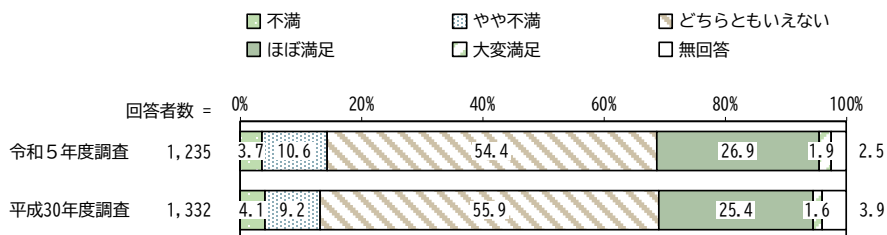
コメントの追加 [久佐30]: 共通

『②放課後保育クラブの充実』、『⑤子育て家庭への経済的支援の充実（学校給食費の無償化・第2子保育料無償化・子ども医療費助成の拡充）』で「大変満足」の割合が高くなっています。一方、『④子どもが安心して遊べる場の充実』で「不満」の割合が高くなっています。



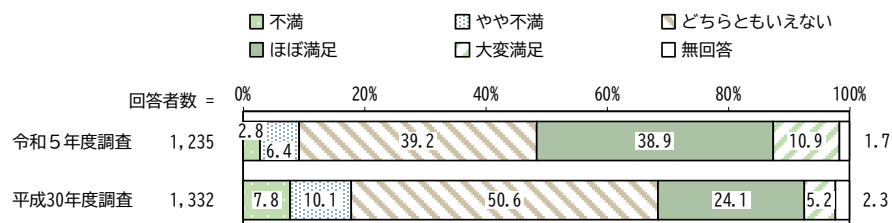
①子育てに関する情報提供・相談の充実

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



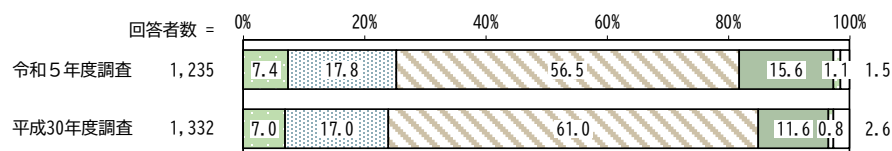
②放課後保育クラブの充実

平成 30 年度調査と比較すると、「ほぼ満足」「大変満足」の割合が増加しています。一方、「どちらともいえない」の割合が減少しています。



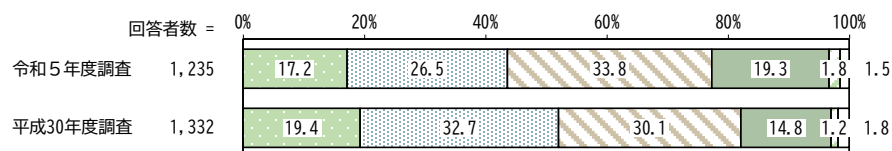
③多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育等）の充実

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④子どもが安心して遊べる場の充実

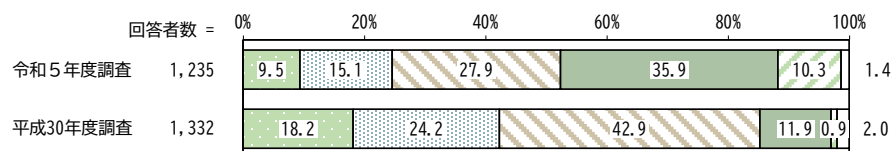
平成 30 年度調査と比較すると、「やや不満」の割合が減少しています。



⑤子育て家庭への経済的支援の充実

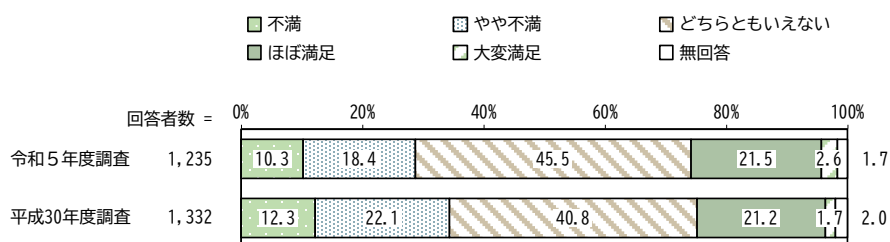
（学校給食費の無償化・第2子保育料無償化・子ども医療費助成の拡充）

平成 30 年度調査と比較すると、「ほぼ満足」「大変満足」の割合が増加しています。一方、「不満」「やや不満」「どちらともいえない」の割合が減少しています。



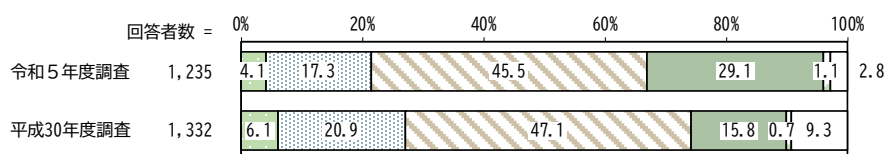
⑥小児救急医療の充実

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子育て支援施策の総合評価

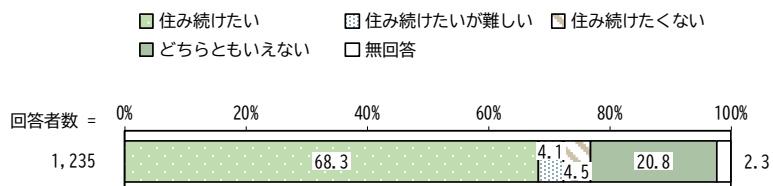
平成 30 年度調査と比較すると、「ほぼ満足」の割合が増加しています。



○ 今後も市川市に住み続けたいと思うか

コメントの追加 [久佐31]: 共通

「住み続けたい」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 20.8%となっています。



◆◇ 総合の課題のまとめ ◇◆

小学生の保護者においても、市の事業については、①認知度が低いものの利用希望が高い事業（子ども発達センターなど）、②認知度も一定程度あり、利用意向もあるものの、利用につながない事業（いちかわ子育てガイドブック（電子版）など）がみられます。①については認知度向上のため、様々な媒体による情報発信や学校を通じての情報配信、②については気軽に利用できるような環境づくりが必要です。



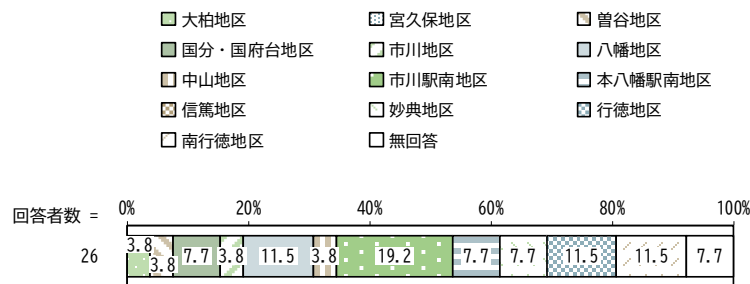
3 妊婦調査

(1) 居住地区

○ 回答者の居住地区

コメントの追加 [久佐32]: 共通

「市川駅南地区」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「八幡地区」、「行徳地区」、「南行徳地区」の割合が 11.5%となっています。

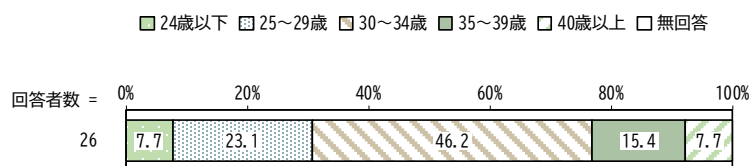


区分	回答者数 (件)	大柏地区	宮久保地区	曾谷地区	国分・国府台地区	市川地区	八幡地区	中山地区	市川駅南地区	本八幡駅南地区	信篤地区	妙典地区	行徳地区	南行徳地区	無回答
件数 (件)	26	1	0	1	2	1	3	1	5	2	0	2	3	3	2
割合 (%)	100.0	3.8	0.0	3.8	7.7	3.8	11.5	3.8	19.2	7.7	0.0	7.7	11.5	11.5	7.7

(2) 家族の状況

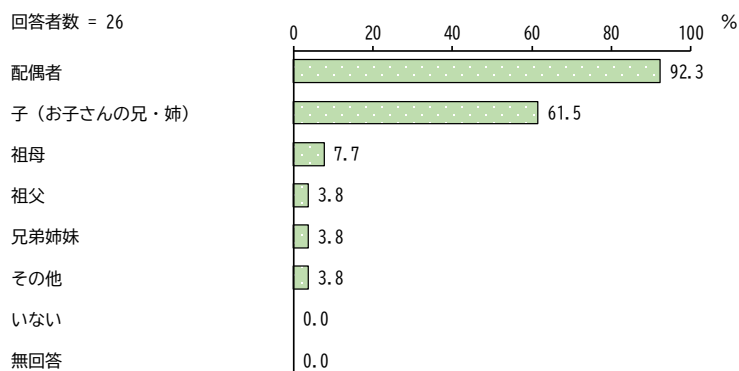
○ 回答者の年齢

「30～34 歳」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「25～29 歳」の割合が 23.1%、「35～39 歳」の割合が 15.4%となっています。



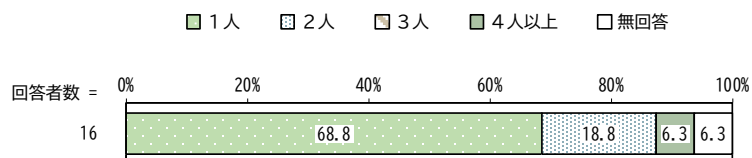
○ 家族構成

「配偶者」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「子（お子さんの兄・姉）」の割合が 61.5%となっています。



○ 子どものきょうだい構成

「1 人」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「2 人」の割合が 18.8%となっています。

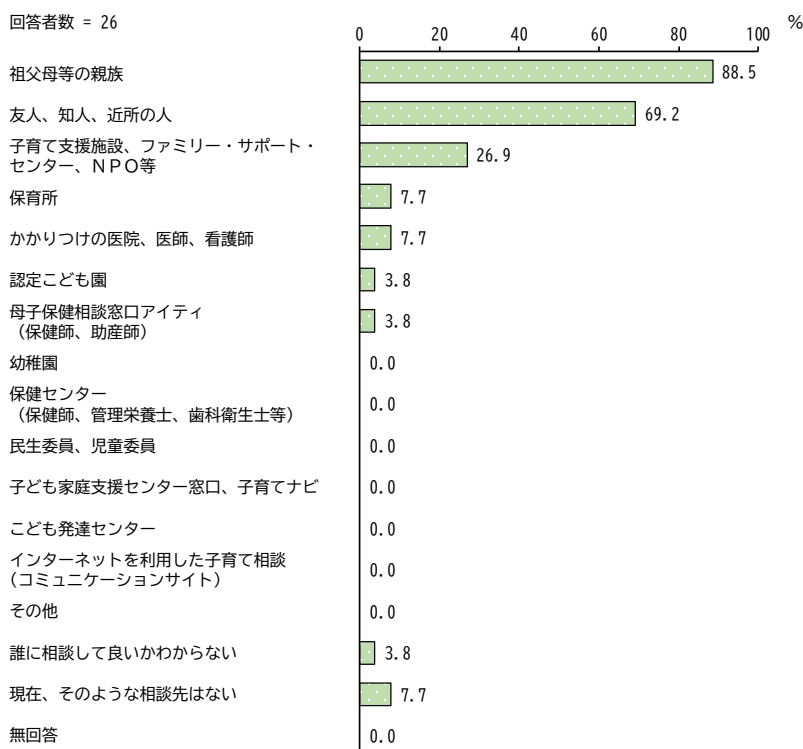


コメントの追加 [久佐33]: 共通

(3) 子育て環境

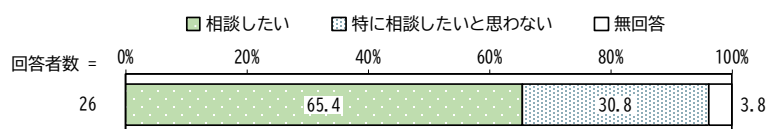
○ 子育てに関する気軽な相談先（複数回答可）

「祖父母等の親族」の割合が88.5%と最も高く、次いで「友人、知人、近所の人」の割合が69.2%、「子育て支援施設、ファミリー・サポート・センター、NPO等」の割合が26.9%となっています。



○ 教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるよう調整・案内する人がいれば、相談したいか。

「相談したい」の割合が65.4%、「特に相談したいと思わない」の割合が30.8%となっています。

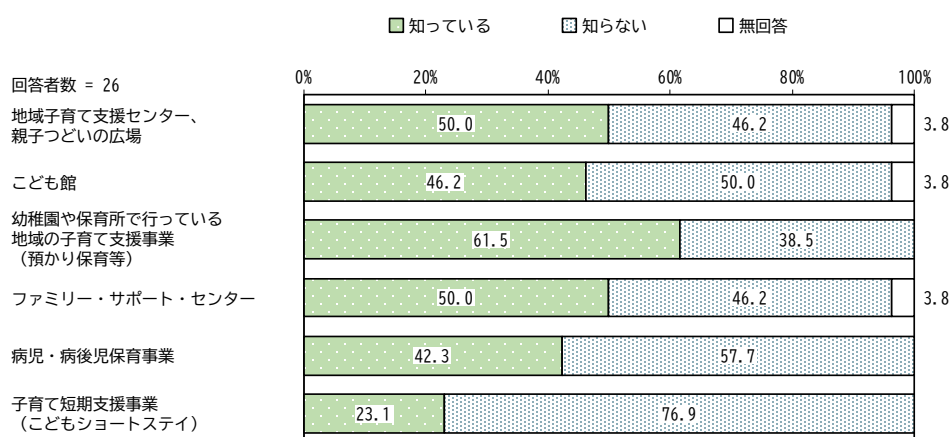


(4) 地域の子育て支援事業

○ 市の地域子育て支援拠点（「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」）、幼稚園・保育所で行っている地域の子育て支援事業の認知度と利用希望

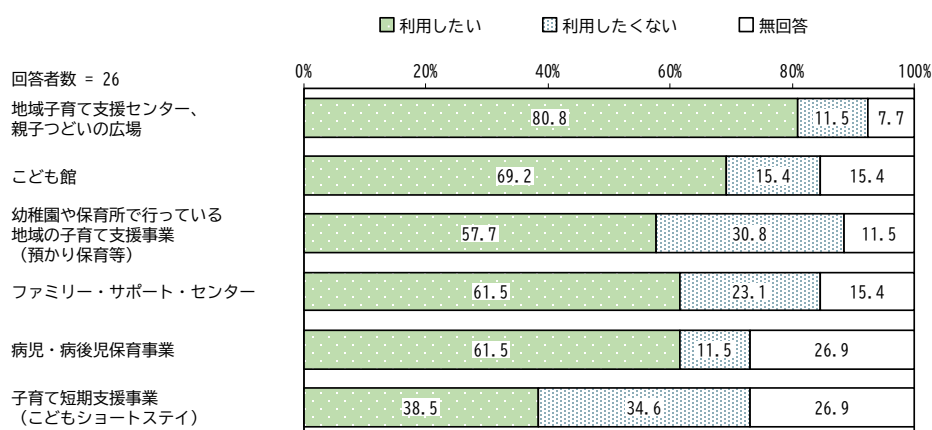
子育て支援事業の認知度

『幼稚園や保育所で行っている地域の子育て支援事業（預かり保育等）』で「知っている」の割合が高くなっています。一方、『子育て短期支援事業（こどもショートステイ）』で「知らない」の割合が高くなっています。



子育て支援事業の利用希望

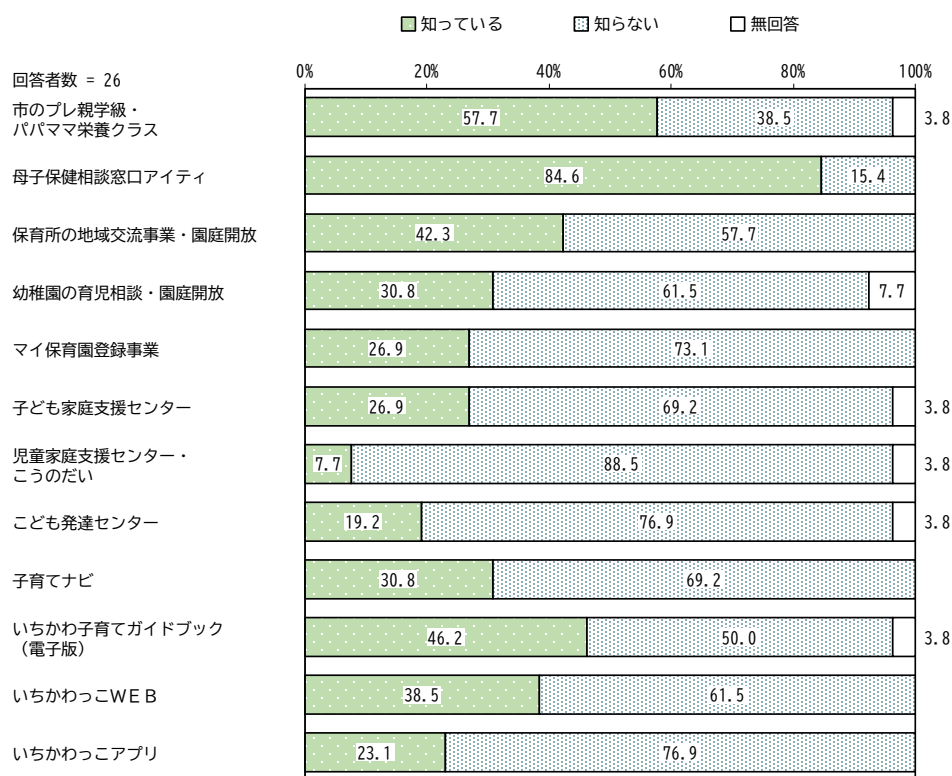
『地域子育て支援センター、親子つどいの広場』で「利用したい」の割合が高くなっています。一方、『幼稚園や保育所で行っている地域の子育て支援事業（預かり保育等）』、『子育て短期支援事業（こどもショートステイ）』で「利用したくない」の割合が高くなっています。



○ 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望について

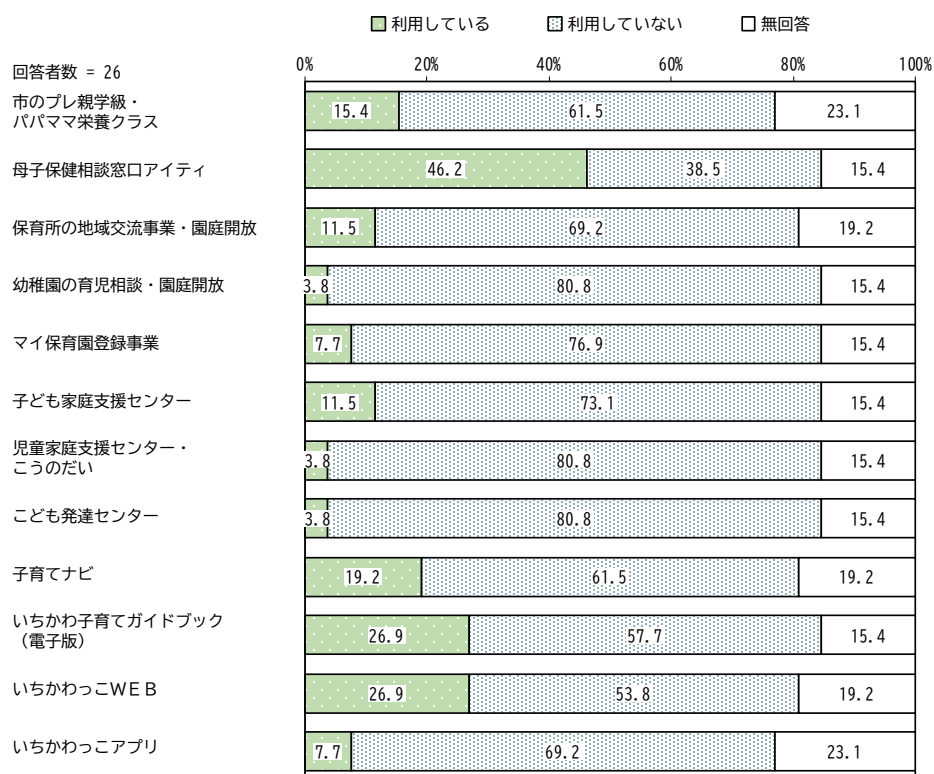
子育て支援事業の認知度

『母子保健相談窓口アイティ』で「知っている」の割合が高くなっています。一方、『児童家庭支援センターこうのだい』で「知らない」の割合が高くなっています。



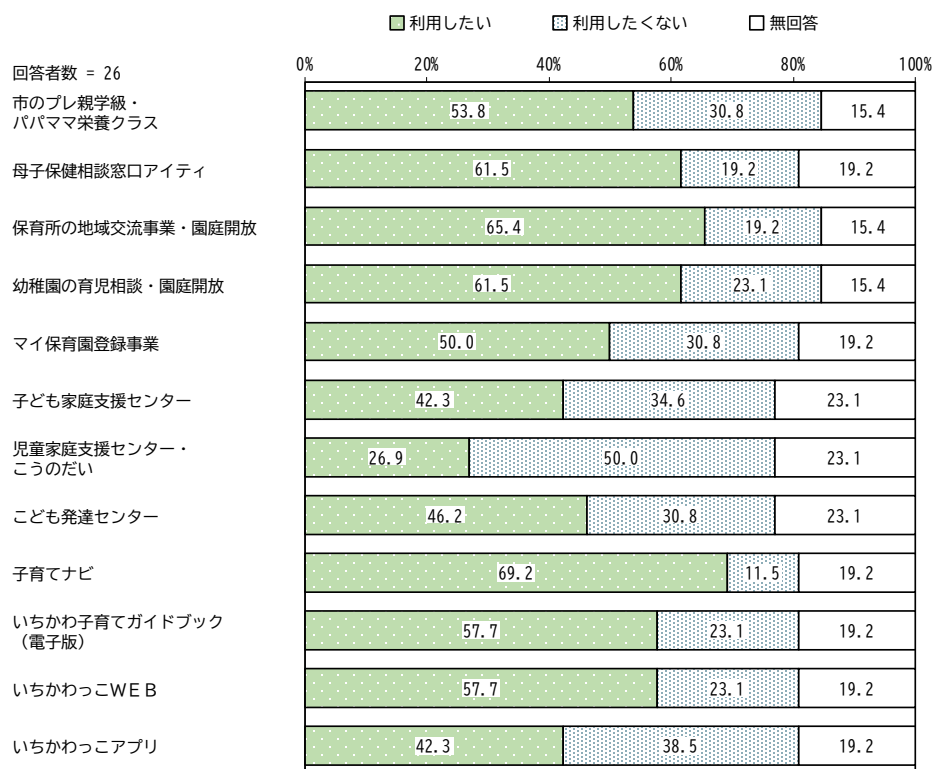
子育て支援事業の利用状況

『母子保健相談窓口アイティ』で「利用している」の割合が高くなっています。一方、『幼稚園の育児相談・園庭開放』、『児童家庭支援センターこのだい』、『こども発達センター』で「利用していない」の割合が高くなっています。



子育て支援事業の利用希望

『子育てナビ』で「利用したい」の割合が高くなっています。一方、『児童家庭支援センターこのだい』で「利用したくない」の割合が高くなっています。



◆◇ 地域の子育て支援事業の課題のまとめ ◇◆

地域の子育て支援事業について、妊娠中に利用する事業については認知度が高いものの、出産後に利用する制度については認知度が低いものもみられます。認知度が低い事業の中でも、利用意向が高いものも多いことから、制度を知れば利用したいという人が多いことが伺えます。産後に向けて今から準備するためにも、制度を周知する工夫が必要です。



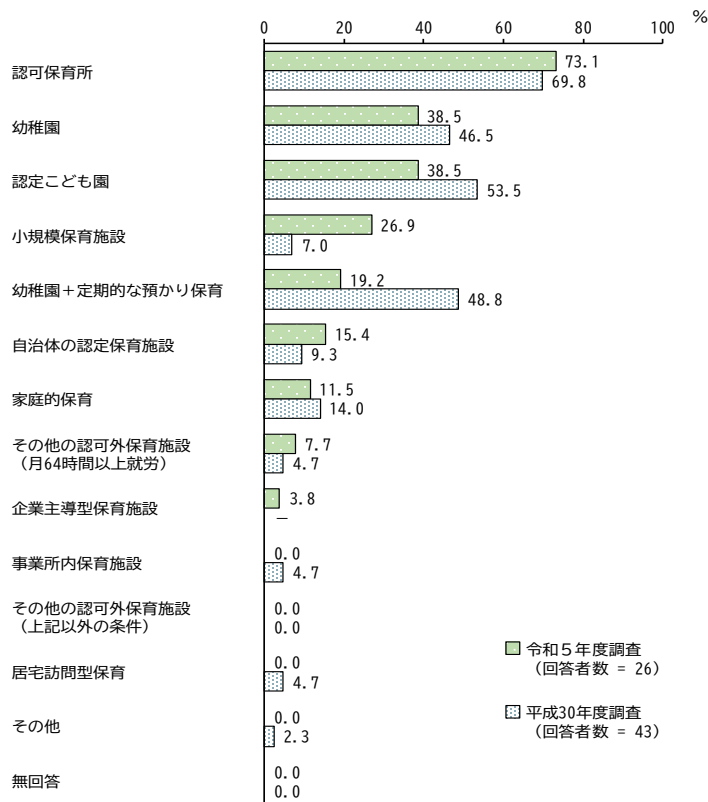
（５）幼稚園や保育所、その他の利用希望

○ 平日に利用したい教育・保育事業（複数回答可）

コメントの追加 [久佐34]: 共通

「認可保育所（特定保育・一時預かり除く）」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「幼稚園」、
「認定こども園」の割合が 38.5%となっています。

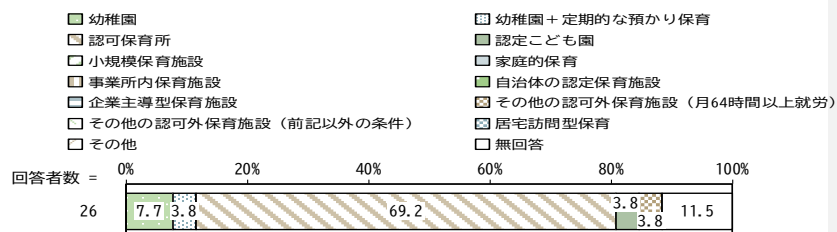
平成 30 年度調査と比較すると、「小規模保育施設」「自治体の認定保育施設」の割合が増加して
います。一方、「幼稚園」「幼稚園＋定期的な預かり保育」「認定こども園」の割合が減少していま
す。



○ 今後もっとも利用したい教育・保育事業

コメントの追加 [久佐35]: 共通

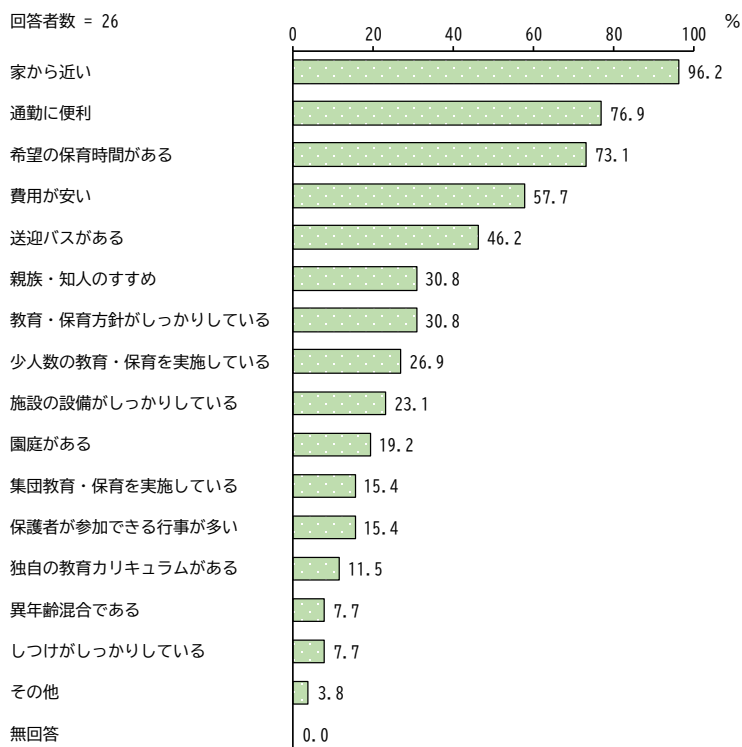
「認可保育所（特定保育・一時預かり除く）」の割合が 69.2%と最も高くなっています。



○ 定期的な教育・保育として利用したい事業の重視する条件（複数回答可）

コメントの追加 [久佐36]: 共通

「家から近い」の割合が 96.2%と最も高く、次いで「通勤に便利」の割合が 76.9%、「希望の保育時間がある」の割合が 73.1%となっています。



◆◇ 幼稚園や保育所、その他の利用希望の課題のまとめ ◇◆

利用したい教育・保育事業としては、平成 30 年度と同様、認可保育所の利用希望が最も多くなっています。一方で、幼稚園や認定こども園の利用希望が少なくなっており、これは就労を継続する人が多くなっているためと考えられます。

増加する保育ニーズに応えるために、幼稚園や幼稚園の預かり保育の柔軟な運用などを測っていくことが有用です。

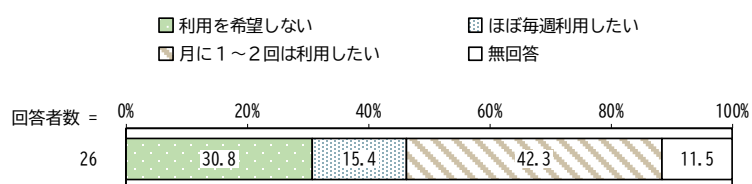


（６）土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望

○ 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

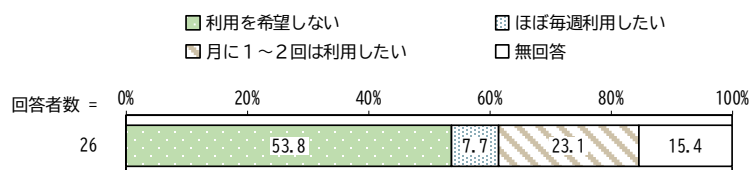
（１）土曜日

「月に１～２回は利用したい」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「利用を希望しない」の割合が 30.8%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 15.4%となっています。



（２）日曜日（祝日含む）

「利用を希望しない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 23.1%となっています。



◆◇土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望の課題のまとめ ◇◆

土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望は、就学前児童の保護者よりも高くなっています。今後高まってくると思われるニーズに応えることができるよう、基盤整備が必要です。

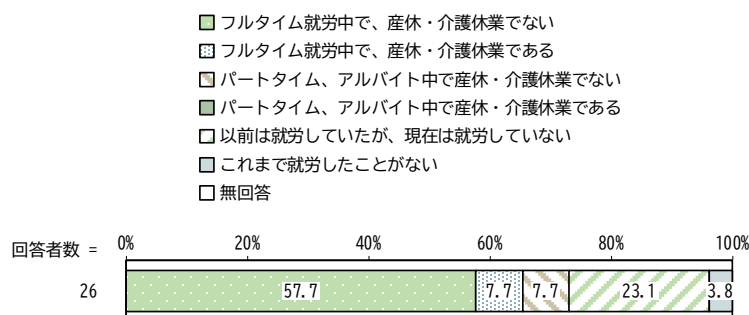


（８）保護者の就労状況

○ 保護者の就労状況

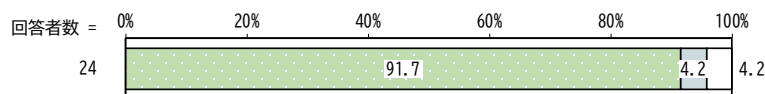
①母親

「フルタイム就労中で、産休・介護休業でない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 23.1%となっています。



②父親

「フルタイム就労中で、産休・介護休業でない」の割合が 91.7%と最も高くなっています。

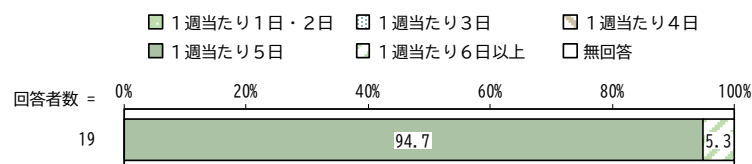


○ 就労している方の1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻

①母親

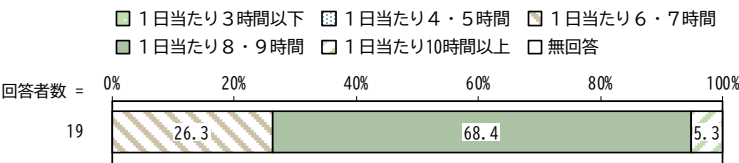
1週あたり就労日数

「1週あたり5日」の割合が 94.7%と最も高くなっています。



1日あたり就労時間

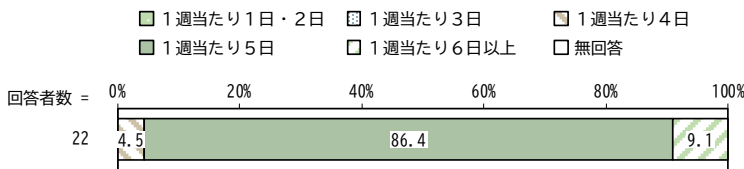
「1日あたり8・9時間」の割合が68.4%と最も高く、次いで「1日あたり6・7時間」の割合が26.3%となっています。



②父親

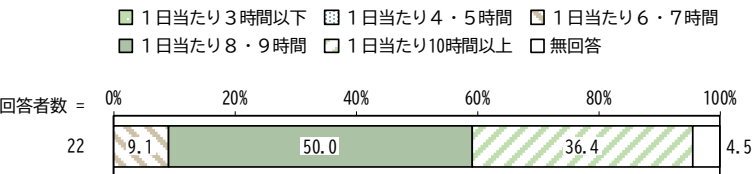
1週あたり就労日数

「1週あたり5日」の割合が86.4%と最も高くなっています。



1日あたり就労時間

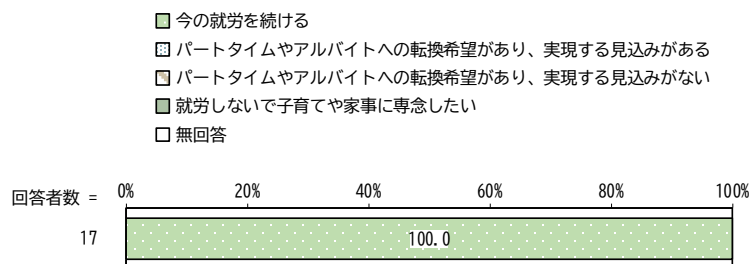
「1日あたり8・9時間」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1日あたり10時間以上」の割合が36.4%となっています。



○ 今後の就労希望

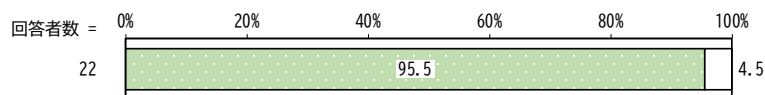
①母親

「今の就労を続ける」の割合が 100.0%と最も高くなっています。



②父親

「今の就労を続ける」の割合が 95.5%と最も高くなっています。



◆◇ 保護者の就労状況の課題のまとめ ◇◆

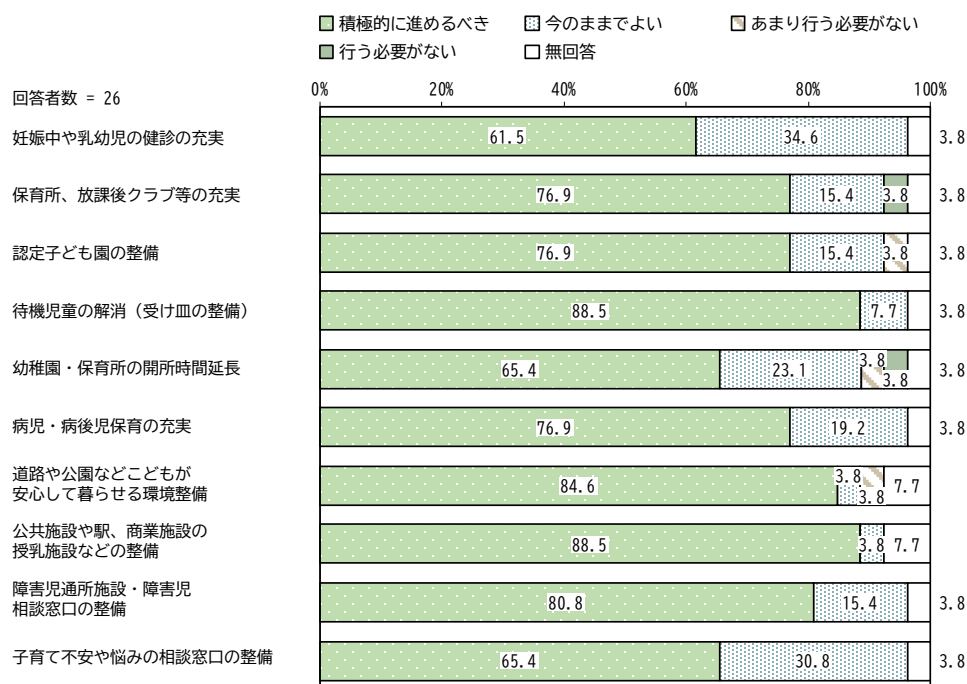
フルタイムで就労している人のうち、産後もフルタイムで就労する意向の人がほぼ全員となっています。また、職場の両立支援の調査結果では、母親で時短制度を利用する意向は高いものの、父親では利用するつもり的人是になつており、母親の負担が大きくなることが考えられます。そのため、育児負担軽減やリフレッシュのための施策が重要です。

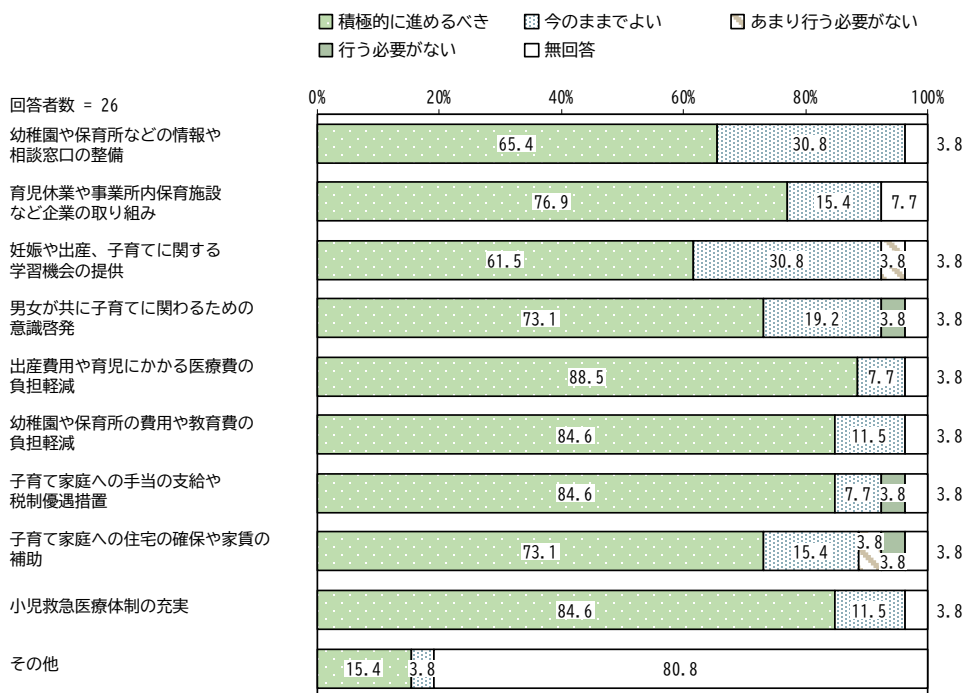


(9) 総合

○ 子育てしやすい環境整備のために、国や自治体に期待すること

『4. 待機児童の解消（受け皿の整備）』、『8. 公共施設や駅、商業施設の授乳施設などの整備』、『15. 出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減』で「積極的に進めるべき」の割合が高くなっています。

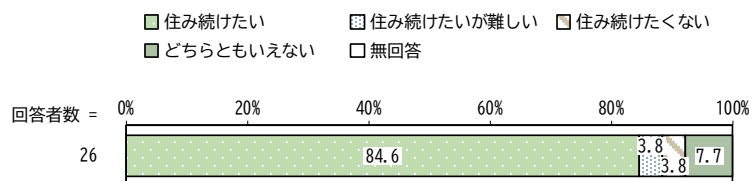




前ページのグラフ 続き

問 25 すべての方にうかがいます。今後も市川市に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」の割合が84.6%と最も高くなっています。



◆◇ 総合の課題のまとめ ◇◆

ほぼすべての施策で「積極的に進めるべき」が多い中、特に、道路や公園、公共施設ハード面の整備、及び、医療費の負担軽減や教育費の負担軽減などの経済面の施策で積極的に進めるべきが8割以上となっています。ハード面と経済面の手当を充実することで子育て支援を充実させつつ、市の魅力を高め、定住意向を高めることが重要です。

